

自家用有償旅客運送の更新登録について

大野市において自家用有償旅客運送（いわゆる「市営バス」）で運行している 6 路線が、令和 5 年 9 月 30 日に登録の有効期間の満了を迎えることから、引き続き運行するために更新登録を行い住民の移動手段を確保したい。

【自家用有償旅客運送とは】

- 過疎地域での輸送や福祉輸送といった、地域における必要な輸送について、それらがバス、タクシー事業によっては提供されない場合に、市町村、NPO 法人等が自家用車を用いて有償で運送する制度。

1 更新登録する路線

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) 市営バス道の駅線 | 大野駅～道の駅「越前おおの 荒島の郷」～勝原駅～鳩ヶ湯 |
| (2) // 前坂線 | 診療所前～九頭竜湖駅～家族旅行村 |
| (3) // 中竜下山線(中竜線) | 診療所前～九頭竜湖駅～谷戸口～平成の湯～中竜 |
| (4) // 和泉線 | 大野駅～中休～勝原駅～九頭竜湖駅 |
| (5) // 金山線 | 伏石～落合～堂島～金山（尚徳中学校スクールバス） |
| (6) // 小山線 | 開成中口～下舌～上舌～阿難祖（開成中学校スクールバス） |

2 登録番号 中福市交通第 1 号

3 現登録の有効期間 令和 2 年 10 月 1 日から令和 5 年 9 月 30 日

4 更新後の有効期間 令和 5 年 10 月 1 日から令和 8 年 9 月 30 日

5 自家用有償旅客運送の種別 交通空白地有償運送

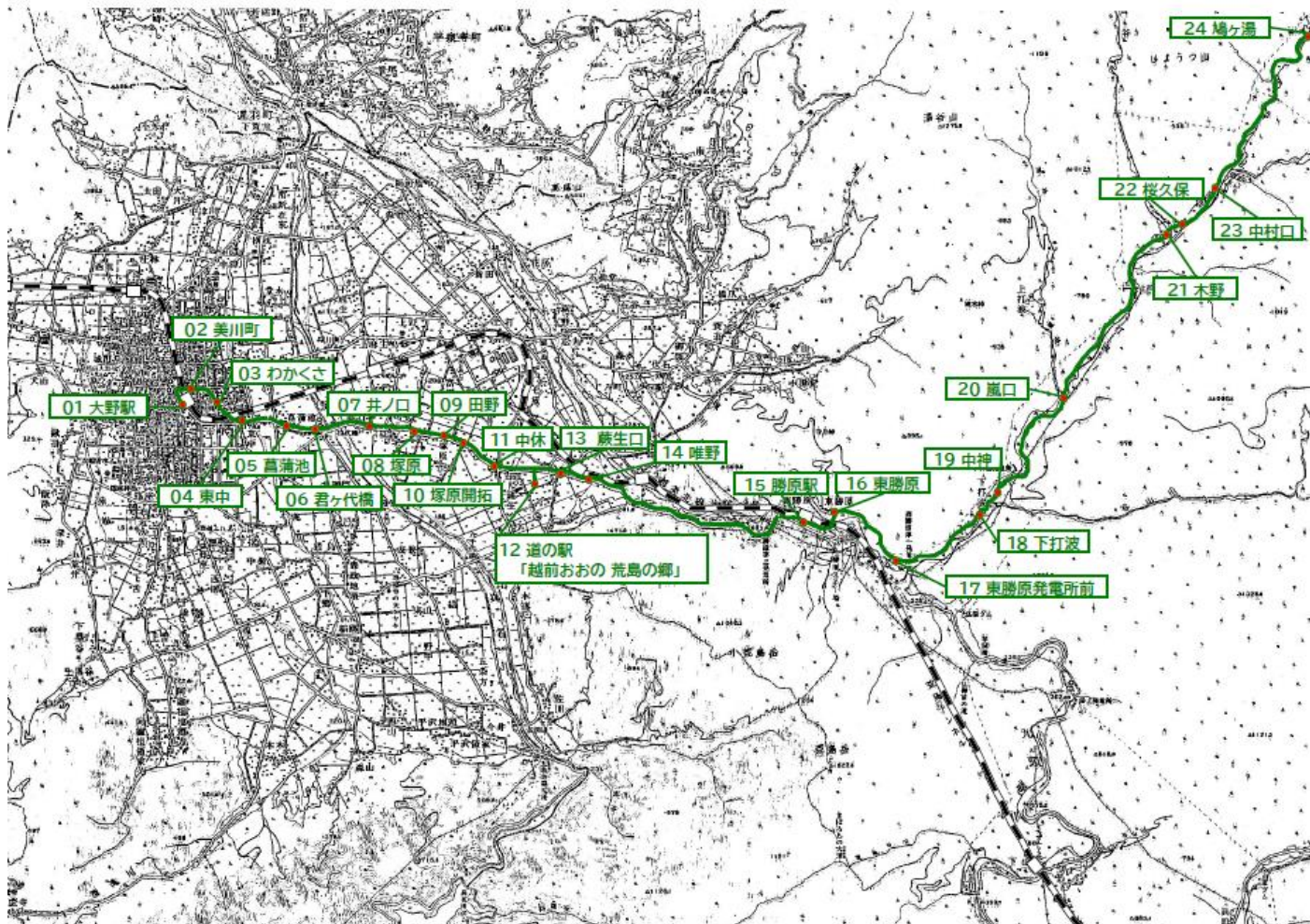
6 その他

令和 6 年 4 月 1 日から新しい公共交通ネットワークと中学校再編に伴うスクールバスが運行されるため、以下のとおり変更が生じる予定。

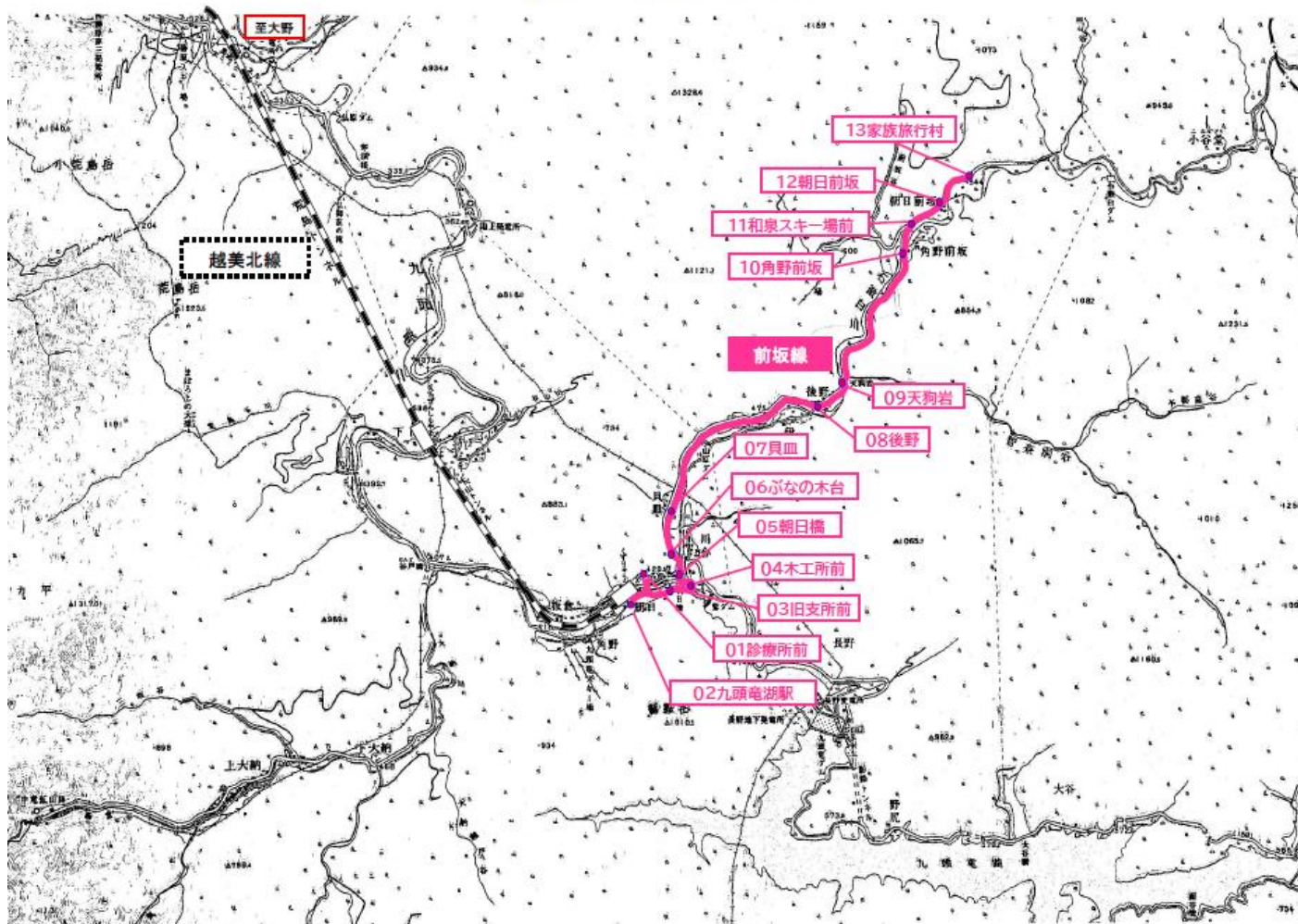
（従って、今回の更新は実質今年度の残り半年分のために行うもの）

- ① 1 (1) ～ (4) の市営バス路線が、市営バス和泉大野線、和泉乗合バスに再編
- ② 1 (5) の市営バス路線（尚徳中学校スクールバス）が廃止

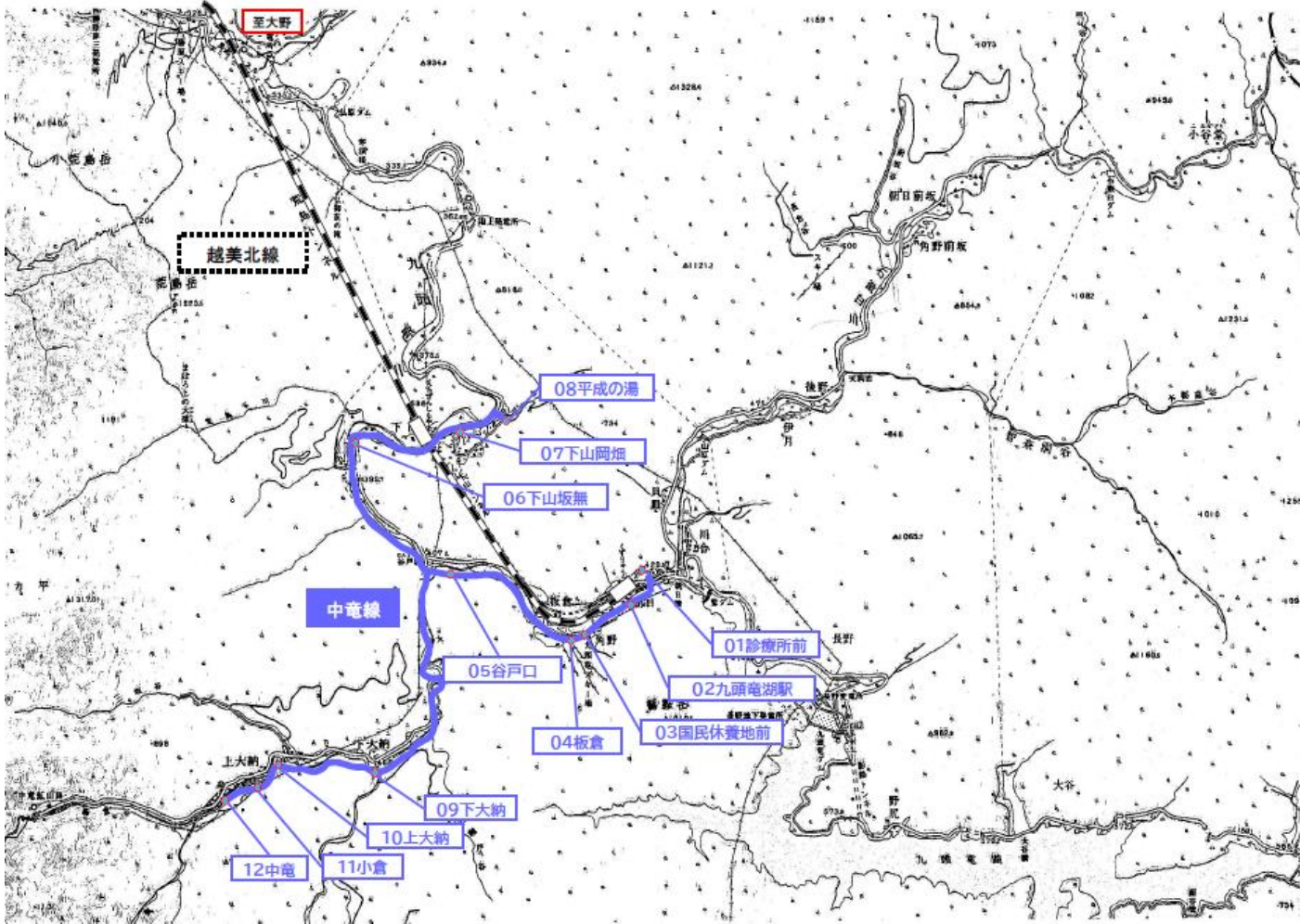
市営バス 道の駅線 路線図



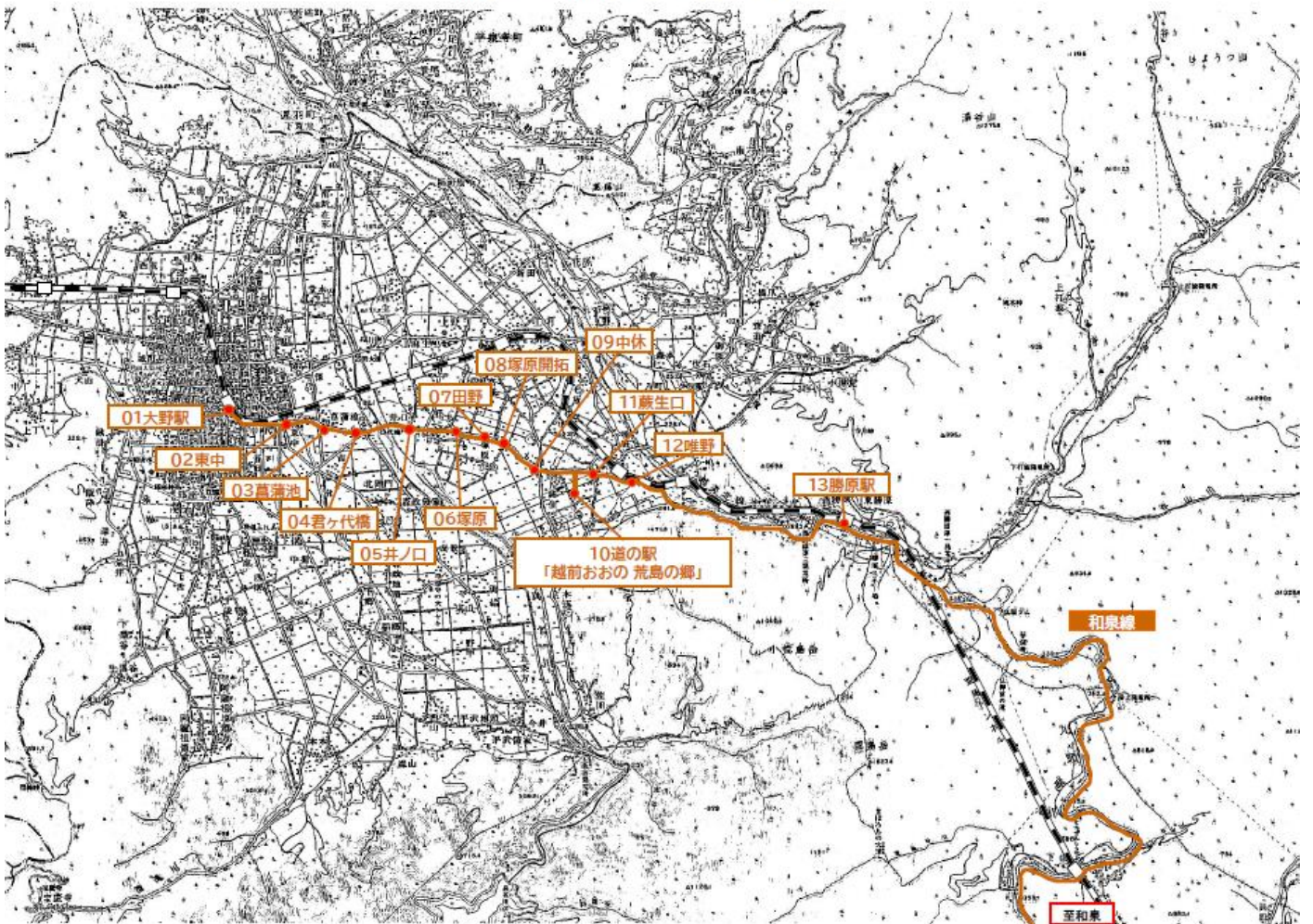
市営バス 前坂線 路線図



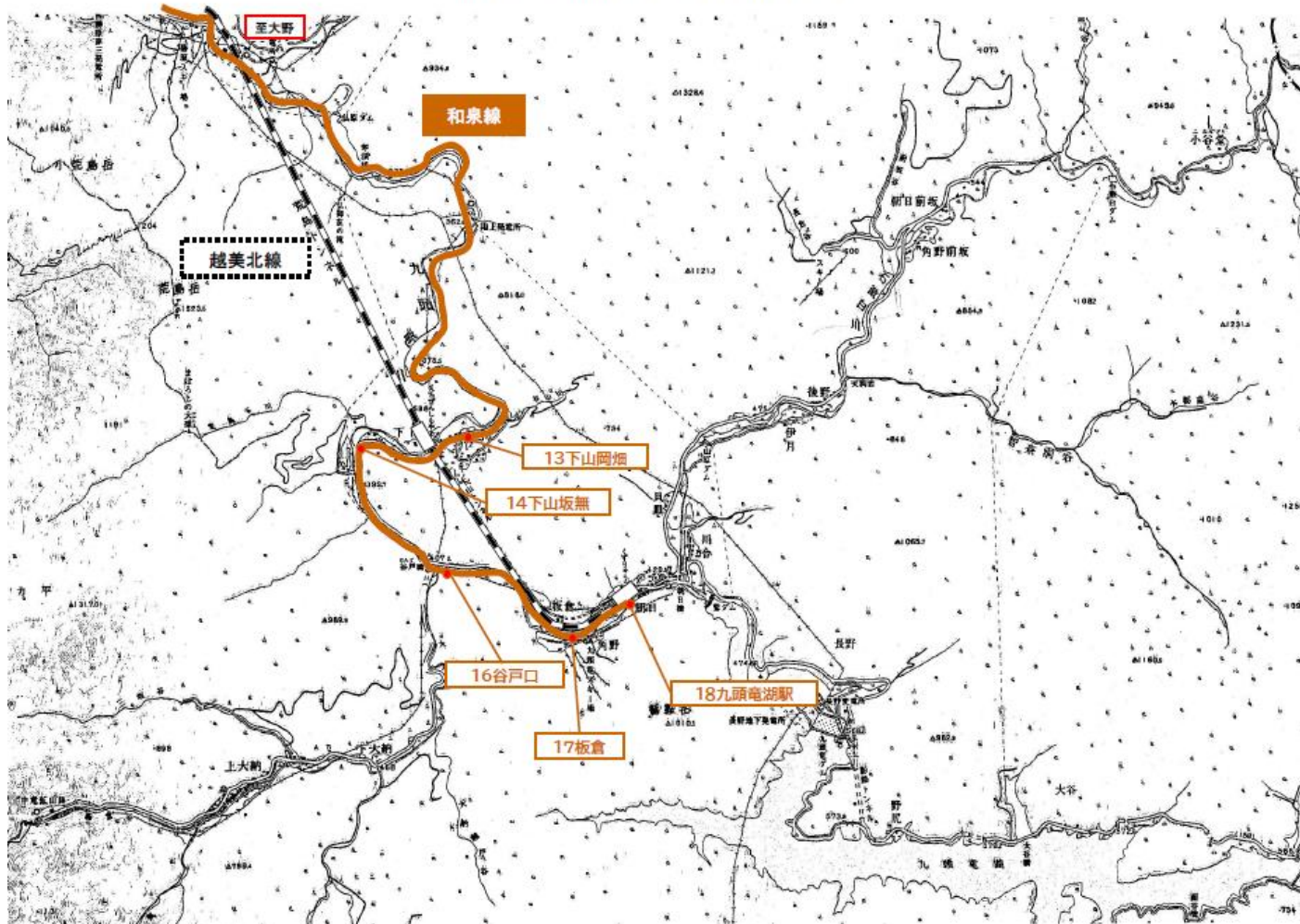
市営バス 中竜線 路線図



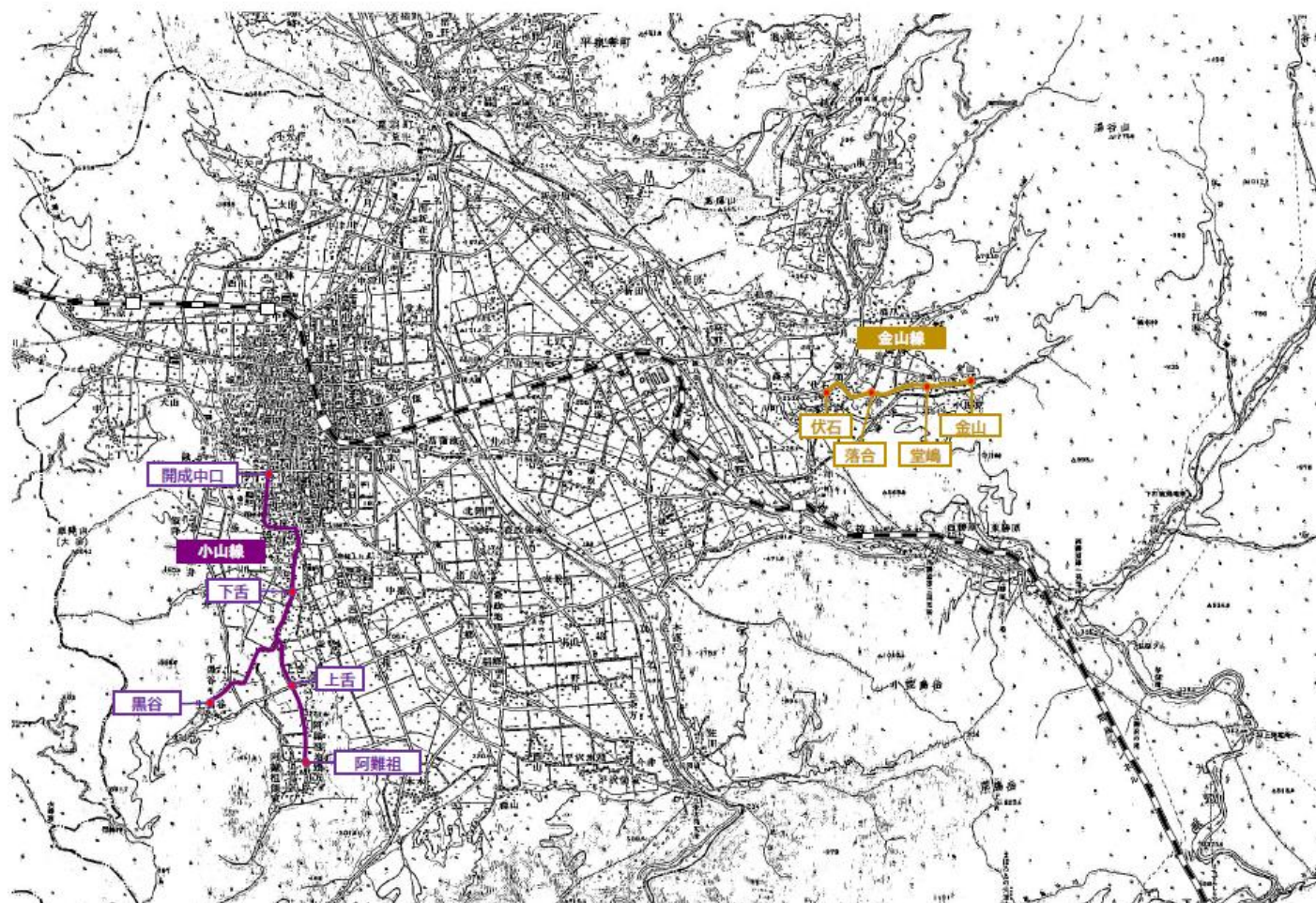
市営バス 和泉線 路線図【1/2】



市営バス 和泉線 路線図【2/2】



市営バス 金山線・小山線 路線図



市営バス 道の駅線 運賃表

単位:円

大人:1人1乗車の運賃は当該運賃表のとおり
 小人:6歳以上、12歳未満の小人は当該運賃表の半額
 幼児:小人、大人が同伴する6歳未満の幼児は無料、単独幼児は小人運賃
 障害者:障害者手帳を提示する本人およびその介護者は当該運賃表の半額
 65歳以上:大野市民で65歳以上の高齢者は、400円以下の区間は当該運賃表のとおり、
 400円を越える区間は定額400円に割引

																			鳩ヶ湯																							
																			中村口		200																					
																			桜久保		100	200																				
																			木野		100	100	200																			
																			嵐口		200	200	200	300																		
																			中神		100	300	300	300	400																	
																			下打波		100	200	300	300	300	500																
																			東勝原発電所前		100	100	200	400	400	500	500															
																			東勝原		100	200	300	400	400	500	500															
																			勝原駅		100	100	200	200	300	400	500	600														
																			唯野		200	200	300	400	400	500	500	600	600													
																			蕨生口		200	200	200	300	400	400	500	600	600	700												
																			道の駅「越前おおの 荒島の間」		200	200	200	300	300	400	400	500	600	600	700											
																			中休		200	200	200	300	300	300	400	400	500	600	600	700										
																			塚原開拓		200	200	200	200	300	300	400	400	500	500	600	600	700									
																			田野		200	200	200	200	200	300	300	400	500	500	600	600	700									
																			塚原		200	200	200	200	200	200	300	300	400	500	500	600	600	700								
																			井ノ口		200	200	200	200	200	200	300	400	400	500	500	600	600	700								
																			君ヶ代橋		200	200	200	200	200	200	200	400	400	400	500	500	600	600	700							
																			菰蒲池		200	200	200	200	200	200	200	200	400	400	500	500	600	700	700	800						
																			東中		200	200	200	200	200	200	200	200	300	400	400	500	500	600	700	700	800					
																			わかくさ		100	200	200	200	200	200	200	200	200	300	400	500	500	500	600	700	700	800				
																			美川町		100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	300	400	500	500	500	600	700	700	800			
																			大野駅		100	100	100	200	200	200	200	200	200	200	300	300	300	400	500	500	500	600	600	700	700	800

◆H21.10.1～市営バス前坂線 運賃表

○診療所前→丸瀬発電所→早稲旅行社

単位:円

大人:1人1乗車 定額100円
 小人:6歳以上、12歳未満の小人は1人1乗車 定額50円(大人の半額)
 幼児:小人、大人が同伴する6歳未満の幼児は無料、単独幼児は1人1乗車 定額50円(小人運賃)
 障害者:障害者手帳を提示する本人およびその介護者は1人1乗車 定額50円(大人の半額)
 回数券:なし
 定期券:なし

																			早稲旅行社										
																			朝日前坂		100								
																			和泉寺橋口		100	100							
																			角野前坂		100	100	100						
																			天狗岩		100	100	100	100					
																			後野		100	100	100	100	100				
																			貝血		100	100	100	100	100	100			
																			ふなの木台		100	100	100	100	100	100	100		
																			朝日橋		100	100	100	100	100	100	100	100	100
																			木工所前		100	100	100	100	100	100	100	100	100
																			旧支所前		100	100	100	100	100	100	100	100	100
																			丸瀬発電所		100	100	100	100	100	100	100	100	100
																			診療所前		100	100	100	100	100	100	100	100	100

◆H21.10.1～市営バス中竜線 運賃表

○診療所前→丸瀬発電所→平成の湯→中竜

単位:円

大人:1人1乗車 定額100円
 小人:6歳以上、12歳未満の小人は1人1乗車 定額50円(大人の半額)
 幼児:小人、大人が同伴する6歳未満の幼児は無料、単独幼児は1人1乗車 定額50円(小人運賃)
 障害者:障害者手帳を提示する本人およびその介護者は1人1乗車 定額50円(大人の半額)
 回数券:なし
 定期券:なし

																			中竜										
																			小倉		100								
																			上大納		100	100							
																			下大納		100	100	100						
																			平成の湯		100	100	100	100					
																			下山間畑		100	100	100	100	100				
																			下山坂無		100	100	100	100	100	100			
																			谷戸口		100	100	100	100	100	100	100		
																			板倉		100	100	100	100	100	100	100	100	
																			国民体育会前		100	100	100	100	100	100	100	100	100
																			丸瀬発電所		100	100	100	100	100	100	100	100	100
																			診療所前		100	100	100	100	100	100	100	100	100

◆R5.4.1～市営バス和泉線 運賃表

単位:円

大人:1人1乗車の運賃は当該運賃表のとおり
 小人:6歳以上、12歳未満の小人は当該運賃表の半額
 幼児:小人、大人が同伴する6歳未満の幼児は無料、単独幼児は小人運賃
 障害者:障害者手帳を提示する本人およびその介護者は当該運賃表の半額
 65歳以上:大野市民で65歳以上の高齢者は、400円以下の区間は当該運賃表のとおり、
 400円を越える区間は定額400円に割引

11枚綴り回数券:大人、小人、障害者、65歳以上の各1人1乗車運賃×10枚分
 JR連携回数券:越前大野駅から丸瀬発電所までの間で1区間以上のJR定期券または回数券を提示する利用者が
 市営バス和泉線の同等区間の回数券を購入する場合、11枚綴り回数券2200円
 通勤定期券:大人、障害者、65歳以上の各1人1乗車運賃×(片道)×20日×3割引×1.36ヶ月
 中・高・大学生通学定期券:大人1人1乗車運賃×(片道)×20日×3割引×1.36ヶ月

																			丸瀬発電所																		
																			板倉		100																
																			谷戸口		100	100															
																			下山坂無		100	100	100														
																			下山間畑		100	100	100	100													
																			勝原駅		500	500	500	600	600												
																			唯野		200	600	600	600	700	700											
																			蕨生口		200	200	600	600	600	700	700										
																			道の駅「越前おおの 荒島の間」		200	200	200	600	600	600	700	700									
																			中休		200	200	200	300	600	600	600	700	700								
																			塚原開拓		200	200	200	200	300	600	600	700	700	800							
																			田野		200	200	200	200	300	600	600	700	700	800							
																			塚原		200	200	200	200	300	600	700	700	800	800							
																			井ノ口		200	200	200	200	200	300	600	700	700	800	800						
																			君ヶ代橋		200	200	200	200	200	200	400	700	700	700	800	800					
																			菰蒲池		200	200	200	200	200	200	200	400	700	700	800	800	800				
																			東中		200	200	200	200	200	200	200	300	400	700	700	800	800	800			
																			大野駅		100	200	200	200	200	200	200	200	300	300	300	400	700	700	800	800	800

金山線 運賃表

小山線 運賃表

単位(円)

			金山
		堂嶋	160
	落合	160	160
伏石	160	160	200

単位(円)

			阿難祖・黒谷
		上香	160
	下香	160	160
開成中口	160	160	200



大野市公共交通ネットワーク再構築

【市営バス和泉大野線・和泉乗合バス】

交通住宅まちづくり課
(7月24日地区説明資料を一部修正)



黄色：1便のぼり 九頭竜湖駅⇒越前大野駅
3便くだり 越前大野駅⇒九頭竜湖駅
4便上・下 九頭竜湖駅⇔越前大野駅

運行日

1,2便： 全日（ただし、年末年始を除く）
 3便： 月,木のぞく全日（夏休み中なども運行）
 4便： 火,水,金のみ運行

みどり：1便くだり 越前大野駅⇒九頭竜湖駅
2便上・下 越前大野駅⇔九頭竜湖駅
 （陽明中学校は経由）
3便のぼり 九頭竜湖駅⇒越前大野駅

運行日	1便	2便	3便	4便
月	○	○	SB	無
火	○	○	○	○
水	○	○	○	○
木	○	○	SB	無
金	○	○	○	○
土,日,祝 長期休業中	○	○	○	無

SBは「中学生専用スクールバス」の略

市営バス和泉大野線 運行ルート図

和泉大野線の陽明中学校発着時間

陽明中学校発着	1便	2便	3便	4便
月	7:52	12:31	スクールバス	無
火	7:52	12:31	16:10	17:40
水	7:52	12:31	16:10	17:40
木	7:52	12:31	スクールバス	無
金	7:52	12:31	16:10	17:40
土,日,祝日 長期休業中	7:52	12:31	16:10	無

月、木は3便目を市営バスとして運行せず「中学生専用スクールバス」として運行
 (自宅の最寄り停留所まで送迎) ⇒ 黄色で囲った範囲が「市営バス和泉大野線」の時刻表

時刻表

上り	1便		2便		3便		4便	
	時間	経過	時間	経過	時間	経過	時間	経過
和泉乗合バス 前坂方面 後野 貝皿 ぶなの木台 川合 <i>前坂以外は本来の和泉乗合バス</i>	平日のみ 713		平日のみ		平日のみ		平日のみ	
717								
717								
720								
市営バス和泉大野線	全日		全日		月、木のぞく全日 (火、水、金、土日祝)		火、水、金のみ	
九頭竜湖駅	725	0分	1145	0分	1523	0分	1700	0分
ぶなの木台	728	3分					1703	3分
九頭竜IC (のる)	729	1分					1704	1分
国民休養地前			1146	1分	1524	1分		
板倉			1147	1分	1525	1分		
谷戸口			1151	4分	1529	4分		
下山坂無			1153	2分	1531	2分		
下山岡畑			1155	2分	1533	2分		
平成の湯			1156	1分	1534	1分		
下山岡畑			1157	1分	1535	1分		
下山IC (のる)			1159	2分	1537	2分		
荒島IC (おきる)			1206	7分	1544	7分		
道の駅「越前おおの 荒島の郷」			1207	1分	1545	1分		
中休			1209	2分	1547	2分		
塚原開拓			1210	1分	1548	1分		
田野			1210	0分	1548	0分		
塚原			1211	1分	1549	1分		
井ノ口			1211	0分	1549	0分		
明治公園			1216	5分	1554	5分		
国時団地口			1218	2分	1556	2分		
ハニー新鮮館こぶし通り店			1219	1分	1557	1分		
大野IC (おきる)	748	19分					1723	19分
陽明中学校口	752	4分					—	
かじ惣リブレ店	754	2分					—	
越前大野駅	758	4分	1222	3分	1600	3分	1731	8分
(まちなか停留所へ乗り継ぎ)	758~		無		無		無	
	33分		37分		37分		31分	

下り	1便		2便		3便		4便	
	時間	経過	時間	経過	時間	経過	時間	経過
市営バス和泉大野線	全日		全日		月、木のぞく全日 (火、水、金、土日祝)		火、水、金のみ	
越前大野駅	900	0分	1225	0分	1604	0分	1734	0分
かじ惣リブレ店			1229	4分	1608	4分	1738	4分
陽明中学校口			1231	2分	1610	2分	1740	2分
大野IC (のる)					1614	4分	1744	4分
ハニー新鮮館こぶし通り店	903	3分	1236	5分				
国時団地口	904	1分	1237	1分				
明治公園	906	2分	1239	2分				
井ノ口	911	5分	1244	5分				
塚原	911	0分	1244	0分				
田野	912	1分	1245	1分				
塚原開拓	912	0分	1245	0分				
中休	913	1分	1246	1分				
道の駅「越前おおの 荒島の郷」	915	2分	1248	2分				
荒島IC (のる)	916	1分	1249	1分				
下山IC (おきる)	923	7分	1256	7分				
下山岡畑	925	2分	1258	2分				
平成の湯	926	1分	1259	1分				
下山岡畑	927	1分	1300	1分				
下山坂無	929	2分	1302	2分				
谷戸口	931	2分	1304	2分				
板倉	935	4分	1308	4分				
国民休養地前	936	1分	1309	1分				
九頭竜IC (おきる)					1633	19分	1803	19分
ぶなの木台					1634	1分	1804	1分
九頭竜湖駅	937	1分	1310	1分	1637	3分	1807	3分
和泉乗合バス (同車両の乗り継ぎ)	937~		1310~		1637~		1807~	
	前坂・中竜 方面		前坂・中竜 方面		主に前坂方面 もう1台は 中竜・下山方面		主に前坂方面 もう1台は 中竜・下山方面	
	平日のみ		平日のみ		平日のみ		平日のみ	
	37分		45分		33分		33分	

赤字：中学生の乗車区間
斜体・括弧書き：和泉乗合バス

九頭竜湖駅 ⇄ 越前大野駅の全体時刻表

上り 越前大野駅行き			
	九頭竜湖駅	▷ 越前大野駅	運行日
JR	5:52	6:23	全日
バス 1便	7:25	7:58	全日
JR	10:56	11:28	全日
バス 2便	11:45	12:22	全日
JR	14:32	15:04	全日
バス 3便	15:23	16:00	月,木のぞく全日 (火,水,金,土日祝)
バス 4便	17:00	17:31	月,木のぞく平日 (火,水,金)
JR	18:35	19:07	全日
JR	20:06	20:38	全日

下り 九頭竜湖駅行き			
	越前大野駅	▷ 九頭竜湖駅	運行日
バス 1便	9:00	9:37	全日
JR	10:07	10:42	全日
バス 2便	12:25	13:10	全日
JR	13:47	14:22	全日
バス 3便	16:04	16:37	月,木のぞく全日 (火,水,金,土日祝)
バス 4便	17:34	18:07	月,木のぞく平日 (火,水,金)
JR	17:53	18:28	全日
JR	19:21	19:55	全日

運行間隔が近い



車はイメージ



運行日	平日のみ
運行時間	7時~7時20分 / 9時~19時 ※ただし、運休時間は設けます
車両	ハイエース1台 (14人乗り)
運賃	一律200円
予約	必要 (1時間前まで、7時台は前日まで)
時刻表	なし ※朝のみ前坂方面に時刻表を設定
停留所	あり (会員の場合、自宅まで送迎可)

和泉乗合バス 運行エリア

運賃

■和泉大野線 <定時定路線>

- 和泉地区⇔旧大野市域の停留所で乗降 … **一律500円**
- 和泉地区内か旧大野市域内の停留所で乗降 … **一律100円**
- 1便目の後にまちなかの停留所で降車 … **追加100円**

■和泉乗合バス <区域運行>

- 和泉地区内で乗降 … **一律200円**

上記いずれも 小学生・中学生の通学利用 … 無料

ただし、休日や長期休業中の個人的な利用は通常運賃
 中学生は通常運賃 / 小学生、障がい者等は半額 / 小学生未満は無料

割引等

・乗り継ぎ割引

和泉乗合バス + 和泉大野線 (和泉地区⇔旧大野市域) … **600円 (▲100円)**

・JR越美北線連携割引 (定期券保有者への割引)

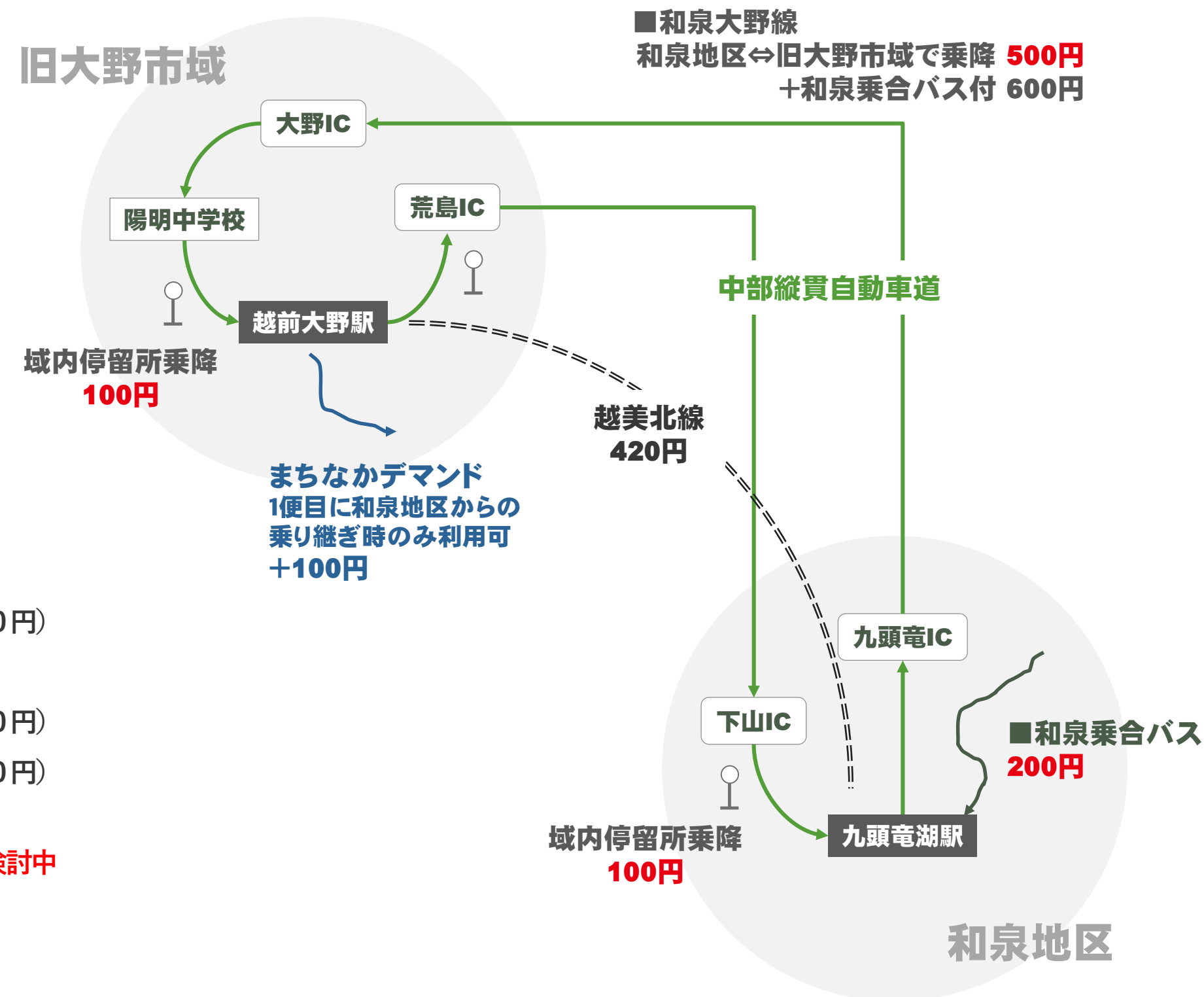
定期券保有者は 和泉大野線 (和泉地区⇔旧大野市域) … **200円 (▲300円)**

和泉乗合バス付 … **300円 (▲300円)**

回数券 … なし (現在の和泉線の回数券は廃止) **ただし、JR越美北線連携割引の回数券は検討中**

定期券 … なし (現在も定期券はありません)

運賃モデル図 (1便目の例)



現行の和泉3線・JR越美北線の運行時刻と市営バス和泉大野線と和泉乗合バスの運行時刻(予定)の比較

現行時刻表				和泉大野線メイン (ハイエース14人乗り1台)		和泉乗合バスメイン (ハイエース14人乗り1台)		
	中竜線	前坂線	和泉線	JR 越美北線	和泉大野線	和泉乗合バス	和泉大野線	和泉乗合バス
運行日	定時:平日のみ 予約:月~土	定時:平日のみ 予約:夏期全日 冬期月~土	平日のみ	全日	運行日	1,2便:全日 3便:月,木,金のぞく 4便:火,水,金のみ	平日のみ	平日のみ
time				5:52発 上り	time			
45					45			
7:00		1便 定時			7:00			
15	1便 定時				15		定時(通学優先) 前坂方面	予約(通学優先) 中竜・下山方面
30			上り 定時		30	1便上り 7:25発 全日		1便上り 7:25発 【増台時】
45	2便 定時				45			
8:00					8:00			
15					15	まちなか乗継	和泉地区へ 戻り	(運行しない)
30			下り 定時		30			
45					45			
9:00					9:00			
15					15	1便下り 9:37着 全日		
30					30			
45					45		乗継	
10:00					10:00			
15	3便 予約	2便 予約		下り 10:07~ 10:42着	15			予約
30					30			
45				10:56発 ~11:28 上り	45			
11:00					11:00			
15					15			
30					30		予約	
45					45			
12:00					12:00	2便上り 11:45発 全日		
15	4便 予約	3便 予約			15			(休憩)
30					30	2便下り 13:10着 全日		
45					45			
13:00					13:00			
15					15		乗継	
30					30			
45					45			
14:00				下り 13:47~ 14:22着	14:00			
15					15			予約
30	5便 予約	4便 予約		14:32発 ~15:04 上り	30			
45					45			
15:00					15:00			
15					15		予約	
30	6便 定時	5便 定時			30	3便上り 15:23発 月,木のぞく全日		予約 (小学校下校優先)
45					45			
16:00					16:00	3便下り 16:37着 月,木のぞく全日		予約
15					15			
30	7便 定時	6便 定時			30		乗継(通学優先) 前坂方面	予約(通学優先) 中竜・下山方面
45					45			
17:00					17:00	4便上り 17:00発 火,水,金のみ		
15					15			(休憩)
30					30	4便下り 18:07 火,水,金のみ		
45					45			
18:00				下り 17:53~ 18:28着	18:00			
15					15		乗継(通学優先) 前坂方面	予約(通学優先) 中竜・下山方面
30					30			
45	8便 予約	7便 予約		18:35発 ~19:07 上り	45			予約
19:00					19:00			
15					15			
30				20:06発 上り	30			

大野市地域公共交通計画

案

ver3.1

23/8/18 10時5分

福井県大野市

目次

第 1 章	はじめに	1
1.1	計画策定の背景	1
1.2	計画の目的	2
1.3	計画の位置付け	2
1.4	計画の区域	2
1.5	計画の期間	2
1.6	用語の定義	3
第 2 章	大野市の現状	4
2.1	人口	4
2.2	運転免許	5
2.3	観光客	6
第 3 章	公共交通の現状	7
3.1	大野市の公共交通を取り巻く主な社会情勢の変化	7
3.2	現在の公共交通ネットワーク（令和 5 年度）	8
3.3	公共交通の利用状況	9
3.4	公共交通の運行経費等	11
第 4 章	市民意向の把握	14
4.1	公共交通に関する市民アンケート調査結果の概要	14
4.2	介護予防・日常生活圏ニーズ調査	17
4.3	在宅介護実態調査	19
第 5 章	現状と課題の整理	20
5.1	公共交通を取り巻く現状と課題の整理	20
5.2	路線別の課題	22
第 6 章	計画の基本的な方針	23
6.1	計画の基本方針	23
6.2	計画の目標	24
6.3	新しい公共交通ネットワーク（令和 6 年 4 月～予定）	25
6.4	市内を運行するバス路線（令和 6 年 4 月～予定）	26
第 7 章	目標達成に向けた取り組み	27
7.1	取り組みの分類	27
7.2	取組内容	28
7.3	取組スケジュールと実施主体の全体像	36
第 8 章	評価と進捗管理	37
8.1	評価指標と実績確認	37
8.2	評価と進捗管理	39

第1章 はじめに

1.1 計画策定の背景

本市の公共交通は、主に広域移動を支えるJR越美北線と広域路線バス(大野線・勝山大野線)、主に市内移動を支える路線バス(大矢戸線)、まちなか循環バス、市営バス(道の駅線、和泉線、前坂線、中竜線)、乗合タクシー、タクシーなどで構成されています。

これら本市の公共交通は、人口減少や少子化、マイカー利用の普及による長期的な需要減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が減少し、その持続可能性が課題となっています。

公共交通は、自家用車を持たない又は利用することができない人にとって必要不可欠な移動手段です。また、令和6年(2024年)春の北陸新幹線敦賀開業や令和8年(2026年)の中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据えた来訪者の移動手段や今後のさらなる高齢化に対応した高齢者の外出支援のほか、環境負荷の軽減・脱炭素社会の実現に向けてなど、まちづくりとの連携の視点から、公共交通が担う役割は、都市の社会インフラとしてますます重要になってくると考えられます。

平成19年(2007年)10月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」は、令和2年(2020年)11月に改正されました。同法において、今後の地域公共交通の方向性として、「地域が自らデザインする地域交通」、「輸送手段の総動員による移動手段の確保」、「効率的かつ利便性の高い地域公共交通の実現」などが示され、地方公共団体に対し、地域公共交通計画の作成が努力義務化されました。

また、国土交通省に設けられた「アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会」(令和4年8月26日とりまとめ)では、公共交通ネットワーク全体について、自動運転やMaaS(Mobility as a Service)などの「交通DX」、車両の電動化や再エネ地産地消などの「交通GX」、官と民の共創、交通事業者間の共創、他分野を含めた共創の「3つの共創」により再構築(リ・デザイン)する必要性が示されました。

さて、本市は、平成31年(2019年)3月に「大野市地域公共交通網形成計画」を策定し、「地域で暮らし続けることができる まちづくりと連携した持続可能な公共交通」を将来像に掲げ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、公共交通の利便性向上や利用促進、観光や福祉分野と連携した施策を展開してきました。今後も引き続き各種施策を展開するとともに、新たに住民共助による移動支援や交通と他分野との共創の検討、交通DXをはじめ新たな技術の導入を検討し、公共交通のさらなる利便性の向上と効率化を図っていくことが求められています。

これらを踏まえ、今後5年間の市内公共交通に関する基本方針や目標、目標達成に向けた取り組みを示す計画として「大野市地域公共交通計画」を策定します。

1.2 計画の目的

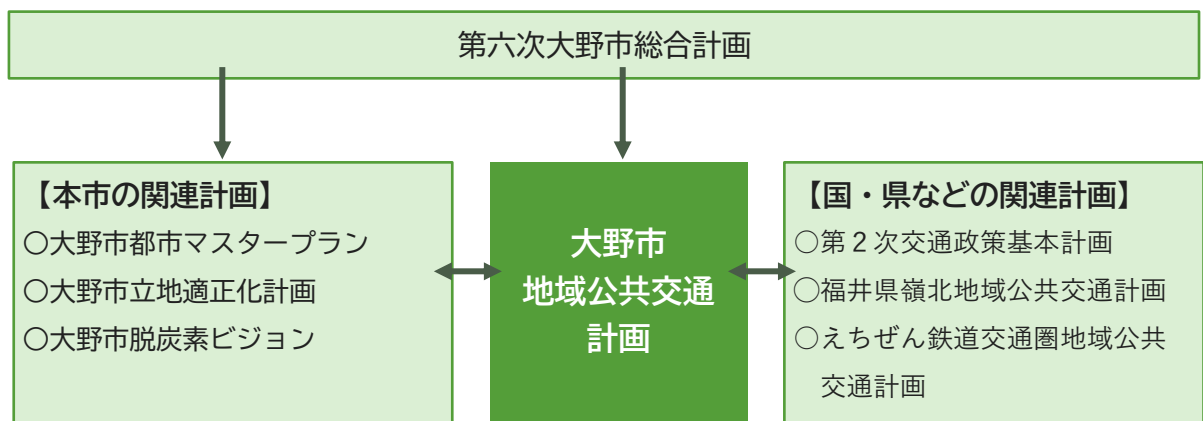
この計画は、本市の公共交通の現状や課題を踏まえ、公共交通の基本方針や目標、目標達成に向けた取り組みを示し、「共創」の姿勢であらゆる移動を確保することにより、本市が安心して住み続けられるまちとなることを目的としています。

また、これらの取り組みにより中部縦貫自動車道県内全線開通や北陸新幹線県内延伸の好機を生かし、観光振興をはじめとした、まちづくりや地域の活性化に資することをめざしています。

1.3 計画の位置付け

本計画は、大野市におけるまちづくりの目標と方向性を明示した最上位計画である「第六次大野市総合計画」のもと、「大野市都市マスタープラン」や「大野市立地適正化計画」、さらには、県や周辺交通圏などにおける関連計画と整合・連携を図ります。

●計画の位置付け



1.4 計画の区域

本計画の対象は、大野市全域とします。

1.5 計画の期間

本計画の期間は、令和6年（2024年）度から令和10年（2028年）度までの5年間とします。ただし、計画期間中であっても必要に応じて見直しを検討します。

1.6 用語の定義

本計画中の用語については、以下のとおりとします。

用語	本計画中の定義
作成中	※計画作成の最終段階で整理
MaaS	

第2章 大野市の現状

2.1 人口

人口

- ✓ 国勢調査によると、令和2年(2020年)の人口は31,286人であり、平成12年(2000年)の38,880人から約2割減少しています。
- ✓ 令和2年の国勢調査の結果は考慮されていませんが、国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という。)によると、令和27年(2045年)に人口が19,743人まで減少すると推計されています。

(資料編：P1 参照)

年齢別人口・高齢化率

- ✓ 令和2年(2020年)の15歳未満の人口は3,366人(総人口に占める割合10.8%)であり、平成12年(2000年)の5,794人から約4割減少し、少子化が進んでいます。
- ✓ 同じく65歳以上の人口は11,725人(同37.5%)であり、平成12年(2000年)の9,411人から約25%増加し、高齢化が進んでいます。
- ✓ 75歳以上の人口は6,224人であり、社人研の推計によると令和12年(2030年)に6,740人でピークを迎え、令和22年(2040年)まで6,000人以上を維持する見通しです。

(資料編：P1 参照)

通勤通学流動

- ✓ 令和2年(2020年)の通勤通学流動を見ると、大野市内に通勤通学している市民は75.1%、他市町へ通勤通学している市民は24.9%となっています。
- ✓ 流出先を見ると、福井市が12.4%と最も多く、通勤通学で流出している人口のほぼ半数を占めています。次いで勝山市が7.7%、3番目は坂井市で1.0%となっています。

(資料編：P2 参照)

2.2 運転免許

運転免許保有者数

運転免許保有者数の比較 (H24-R4)

(単位：人)

	平成 24 年 (2012 年)				令和 4 年 (2022 年)			
	20 歳以上				20 歳以上			
		20～64 歳	65～74 歳	75 歳以上		20～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
総数	24,238 (79.8)	18,771 (95.5)	3,395 (74.5)	2,072 (33.6)	22,172 (82.8)	14,440 (95.9)	5,032 (89.6)	2,700 (44.2)
男性	13,128 (91.9)	9,603 (97.0)	1,951 (91.8)	1,574 (69.8)	11,557 (90.9)	7,346 (96.2)	2,605 (93.9)	1,606 (69.7)
女性	11,110 (69.0)	9,168 (93.9)	1,444 (59.4)	498 (12.7)	10,615 (75.5)	7,094 (95.5)	2,427 (85.4)	1,094 (28.8)

注記 | () は住民基本台帳人口に占める割合 (%)。運転免許保有者数は 4 月末時点、住民基本台帳は 4 月 1 日時点 (外国人含む)

(資料 大野警察署提供資料を交通住宅まちづくり課が編集)

- ✓ 令和4年(2022年)4月末時点の市民の運転免許保有者数は、20歳以上で22,172人です。住民基本台帳の人口が26,782人(同月1日時点)であることから、市民の82.8%が運転免許を保有している計算になります。
- ✓ 男女別では、男性90.9%、女性75.5%であり、男性の運転免許保有率が高いです。しかしながら、20～64歳では、男性96.2%、女性95.5%と、ほとんど差は見られません。
- ✓ 年代別では、65～74歳の約9割(89.6%)、75歳以上の半数近く(44.2%)が、運転免許を保有しています。
- ✓ 令和4年(2022年)と平成24年(2012年)の年代別の比較では、65～74歳と75歳以上の女性で運転免許保有率に違いが見られ、いずれも令和4年の保有率が高いです(59.4→85.4%、12.7→28.8%)。一方、男性は全ての年代について同じような割合であり、違いは見られません。

(資料編：P3 参照)

運転免許自主返納支援事業

- ✓ 令和4(2022年)年度までの直近5年間で運転免許を自主返納された方は732人であり、そのうち運転免許自主返納支援事業の申請者数は451人です。その差である281人(全体の38%)の方は、公共交通の利用支援を必要としていないことがうかがえます。
- ✓ 直近5年間の運転免許自主返納支援事業の申請者数は、平均約90人/年です。
- ✓ 申請時の平均年齢は81.9歳であり、80代が全体の6割以上を占めています。

(資料編：P3,4 参照)

2.3 観光客

観光入込客数

- ✓ 観光入込客数は、令和4年(2022年)206万人、令和3年(2021年)176万人、令和2年(2020年)112万人であり、令和元年以前は、平成28年(2016年)に213万人にまで増加したのち、200万人前後で横ばいとなっています。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた時期は減少していますが、現在はコロナ禍以前の水準に戻りつつあると言えます。
- ✓ 観光客の約95%が日帰り客で、宿泊客はわずかと言えます。

(資料編：P5参照)

観光客の来訪手段

- ✓ 令和4年(2022年)度に行われた調査によると、大野市のまちなかエリアを訪れた観光客の約8割が自家用車(バイクを除く)で来訪し、約2割がレンタカーや公共交通で来訪されています。
- ✓ 公共交通に対する満足度は、「満足」、「やや満足」が合わせて約8割となっていますが、大野・勝山・永平寺エリアを周遊するための公共交通の改善が指摘されています。

(資料編：P5,6参照)

周遊観光

- ✓ 令和4年(2022年)度に行われた調査によると、大野市のまちなかエリアを訪れた観光客の約6割が複数の観光地を周遊し、道の駅「越前おおの 荒島の郷」、九頭竜湖、道の駅「九頭竜」などに訪れています。

(資料編：P6参照)

第3章 公共交通の現状

3.1 大野市の公共交通を取り巻く主な社会情勢の変化

北陸新幹線敦賀開業

- ✓ 令和5年(2023年)度末、北陸新幹線敦賀開業が予定されており、開業後は東京ー福井間が2時間53分で乗り継ぎ無く結ばれることとなり、広域移動の利便性が大きく向上します。
- ✓ 福井県内には観光客をはじめ、多くの来訪者が訪れることが見込まれ、北陸新幹線敦賀開業による経済波及効果は約309億円と示されています(日本政策投資銀行における経済波及効果/令和2年2月)。
- ✓ 福井駅をはじめ、近隣の主要拠点から多くの来訪者のアクセスを促すことで、地域のにぎわいや活性化の効果が期待できます。

中部縦貫自動車道(国道158号大野油坂道路)の県内全線開通

- ✓ 令和8年(2026年)春、中部縦貫自動車道(国道158号大野油坂道路)の県内全線開通が予定されており、東海北陸自動車道(白鳥IC)との接続により、岐阜や名古屋方面、富山方面との広域移動の利便性が大きく向上し、市内における人流や物流の変化が想定されます。
- ✓ 新たな高速ルートが形成されることにより、多くの来訪者や物資の往来による地域活性化のほか、異常気象時における交通の確保等の効果が見込まれます。

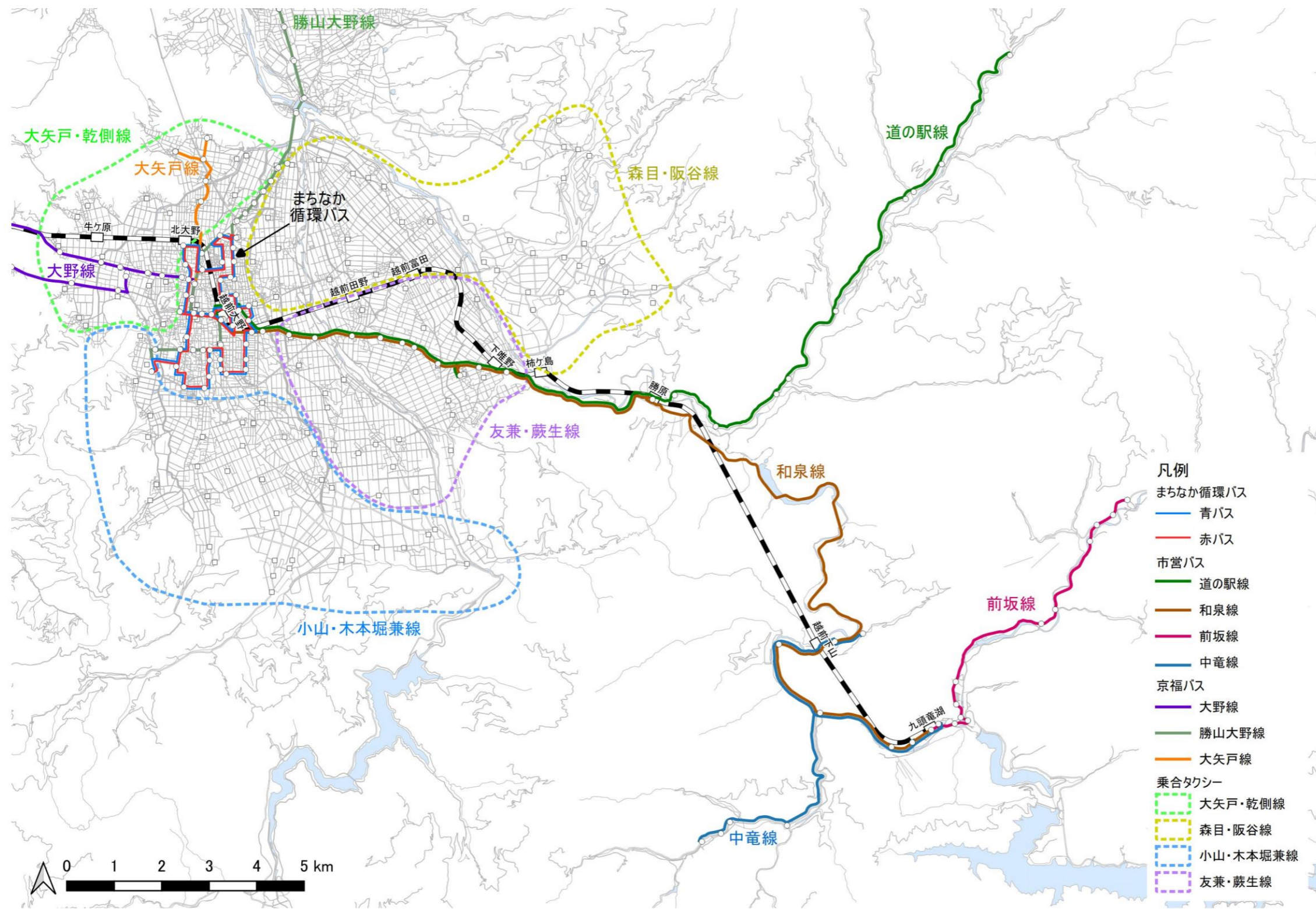
運転手不足の深刻化

- ✓ 令和2年(2020年)からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公共交通の運転手や技術職員の人手不足が全国的に大きな問題となっています。
- ✓ また、平成31年(2019年)4月に働き方改革関連法が施行され、これまで猶予されていたバスやタクシー等の「自動車運転の業務」においても時間外労働の上限等が設けられることとなり、さまざまな分野における運転手不足が顕在化すると見込まれます。
- ✓ 今後、バスやタクシーの運転手不足のさらなる深刻化が懸念されることから、バス、タクシーに限らず既存の輸送資源を最大限活用し、移動手段を確保していくことが求められると想定されます。

市内小中学校の再編

- ✓ 本市においては、近年の児童生徒数の減少を踏まえ、「大野市小中学校再編計画(令和3年12月改訂)」を策定し、小中学校の再編を進めています。
- ✓ 中学校は令和6年(2024年)4月に5校から2校、小学校は令和8年(2026年)4月に9校から7校に再編する予定となっています。
- ✓ 生徒の通学手段を確保するため、中学校再編に伴うスクールバスの運行が予定されています。

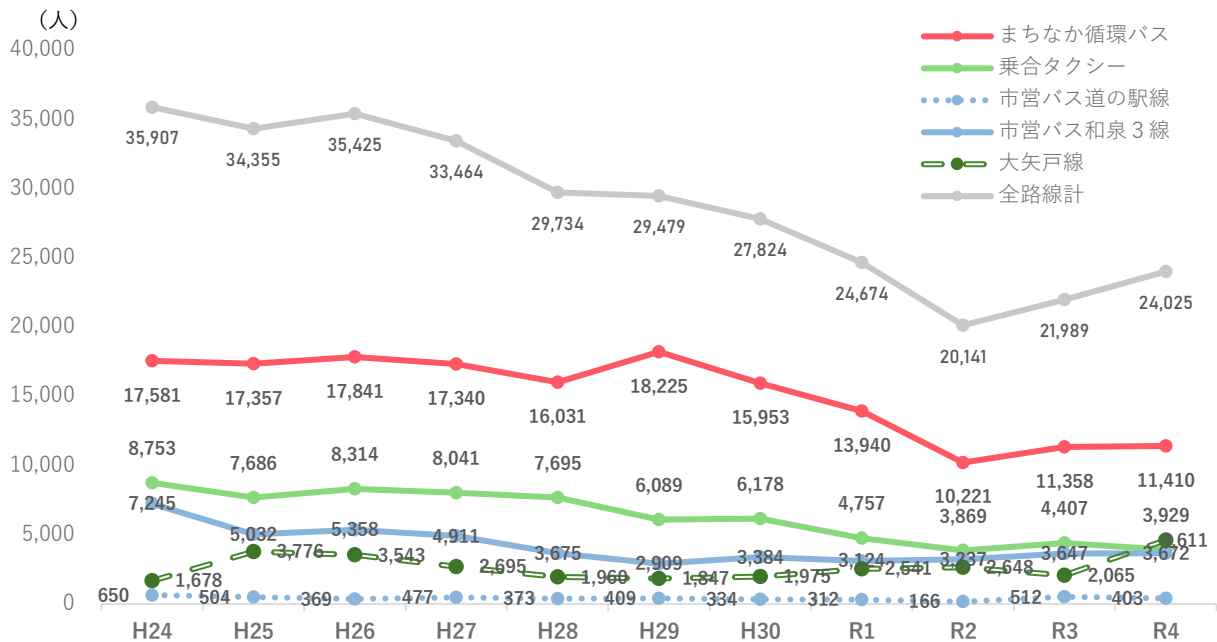
3.2 現在の公共交通ネットワーク（令和5年度）



- ✓ 本市と他市を結ぶ広域公共交通は、JR越美北線と広域路線バス2路線（京福バス大野線・勝山大野線）が運行されています。
- ✓ 市内の公共交通は、まちなか循環バス、乗合タクシー（大矢戸・乾側線、森目・阪谷線、友兼・蕨生線、小山・木本堀兼線）、京福バス大矢戸線、市営バス（前坂線、中竜線、和泉線、道の駅線）が運行されています。

3.3 公共交通の利用状況

市内公共交通の利用者数



(資料 交通住宅まちづくり課)

●まちなか循環バス

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、11,410人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は17,581人であったことから、年間当たりの利用者数が6,171人(約35%)減少しています。
- ✓ 適宜、バス停やルート等の見直しを行ってきましたが、平成29年(2017年)度をピークに利用者数は減少傾向で推移しています。

●乗合タクシー

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、3,929人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は8,753人であったことから、年間当たりの利用者数が4,824人(約55%)減少しています。
- ✓ 高齢のヘビーユーザーの利用が多く、高齢者への説明会や乗合利用による運賃割引等を行ってきましたが、新規利用者の獲得が進まず、利用者数は減少傾向で推移しています。

●市営バス 和泉3線(前坂線、中電線、和泉線)

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、3,672人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は7,245人であったことから、年間当たりの利用者数が3,573人(約50%)減少しています。
- ✓ 主に和泉地区の児童生徒の通学手段として利用されていることから、各年度における児童・生徒数に応じて利用者数の推移が変化しています。

第3章 公共交通の現状

●市営バス 道の駅線（旧白山線）

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、403人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は650人であったことから、年間当たりの利用者数が247人(約40%)減少しています。
- ✓ 道の駅「越前おおの 荒島の郷」の開駅に併せて白山線から道の駅線にリニューアルし増便等を行い、令和3年(2021年)度の利用者は増加しましたが、その後は減少に転じています。

●京福バス 大矢戸線

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、4,611人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は1,678人であったことから、年間当たりの利用者数が2,933人(約275%)増加しています。

広域路線バス・JR 越美北線

●京福バス 大野線

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、120,293人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は256,746人であったことから、年間当たりの利用者数が136,453人(約53%)減少しています。

(資料編：P7参照)

●京福バス 勝山大野線

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者数は、46,411人となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の利用者数は47,773人であったことから、年間当たりの利用者数が1,362人(約3%)減少しています。

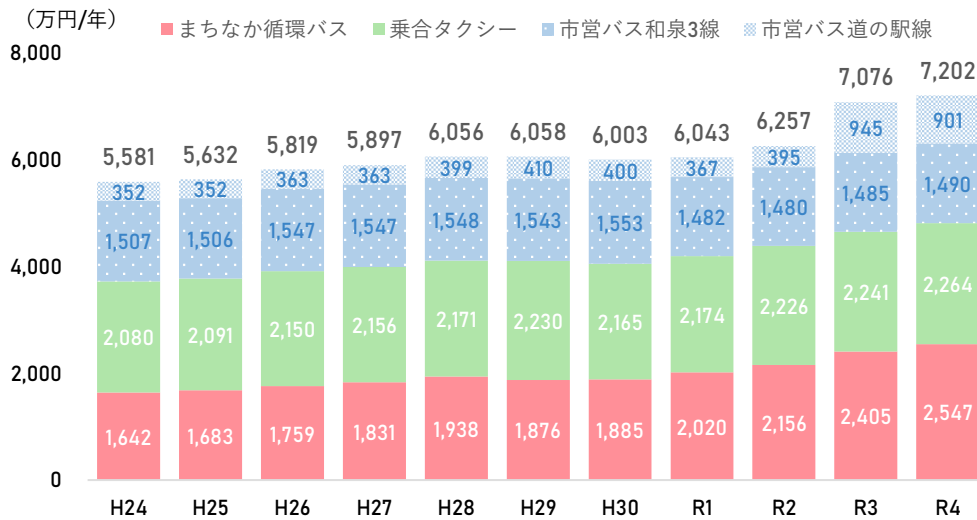
(資料編：P7参照)

タクシー・介護タクシーの運行状況

- ✓ 市内にタクシー事業者は3社あり、市街地において日頃運行している車両は4台です。運行時間は概ね17時までとなっており夜間は運行していません。
- ✓ 介護タクシーは2社あり、各社1台の計2台が運行しています。

3.4 公共交通の運行経費等

市内公共交通の運行経費

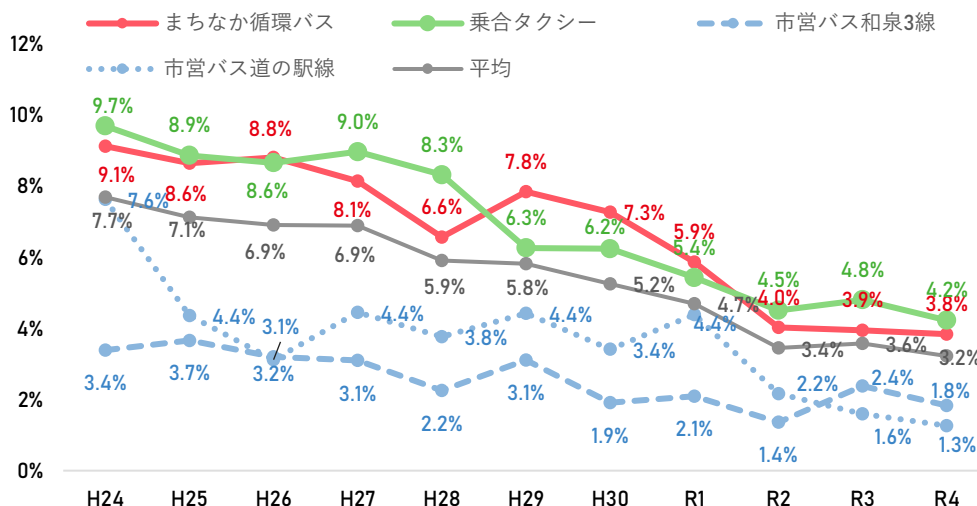


(資料 交通住宅まちづくり課)

- ✓ 令和4年(2022年)度の市内公共交通の運行経費は7,202万円となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の同経費は5,581万円であり、1.3倍に増えています。

市内公共交通の収支率

説明 収支率とは、(運賃収入÷運行経費×100)により求められ、公共交通利用者の負担割合を表します(残りは公的負担)。



(資料 交通住宅まちづくり課)

- ✓ 令和4年(2022年)度の市内公共交通の平均収支率は3.2%となっています。
- ✓ 平成24年(2012年)度の同収支率は7.7%であり、4.5ポイント減少しています。

市内公共交通利用者一人当たりの運行経費と市費負担額

説明 利用者一人当たりの運行経費とは、(運行経費÷利用者数)により求められ、公共交通を利用された方お一人に対して、いくらの運行経費がかかっているかを示します。同様に、利用者一人当たりの市費負担額とは、公共交通を利用された方お一人に対して、市費(市の税金)がいくらかかっているかを示します。

●まちなか循環バス

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者一人当たりに係る運行経費は、2,233円(うち市費負担額1,193円)です。
- ✓ 平成24年(2012年)度の同経費は934円(市費負担額304円)であったことから、利用者一人当たりの運行経費が2.4倍(市費負担額は3.9倍)に増えています。

(資料編：P9参照)

●乗合タクシー

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者一人当たりに係る運行経費は、5,762円(うち市費負担額3,655円)です。
- ✓ 平成24年(2012年)度の同経費は2,376円(市費負担額954円)であったことから、利用者一人当たりの運行経費が2.4倍(市費負担額は3.8倍)に増えています。

(資料編：P9参照)

●市営バス 和泉3線(前坂線、中竜線、和泉線)

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者一人当たりに係る運行経費は、4,058円(うち市費負担額2,310円)です。
- ✓ 平成24年(2012年)度の同経費は2,080円(市費負担額804円)であったことから、利用者一人当たりの運行経費が2.0倍(市費負担額は2.9倍)に増えています。

(資料編：P9参照)

●市営バス 道の駅線(旧白山線)

- ✓ 令和4年(2022年)度の利用者一人当たりに係る運行経費は、22,358円(うち市費負担額10,183円)です。
- ✓ 平成24年(2012年)度の同経費は5,423円(市費負担額4,592円)であったことから、利用者一人当たりの運行経費が4.1倍(市費負担額は2.2倍)に増えています。

(資料編：P9参照)

●京福バス 大矢戸線

- ✓ 令和4年度(期間：令和3年10月～4年9月)の運行に係る費用は89万円であり、運賃収入等の収益は32万円(費用全体に占める割合36.0%)、路線運行に係る市費負担額(補助金)は55万円(同61.9%)です。
- ✓ 大矢戸線の利用者のほとんどが沿線地区から下庄小学校に通う児童のため、利用者数や運賃収入は、沿線地区の児童数の推移により変動します。

広域路線バスに係る市費負担額

●京福バス 大野線

- ✓ 令和4年度(期間:令和3年10月～4年9月)の運行に係る費用は1億786万円、運賃収入等の収益は4,233万円(費用全体に占める割合39.2%)、路線運行に係る市費負担額(補助金)は644万円(同6.0%)です。
- ✓ 令和元年度以降では、新型コロナウイルス感染症拡大による運賃収入の減少や、年によって国・県からの補助金に変動がありますが、市費負担額は400～600万円台の間で推移し、運行費用に占める市費負担額の割合は3.9～6.1%の間で推移しています。

(資料編：P10参照)

●京福バス 勝山大野線

- ✓ 令和4年度(期間:令和3年10月～4年9月)の運行に係る費用は3,429万円、運賃収入等の収益は1,243万円(費用全体に占める割合36.3%)、路線運行に係る市費負担額(補助金)は917万円(同26.7%)です。
- ✓ 令和元年度以降では、新型コロナウイルス感染症拡大による運賃収入の減少や、年によって国・県からの補助金に変動がありますが、市費負担額は700～900万円台の間で推移し、運行費用に占める市費負担額の割合は22.6～26.9%の間で推移しています。

(資料編：P10参照)

第4章 市民意向の把握

4.1 公共交通に関する市民アンケート調査結果の概要

調査概要

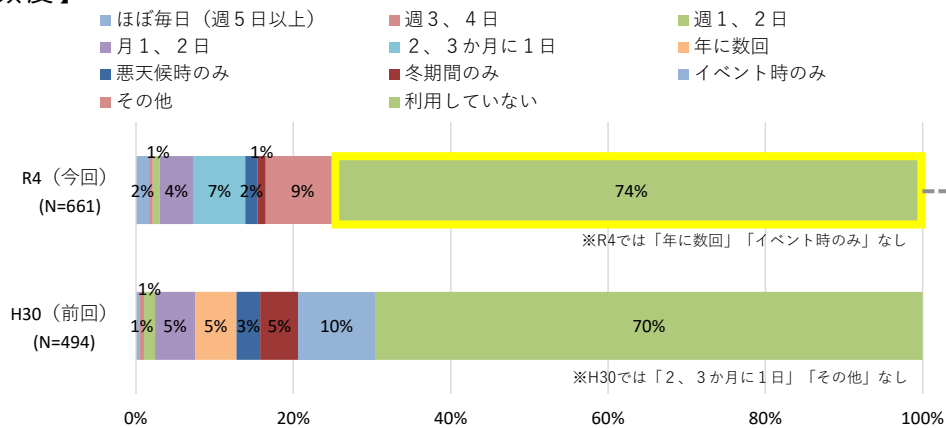
- ✓ 調査対象：大野市在住の2,000人(住民基本台帳による無作為抽出)
- ✓ 調査方法：郵送による配布、回収(WEB回答可)
- ✓ 調査期間：令和5年(2023年)1月19日(木)～2月5日(日)
- ✓ 回収数：配布数・2,000通、回収数・紙・746票、WEB・82票(回収率41.4%)

調査結果の概要（詳細は資料編を参照）

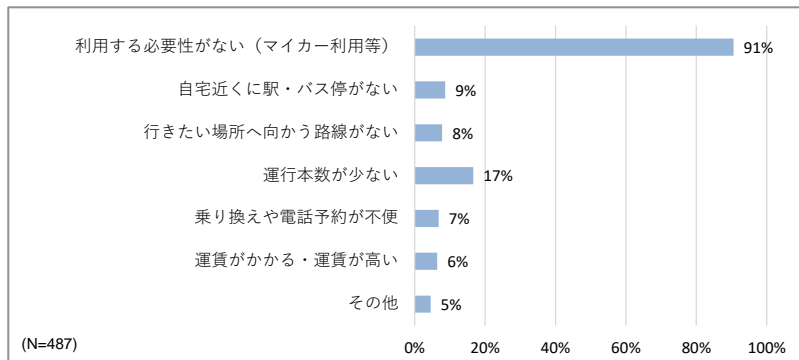
● 利用頻度・公共交通を利用しない理由

○ マイカーで移動するため、公共交通は利用していない

【利用頻度】



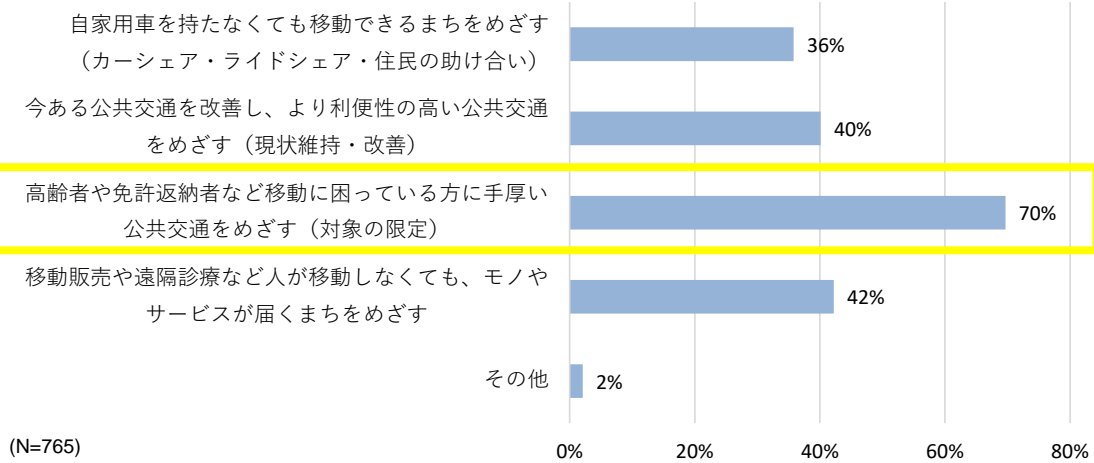
【公共交通を利用しない理由】



- ✓ 利用頻度は「利用していない」が74%で最も多く、その理由として「利用する必要性がない(マイカー利用等)」が91%で最も多くなっている。

● 今後めざすべき公共交通やまち

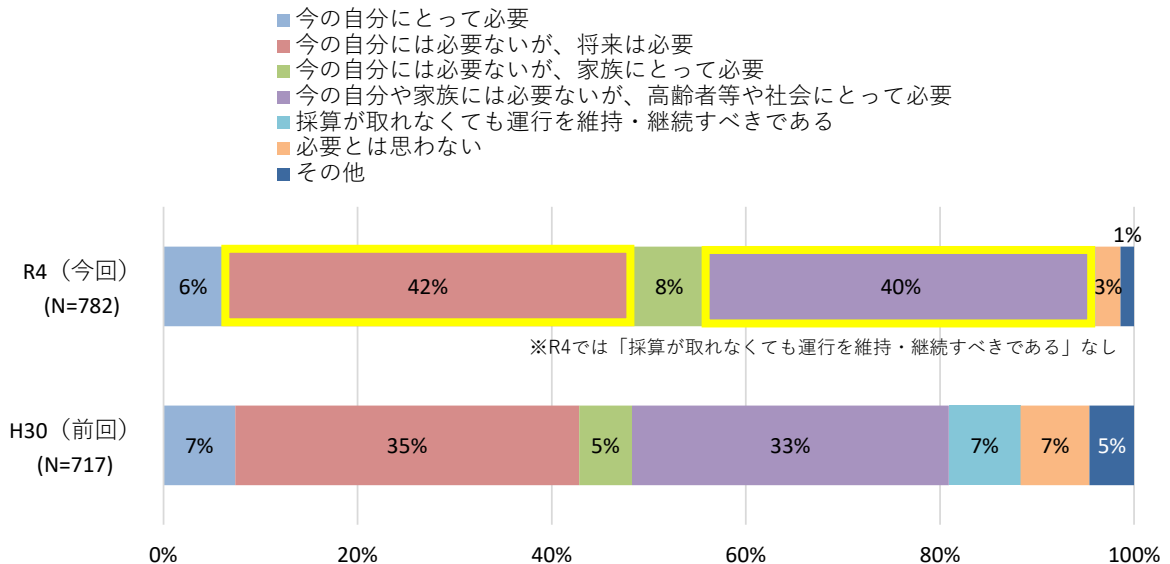
○ 自家用車等を持たず、移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす



✓ 今後めざすべき方向性として「高齢者や免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす(対象の限定)」が70%で最も多くなっている。

● 公共交通の必要性

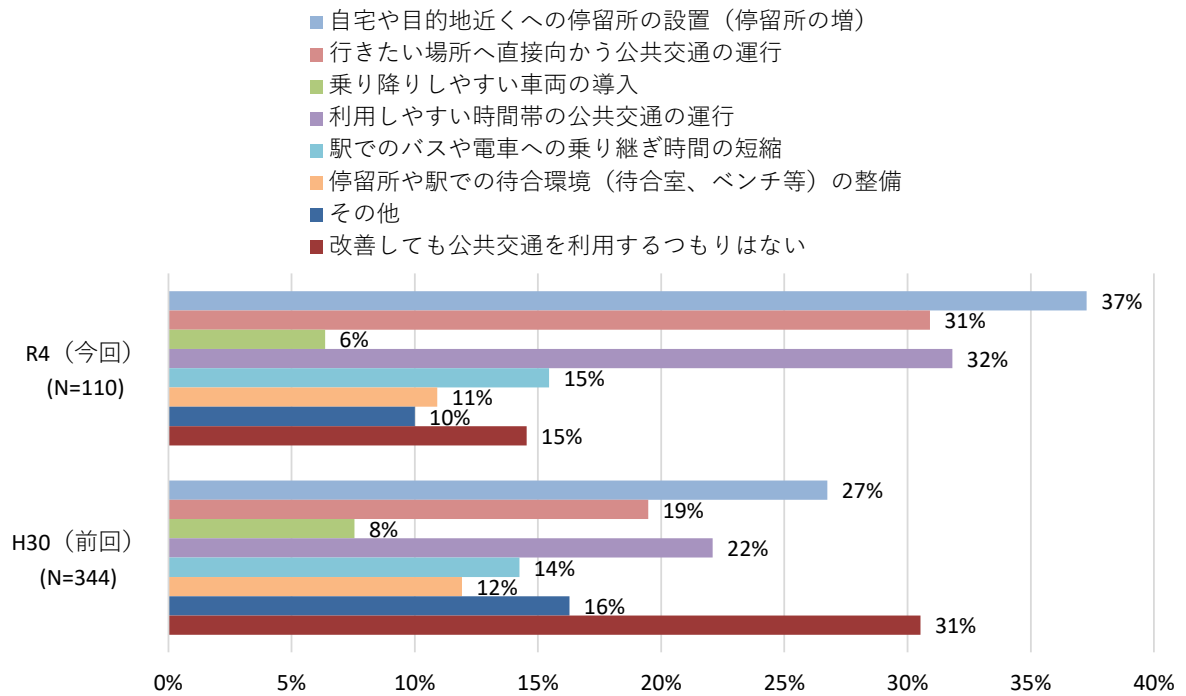
○ 今の自分には必要ないが、将来的には必要



✓ 公共交通の必要性について、「今の自分には必要ないが、将来は必要」や「今の自分や家族には必要ないが、高齢者等や社会にとって必要」が多くなっている。

● 今後、公共交通を利用するための改善点

○ 停留所の増加、利用しやすい時間帯の運行、目的地まで直接向かう公共交通の運行



✓ 公共交通を利用するための改善点としては「自宅や目的地近くへの停留所の設置(停留所の増)」や「利用しやすい時間帯の公共交通の運行」、「行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行」が多くなっている。

4.2 介護予防・日常生活圏二一ズ調査

大野市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にあたり令和4年(2022年)度に健康長寿課が実施した調査結果の抜粋

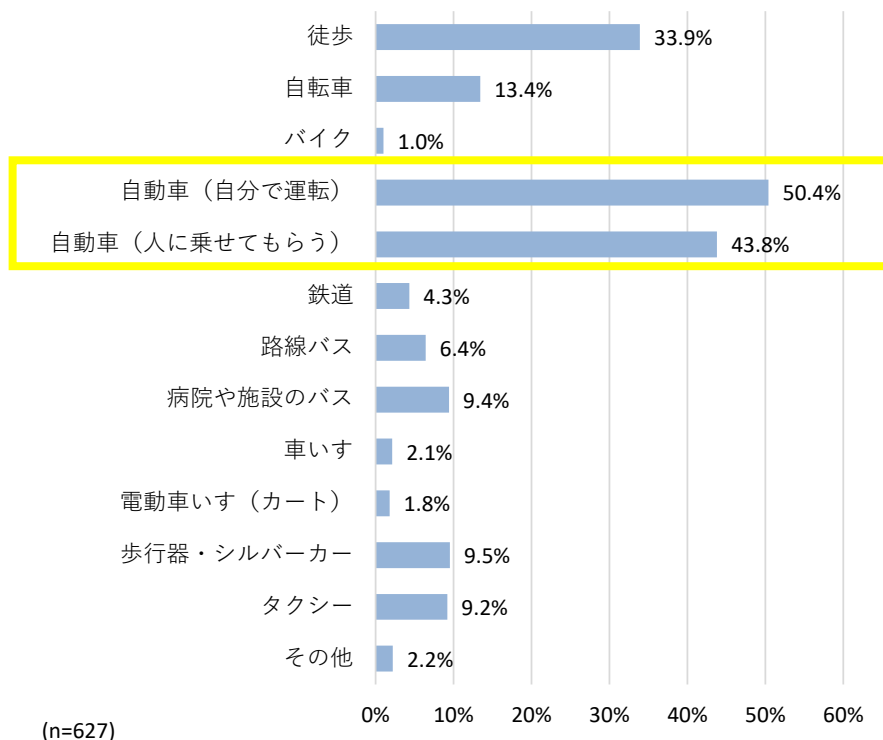
調査概要

- ✓ 対象者: ①65歳以上の要介護認定を受けていない方(無作為抽出500人)及び②要支援認定者で市内にある事業所で居宅サービス及び地域密着型サービスを利用している方(300人)
- ✓ 調査方法: 郵送による配布・回収
- ✓ 調査期間: 令和4(2022年)年11月~12月
- ✓ 回収数: 配布数:800通、有効回収数・672票(有効回収率84.0%)

調査結果の概要

●外出する際の移動手段(複数選択可)

- 自動車を利用する高齢者がほとんどであり、各種公共交通の利用は1割に満たない



- ✓ 「自動車(自分で運転)」が50.4%で最も多く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が43.8%で続き、移動手段として自動車を利用する方の割合が多くなっている。

●自由意見

○ タクシーの充実や柔軟で自由度の高い公共交通への要望が挙げられている

【移動手段に不安】

- ✓ 移動サービスの充実(介護タクシーなどへの助成)
- ✓ 買い物や行きたい所へ、近くに乗り場や不便など困っている
- ✓ 免許返納した後の移動手段に心配有。
- ✓ 車の運転ができなくなった時、免許返納時の移動手段に不安がある
- ✓ 車に乗れなくなった時に、病院、買い物等、どうしたらいいのか心配

【タクシーの台数が不十分】

- ✓ 大野市内のタクシーの台数が少ない
- ✓ 車の免許症も持っておりませんし、駅でバスを降りてもタクシーが無いのがとても不便
- ✓ タクシーの時間が早く終わって不便
- ✓ 2社タクシーが動いていないので交通の便が悪い
- ✓ 大野はタクシー会社の機能が十分でない

【柔軟で自由度の高い移動、それに変わるサービスが必要】

- ✓ 乗合タクシー等もありますが、突然の利用時も利用できる交通の便が必要
- ✓ 家が町からはなれていますので、買い物できる車が来てくれるとありがたい
- ✓ 移動販売車が各村々に出向いて下さればありがたい
- ✓ 近隣の住民が協力して自家用車での送迎ができるシステム

【その他】

- ✓ 半分公費で半分は自己負担があるとよい
- ✓ 定額でタクシー等利用できる制度があるといいと思う

4.3 在宅介護実態調査

大野市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にあたり令和4年（2022年）度に健康長寿課が実施した調査結果の抜粋

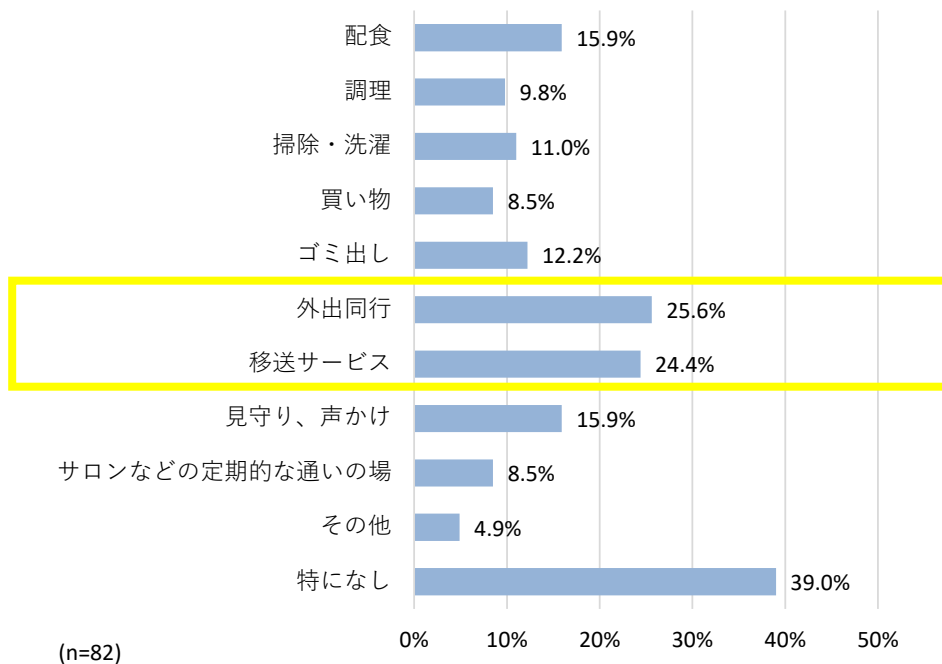
調査概要

- ✓ 対象者：令和4年(2022年)10月1日～12月28日の期間中に要介護認定調査を受ける者で更新申請・区分変更申請をする者(入院、施設入所者を除く)
- ✓ 調査方法：認定調査員に関する聞き取り調査
- ✓ 調査期間：令和4年(2022年)10月～12月
- ✓ 回収数：105人、有効回収数：82票(有効回収率 78.1%)

調査結果の概要

●在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

○ 外出支援・移動手段への要望が強い



- ✓ 必要とする具体的なサービスは「外出同行」が 25.6%で最も多く、次いで「移送サービス」が 24.4%となっており、移動手段への要望が強いことがうかがえる。

第5章 現状と課題の整理

5.1 公共交通を取り巻く現状と課題の整理

大野市の公共交通を取り巻く現状と課題を、次の5つに整理します。

現状1 利用者が減少

- ✓ 人口減少や少子化、運転免許保有者の増加などにより、市内公共交通の利用者数は10年間で4割減少
- ✓ 利用者の減少や担い手の不足などに伴い交通サービスが低下し、特に市外への通学の負担や不安が増加

課題1 公共交通の確保

- 利用者が減少し運転手が不足する中であっても、市外への通学を含む高校生や大学生等の通学手段、高齢者をはじめマイカーを利用できない方の移動手段を確保する必要があります

現状2 移動ニーズと交通サービスのミスマッチが発生

- ✓ 時間帯や便によつての低い運行率や利用実績から交通サービスの提供過多と見られる路線が存在し、収支率の悪化と公的負担が増加
- ✓ 市内公共交通利用者一人当たりの運行経費は10年間で2倍、運行経費は25%増加

課題2 移動ニーズを満たす最適な交通ネットワークの形成

- 環境や移動ニーズの変化に伴い、本格運行から10年以上経過した市内公共交通ネットワークを見直す必要があります
- 見直しにあたっては、公共交通を持続可能なものとするため、利用者負担や公的負担の最適なあり方を検討する必要があります

現状3 公共交通がわかりにくい

- ✓ 運転免許保有者やマイカー利用の増加に伴い、公共交通に触れる機会が減少
- ✓ 高齢化により将来の移動を不安に思う市民は増えつつあるものの、公共交通に関する情報が十分に伝わっていない可能性
- ✓ 利用促進のための運賃体系や割引・助成制度などが複雑化し、市民にとってわかりにくい可能性

課題3 わかりやすい交通サービスの提供と利用環境の向上

- 公共交通に触れる機会の提供や乗り方を伝える必要があります
- 運賃体系や割引制度、助成制度などを、シンプルにできないか検討する必要があります
- わかりやすい情報提供と快適に運行情報や経路検索ができるよう整える必要があります

現状4 さまざまな移動を支える
担い手の不足

- ✓ バスやタクシーの運転手が不足、建設や物流等を含む運転手の争奪戦
- ✓ 移動に携わる人たちの労働環境の改善や働き方改革が課題

課題4 垣根を超えた連携と新技術による移動の確保

- 教育や福祉、物流など他分野との連携を検討する必要があります
- 交通事業者同士の連携を進める必要があります
- 交通のDXを推進し効率化と事務負担の軽減を図る必要があります

現状5 北陸新幹線県内延伸、中部縦貫
自動車道県内全線開通の好機

- ✓ 北陸新幹線の県内の経済波及効果は約309億円と推計
- ✓ 中部縦貫自動車道九頭竜 IC 開通により、和泉地区との往来がより便利になる
- ✓ 現状、大野市内は夜間や早朝にタクシーが運行していない

課題5 福井駅等からの二次交通の充実と周遊性の向上

- 福井駅などの主要拠点や近隣観光地からの二次交通の充実を図る必要があります
- 市内における公共交通を利用した周遊性の向上を図る必要があります

5.2 路線別の課題

エリア	路線	課題
市内	まちなか循環バス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって大きく落ち込んだ令和2年(2020年)度以降、利用者数は回復傾向にありますが、コロナ禍前の水準には戻っていません。 ✓ 引き続き、ニーズに応じた運行の見直しや観光、商業、教育等のまちづくりと連携した利用促進に取り組む必要があります。
	乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今後、高齢のヘビーユーザーは加齢に伴い公共交通での外出自体が困難となり、さらなる利用者の減少が懸念されます。 ✓ 地域や集落、老人会等における説明会などの利用促進を引き続き行うとともに、運行内容・サービスの見直しや地域と連携した新たな運行方法を検討する必要があります。
	市営バス 和泉3線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用者数は減少傾向にある中、和泉地区における児童・生徒の通学や住民の移動手段として運行を継続する必要があります。 ✓ 小中学校の再編を控え、教育委員会と連携し、効率的で持続可能な運行方法を検討することが必要です。
	市営バス 道の駅線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年間の利用者数が500人未満と少なく、路線維持が厳しい状況にあります。 ✓ 市営バス和泉3線との統合や廃線・代替手法の検討を視野に運行方法を見直すことが必要です。
	大矢戸線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運行する交通事業者より、運転手不足を要因として令和6年3月末をもって路線が廃止となる見通しです。 ✓ 児童の通学に利用されている路線であり、路線廃止後の通学手段確保策を検討する必要があります。
広域	JR越美北線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用者数が減少傾向にある中、福井市までの通学・通勤・通院や買い物、観光などの広域移動を支えています。 ✓ 北陸新幹線敦賀開業に合わせた利用促進や並行在来線(ハピライン)との連携、沿線住民と連携した駅周辺のまちづくり等に取り組み、路線の維持充実を図ることが必要です。
	京福バス 大野線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用者数が減少傾向にある中、JR越美北線と同様、福井市までの通学・通勤・通院や買い物、観光などの広域移動を支えています。 ✓ 鉄道とのダイヤ調整やJR越美北線と連携した発信、運賃支援等の利用促進に取り組み、路線の維持充実を図ることが必要です。
	京福バス 勝山大野線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用者数が減少傾向にある中、勝山市までの通学や通院等の広域移動を支えています。 ✓ 引き続き、勝山市等とも連携し、勝山高校に通学する市民への支援やニーズに応じたダイヤ調整等を行い、路線の維持充実を図ることが必要です。

第6章 計画の基本的な方針

6.1 計画の基本方針

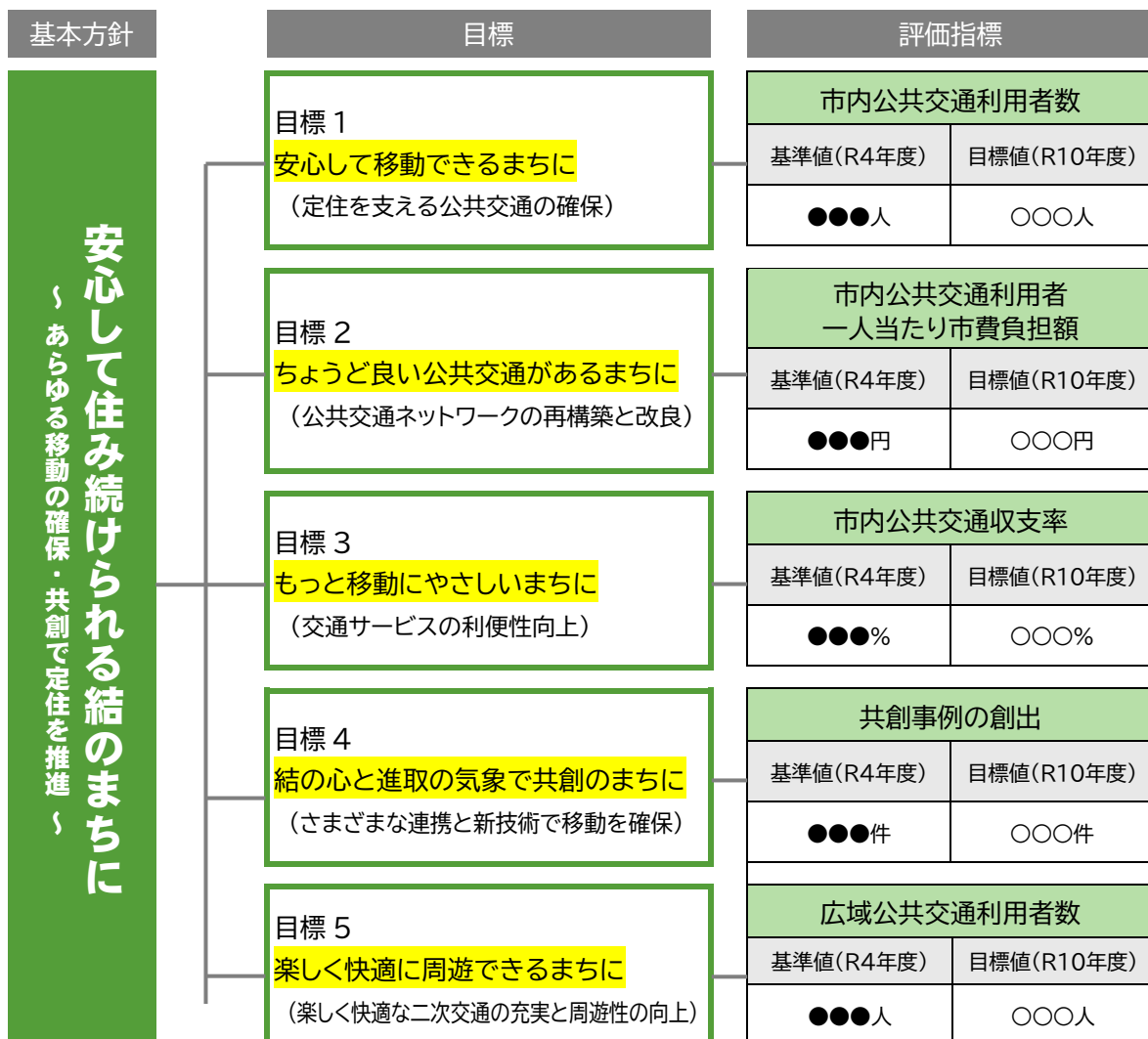
上位計画である大野市総合計画では、「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」を将来像に、大野市都市マスタープランでは、「誰もが結の心で安全・安心に、にぎわいの中で住み続けられるまち」を都市づくりの目標に定めています。

本計画は、この将来像や都市づくりの目標の実現と公共交通を取り巻く課題の解決をめざし、基本方針を次のとおり定めます。

“ 安心して住み続けられる結のまちに ”

～ あらゆる移動の確保・共創で定住を推進 ～

●基本方針・目標・評価指標の全体像



6.2 計画の目標

基本方針に基づき、本計画の目標を次の5つに定めます。

目標1 安心して移動できるまちに（定住を支える公共交通の確保）

- 市外への通学を含む高校生や大学生等の通学手段の確保に努め、子どもたちの夢や希望が守られます
- 市内公共交通の運行を継続し、運転免許返納者などマイカーを利用できない方も、安心して住み続けることができます

目標2 ちょうど良い公共交通があるまちに（公共交通ネットワークの再構築と改良）

- 利用実績や移動ニーズ、環境の変化を踏まえた最適な公共交通ネットワークが構築されます
- 構築後も継続的に見直しが行われ、常に交通サービスに改良が重ねられます
- 運行経費・収入・公的負担のバランスがとれた持続可能な公共交通が実現します

目標3 もっと移動にやさしいまちに（交通サービスの利便性向上）

- シンプルでわかりやすい交通サービスが提供されます
- 公共交通を使ったおでかけ情報の発信やおでかけの機会を創出します
- 行き先や停留所が豊富で待合環境が良く移動にやさしいです
- 経路検索やリアルタイムの運行情報が充実します

目標4 結の心と進取の気象で共創のまちに（さまざまな連携と新技術で移動を確保）

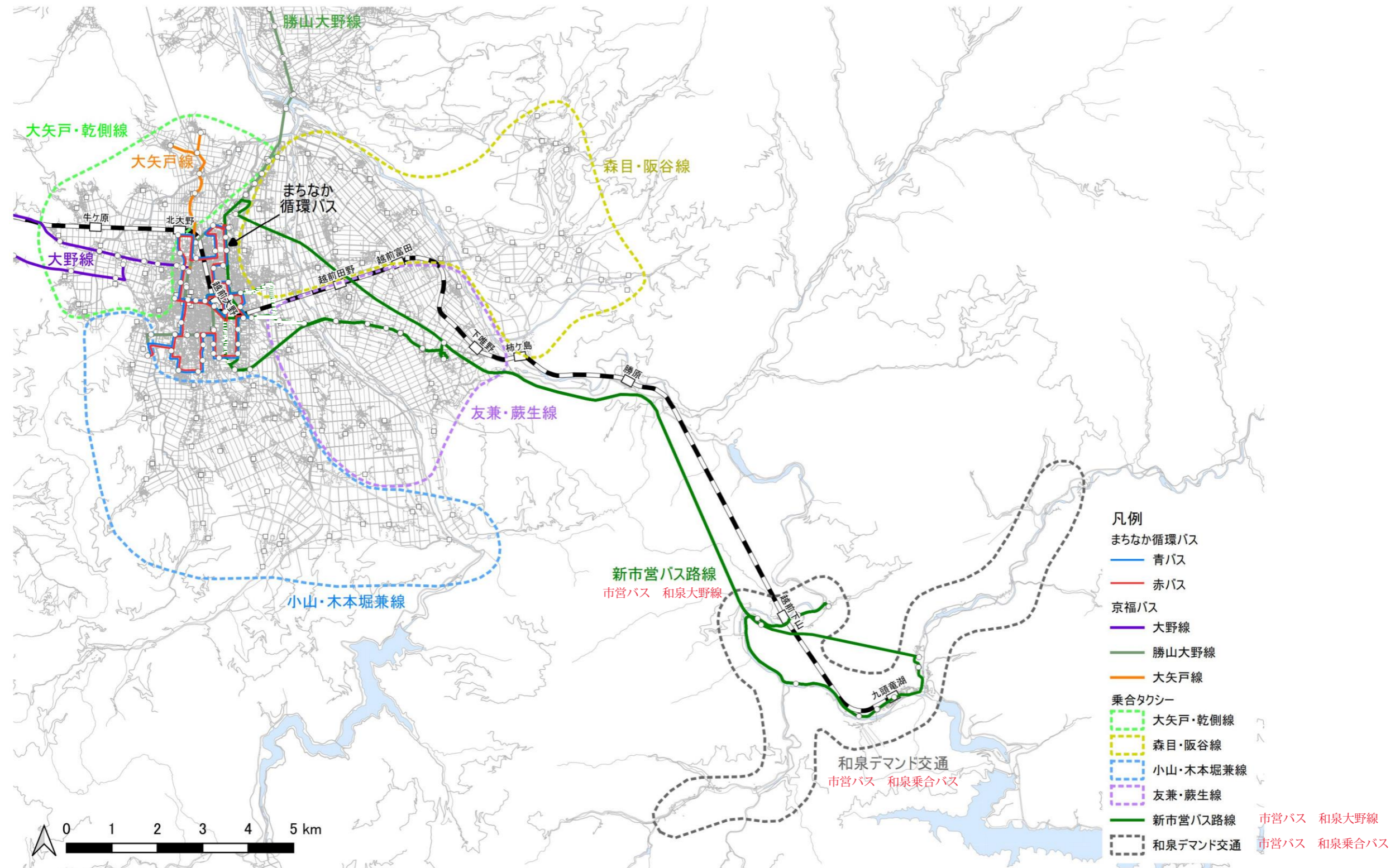
- 住民による助け合いの移動支援が展開されます
- 貨客混載など物流と公共交通が共創します
- 教育（スクールバス）や福祉、健康と公共交通が共創します
- 交通事業者間の連携が図られ、交通分野のDXが進み働きやすいです

目標5 楽しく快適に周遊できるまちに（楽しく快適な二次交通の充実と周遊性の向上）

- 福井駅等との二次交通が充実します
- 観光客が公共交通による移動を楽しめ、大野市内を快適に移動できます
- 周遊きつぱや広域的な観光型 MaaS の展開など魅力的なサービスが提供されます

6.3 新しい公共交通ネットワーク（令和6年4月～予定）

令和6年4月から予定する新しい公共交通ネットワーク及び位置付けは、以下のとおりです。



6.4 市内を運行するバス路線（令和6年4月～予定）

系統名		起点	経由	終点	運行形式
まちなか 循環バス	北ルート	越前大野駅	大野警察署、 大野郵便局	越前大野駅	定時定路線
	南ルート	越前大野駅	大野高校前、 ヴィオ	越前大野駅	
乗合 タクシー	大矢戸・乾側線	乾側・下庄地区			区域運行
	森目・阪谷線	富田・阪谷地区			区域運行
	友兼・蕨生線	上庄・富田地区			区域運行
	小山・木本堀兼線	小山・上庄地区			区域運行
市営バス	和泉大野線(予定)	九頭竜湖駅	陽明中学校、 道の駅「越前おおの 荒島の郷」	越前大野駅	定時定路線
	和泉乗合バス(予定)	和泉地区			区域運行
広域 路線バス	大野線	福井駅	美山駅、 越前大野駅	ヴィオ	定時定路線
	勝山大野線	福井勝山総合 病院	勝山高校入口、 越前大野駅	ヴィオ	定時定路線

第7章 目標達成に向けた取り組み

7.1 取り組みの分類

計画の目標を達成するために行う取り組みは、その取組内容や主な実施主体毎に以下の表のとおり整理・分類を進めていきます。

取組分類	説明	主な実施主体	目標との関係
1 運行	交通サービスの運行や公共交通ネットワークに関する取り組み	交通事業者、市	取組分類毎の取組内容が、目標1～5の達成に貢献
2 利便性向上	時刻表や運賃の改訂、停留所の追加など交通サービスの利便性向上に向けた取り組み (交通事業者が行う利用促進策も含む)		
3 利用促進	利用者への助成制度や情報提供など利用促進に向けた取り組み	市民、団体、事業者、市	
4 補完	既存の交通サービスを補完したり、公共交通との連携や支援したりする取り組み		

●基本方針・目標・取組分類の構成

基本方針	目標	取組分類			
		1 運行	2 利便性向上	3 利用促進	4 補完
安心して住み続けられる結のまちに 〳あらゆる移動の確保・共創で定住を推進〵	目標1 安心して移動できるまちに	取組1-1	取組2-1	取組3-1	取組4-1
		取組1-2	取組2-2	取組3-2	取組4-2
	目標2 ちょうど良い公共交通があるまちに	取組1-3	取組2-3	取組3-3	取組4-3
		取組1-4	取組2-4	取組3-4	…
	目標3 もっと移動にやさしいまちに	取組1-1(重複)	取組2-5	取組3-5	
		取組1-5	取組2-1(重複)	…	
	目標4 結の心と進取の気象で共創のまちに	取組1-6	取組2-7		
		取組1-7	…		
	目標5 楽しく快適に周遊できるまちに	取組1-2(重複)			
		…			

7.2 取組内容

取組分類毎に行う取組内容や具体的な実施事業等は、次のとおりです。

取組分類1「運行」に関する取組内容

1-1 市内公共交通の運行					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通の利用者が減少傾向にあっても、公共交通を必要とする方はいます。交通事業者は、安全・安心・快適な交通サービスの提供に努めるとともに、市は、利便性の確保と運行に係る財政負担を考慮しながら、市内公共交通を運行します。								
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内公共交通運行事業 運行する市内公共交通(令和6年度の予定) <ul style="list-style-type: none"> ・ まちなか循環バス 赤バス、青バス ・ 乗合タクシー 大矢戸・乾側線、森目・阪谷線、友兼・蕨生線、小山・木本堀兼線 ・ 市営バス和泉大野線 ・ 和泉乗合バス 								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市		

1-2 広域路線バスの運行支援					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	大野市と福井市を結ぶ大野線、勝山市を結ぶ勝山大野線の広域路線バスについて、市は引き続き、国や県、沿線市と連携して運行経費を支援し、運行を支えます。								
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域路線バス運行事業補助 運行を支援する広域路線バス <ul style="list-style-type: none"> ・ 京福バス 大野線 ・ 京福バス 勝山大野線 								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	市		

1-3 公共交通ネットワークの再構築と改良					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	本計画の策定に併せて再構築を行った市内公共交通ネットワークについて、令和6年度から運行を開始します。協議会は、運行開始後も利用実績や利用者のニーズ等を踏まえ、適宜、公共交通ネットワークや交通サービスを見直し、改良します。								
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 大野市公共交通活性化協議会の開催 ● 運行実績やニーズの把握 								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市		

1-4 やさしい車両の導入を推進					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通の車両について、市は交通事業者と連携し、バリアフリー対応やハイルフ化、電気自動車化などの人にも環境にもやさしい車両の導入を推進し、市民や観光客が「乗りたくなる、乗ってみたいくなる」公共交通をめざします。								
実施事業等	● やさしい車両の導入支援を検討								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	交通事業者、市		

1-5 市内周遊性向上策の検討					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市内における市民の移動の利便性や観光客の周遊性の向上を図るため、タクシーを含む既存の交通サービスを生かした取り組みや新たな交通サービスの提供を検討します。								
実施事業等	● 大野市公共交通活性化協議会の開催								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市		

1-6 スクールバスと市営バスの連携を検討					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	<p>中学校再編に併せて令和6年度からスクールバスの運行台数が増加します。また、スクールバス機能を兼ねた市営バス和泉大野線の運行がスタートします。</p> <p>市は、将来的にスクールバスの運行に支障の無い範囲において、住民等からのニーズに応じて、スクールバスの混乗化(児童生徒以外の者も乗車できる)や公共交通と連携したスクールバスの運行について検討します。</p>								
実施事業等	● 大野市公共交通活性化協議会の開催								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、市		

1-7 交通事業者のDXを推進					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市は交通事業者と連携し、交通事業者におけるDXを促進します。具体的には、日報や利用実績の集計、予約受付などの運行や管理に係る業務などで、事務負担の軽減と効率化につなげます。								
実施事業等	● 市内公共交通運行事業								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	交通事業者、市		

1-8 交通事業者間の連携を促進					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通を取り巻く環境は、利用者の減少に加え、運転手不足という課題があります。今後も厳しい状況が続くと想定される中、市は交通事業者間における連携を促進し、交通サービスの維持・向上と将来にわたって持続可能な公共交通の実現をめざします。								
実施事業等	● 大野市公共交通活性化協議会の開催								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市		

取組分類2「利便性向上」に関する取組内容

2-1 運賃の改訂						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通ネットワークの再構築に併せて、令和6年度から一部路線の運賃を改訂する予定です。改訂後においても、市は交通事業者と調整しながら、わかりやすく、利用しやすい運賃体系へと改善を図り、利用者の増加による運賃収入の増をめざします。									
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内公共交通運行事業 ● 大野市公共交通活性化協議会の開催 									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市			

2-2 停留所の追加・見直し						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通ネットワークの再構築に併せて、令和6年度から乗合タクシーをはじめ一部路線の停留所を見直す予定です。停留所の見直し後も、より利便性が高まるよう、随時、停留所の追加・見直しを行います。									
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内公共交通運行事業 ● 大野市公共交通活性化協議会の開催 									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市			

2-3 時刻表の改訂						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市内公共交通の時刻表について、市と交通事業者は連携し、JR越美北線や広域路線バス大野線、勝山大野線との接続の向上や利用が多い目的地への到着時間を考慮して、随時、見直しを行います。									
実施事業等	● 大野市公共交通活性化協議会の開催									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市			

2-4 リアルタイムの運行情報の提供						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通は、天候や道路状況等によって遅延が生じることがあり、利用者は不安を覚えます。そのため、市は交通事業者と連携して、スマートフォンなどからリアルタイムでバスの位置情報を確認できる「バスロケーションシステム(バス位置情報)」の導入を検討します。バスの位置情報がわかることによって、スクールバスの混乗化や貨客混載の導入が促進される可能性があり、利便性向上と他分野との共創に向けた展開が期待できます。									
実施事業等	● バスロケーションシステムの導入									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	交通事業者、市			

2-5 乗継割引・連携割引等の検討						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通の利便性を高め利用者を増やすために、市や交通事業者は、異なる路線からの乗り継ぎに係る割引制度(例:和泉乗合バスから市営バス和泉大野線への乗り継ぎ)や、JR越美北線の定期券を保有している方が同区間のバスを利用した際の割引制度の導入(例:九頭竜湖駅-越前大野駅、福井駅-越前大野駅)を検討します。									
実施事業等	● 大野市公共交通活性化協議会の開催									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市			

2-6 予約や定期券購入等のデジタル化を推進						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	乗合タクシーなどのデマンド型(予約に応じて運行)の交通サービスは、現在、電話により予約がなされています。また、利用促進に関する補助金の申請やまちなか循環バスの定期券購入(電子申請対応済)は、市の窓口に来庁し、申請されることが多いです。市は交通事業者と連携して、電話予約や補助金の申請事務のデジタル化を検討し、実施できるものから取り組みを進めます。									
実施事業等	● 市内公共交通運行事業									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	交通事業者、市			

2-7 停留所の待合環境改善策の検討						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	停留所の待合環境が快適であることは、公共交通の利用者にとって望ましいです。(特に、乗合タクシーにおいて)市は、最寄りの停留所が設けられている事業者や医療機関等と連携して待合環境の改善策について検討します。									
実施事業等	● 市内公共交通運行事業									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	市、事業者、医療機関等			

取組分類3 「利用促進」に関する取組内容

3-1 JR越美北線の魅力向上						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	観光客がJR越美北線による移動を楽しめるよう、行政や交通事業者などは連携して、車両のラッピングや駅舎の装飾、イベント列車の運行、御乗印の発行など、JR越美北線の魅力向上につながる取り組みを行います。									
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 越美北線車両のラッピング ● 九頭竜湖駅の駅舎装飾 ● イベント列車の運行 ● レンタサイクル ● 御乗印の発行 ● 越前大野駅周辺の装飾やにぎわいづくりの取り組み 									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	住民、乗る会・団体、交通事業者、市・沿線市・県			

3-2 JR越美北線沿線のまちづくりを推進						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	観光客へのおもてなしとJR越美北線沿線の魅力的な景観づくり、沿線住民の機運の醸成を図るため、越美北線と乗合バスに乗り進める会や沿線市は、住民らが行う美化活動や景観づくり、越美北線を生かしたまちづくりへの取り組みを支援します。									
実施事業等	● 「越美北線と乗合バスに乗り進める会」の活動を展開									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	住民、乗る会、市・沿線市			

3-3 JR越美北線の利便性向上に向けた働きかけ						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	住民の生活利用や北陸新幹線の開業に伴う観光利用を促進するため、JR越美北線の増便や快速の運行、その他の利便性向上策の実現に向けて、沿線住民や団体、行政などが協働して取り組みます。									
実施事業等	● 「越美北線と乗合バスに乗り進める会」の活動を展開									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	住民、乗る会・団体、事業者、市・沿線市・県			

3-4 通学・通勤者への支援						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市は、公共交通を利用して通学・通勤される方を支援し、公共交通の利用促進と大野に住みながら市外に通える移動手段の維持・確保につなげます。なお、支援策の実施にあたっては、申請事務の負担軽減につながるよう、適宜、見直しを行います。									
実施事業等	現在の支援策(令和5年度) <ul style="list-style-type: none"> ● JR越美北線利用促進助成金 ● JR越美北線京福バス大野線連携助成金 ● 京福バス勝山大野線利用促進補助金 									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	市			

3-5 運転免許自主返納者への支援					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市は、運転免許を自主返納された方に対し、市内(市内区間)の公共交通を10年間「無料」で利用できる支援を継続して行います。								
実施事業等	● 運転免許自主返納支援事業								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	市		

3-6 高齢者・障がい者等への支援					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市は、高齢者や障がい者、マイカーを利用できない方などへの移動支援を継続して行うとともに、利用者のニーズや利用実績を踏まえ、支援の内容を見直します。								
実施事業等	現在の支援策(令和5年度) ● 広域路線バス利用促進助成金 ● 福祉タクシー利用料金助成事業 ● 高齢者外出支援タクシー利用料金助成事業								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	市		

3-7 わかりやすい情報提供と経路検索の充実					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	「時刻表の見方がわからない、わかりづらい」といった声に応えるため、市は、「マイ時刻表」の作成・発行を継続するとともに、時刻表や停留所標示等について、わかりやすい情報提供に努めます。 また、市民や観光客は、スマートフォンからGoogleマップなどの地図情報アプリや乗換案内アプリを利用して経路検索されることが多いことから、市や交通事業者は、GTFSデータ(標準的なバス情報フォーマット)を作成・公開し、Googleマップなどから経路検索ができるよう充実を図ります。								
実施事業等	● 市内公共交通運行事業								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	市		

3-8 乗り方教室の開催・おでかけ機会の創出					目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	マイカー利用、運転免許保有者の増加に伴い、これから公共交通を必要とされる方は、公共交通に乗り慣れていない可能性があります。また、子どもたちに公共交通の乗り方を伝え、親しんでもらう取り組みも大切です。 マイカーに依存する市民のライフスタイルの変化を促し、市民の健康づくりと脱炭素社会の実現に向けて、市は、乗り方教室の開催や団体・事業者等と連携した公共交通によるおでかけ機会の創出に取り組みます。								
実施事業等	● 「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」の活動を展開								
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	乗る会・団体、事業者、市		

第7章 目標達成に向けた取り組み

3-9 事業者等と連携した利用促進策の推進						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通の利用者が増えることで、停留所周辺の商店等への来客が増える効果が期待されます。既に、事業者による応援企画として、まちなか循環バスの定期券を購入された方に対し、市内スーパーで利用できるお買物券を進呈する取り組みが行われており、市は、このような事業者や医療機関等と連携した利用促進策を推進します。									
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内公共交通運行事業 ● 大野市公共交通活性化協議会の開催 									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、事業者、医療機関等、市			

3-10 広域的な MaaS の推進						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	市や交通事業者は、嶺北連携中枢都市圏の取り組みの一である「ふくい MaaS」への参画や JR が実施する MaaS(「tabiwa」)の取り組みに協力し、魅力的な電子企画切符の企画や造成、広報に協力します。									
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> ● ふくいMaaS協議会の活動に参画 ● JRのMaaS(「tabiwa」)の取り組みに協力 									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	団体、事業者、市			

取組分類4「補完」に関する取組内容

4-1 共助型移動支援の推進						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	公共交通ネットワークの再構築や交通サービスの利便性向上を図っても、車両数や利用時間、時刻表などの制約があり、提供できるサービスには限界があります。 市は、行き届かないサービスについて、既存の公共交通を補完するかたちで、地域住民が主体的に行う助け合いの移動支援の取り組みを推進します。									
実施事業等	● 共助型移動支援の実証実験・立ち上げ支援									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	住民、団体、市			

4-2 貨客混載の導入検討						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	規制緩和に伴い公共交通を利用して物を運ぶ貨客混載の取組事例が生まれています。 市や交通事業者は、持続可能な公共交通の実現に向けた収益確保策の一つとして、また、脱炭素社会の実現に寄与するため、物流事業者と連携して貨客混載の導入を検討します。									
実施事業等	● 市内公共交通運行事業									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	物流事業者、交通事業者、市			

4-3 運賃以外の収益確保策の検討						目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
取組概要	利用者数の減少に伴い、公共交通の収支率が悪化しています。収支率の改善を図るために運賃を上げることは、さらなる利用の低下につながる恐れがあります。 そのため、市や協議会は、最寄りの停留所を設置する事業者等に対する協力金の依頼や広告の導入など、運賃以外の収益確保策について検討します。									
実施事業等	● 市内公共交通運行事業 ● 大野市公共交通活性化協議会の開催									
スケジュール	R6	R7	R8	R9	R10	実施主体	協議会、交通事業者、市			

7.3 取組スケジュールと実施主体の全体像

各取組内容とスケジュール、実施主体の全体像は、以下のとおりです。

●取組スケジュールと実施主体の全体像

実施事業名	スケジュール					実施主体				
	R6	R7	R8	R9	R10	住民	団体・事業者	協議会	交通事業者	市
1 「運行」に関する取組内容										
1-1 市内公共交通の運行								○	○	○
1-2 広域路線バスの運行支援										○
1-3 公共交通ネットワークの再構築と改良							○	○	○	○
1-4 やさしい車両の導入を推進									○	○
1-5 市内周遊性向上策の検討								○	○	○
1-6 スクールバスと市営バスの連携を検討								○		○
1-7 交通事業者のDXを推進									○	○
1-8 交通事業者間の連携を促進								○	○	○
2 「利便性向上」に関する取組内容										
2-1 運賃の改訂								○	○	○
2-2 停留所の追加・見直し								○	○	○
2-3 時刻表の改訂								○	○	○
2-4 リアルタイムの運行情報の提供									○	○
2-5 乗継割引・連携割引等の検討								○	○	○
2-6 予約や定期券購入等のデジタル化を推進									○	○
2-7 停留所の待合環境改善策の検討							○		○	○
3 「利用促進」に関する取組内容										
3-1 JR 越美北線の魅力向上						○	○		○	○
3-2 JR 越美北線沿線のまちづくりを推進						○	○			○
3-3 JR 越美北線の利便性向上に向けた働きかけ						○	○		○	○
3-4 通学・通勤者への支援										○
3-5 運転免許自主返納者への支援										○
3-6 高齢者・障がい者等への支援										○
3-7 わかりやすい情報提供と経路検索の充実										○
3-8 乗り方教室の開催・おでかけ機会の創出							○		○	○
3-9 事業者等と連携した利用促進策の推進							○	○	○	○
3-10 広域的なMaaSの推進							○		○	○
4 「補完」に関する取組内容										
4-1 共助型移動支援の推進						○	○			○
4-2 貨客混載の導入検討							○		○	○
4-3 運賃以外の収益確保策の検討							○	○	○	○

第8章 評価と進捗管理

8.1 評価指標と実績確認

評価指標

本計画の目標の実現や達成度合いを把握するため、評価指標を次のとおり設定します。

●評価指標一覧 ※作成中※

	評価指標	概要・算出方法	単位	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
目標1	市内公共交通 利用者数(※)	市内公共交通の年間利用者数	人	●●● (R4)	○○○ (R10)
目標2	市内公共交通 利用者一人当たり 市費負担額	市内公共交通の運行経費から運賃収入と国や県からの補助金などを差し引いた差額(市費負担額)を、利用者数で割り返した値	円	●●● (R4)	○○○ (R10)
目標3	市内公共交通 収支率	市内公共交通の運賃収入を運行経費で割り返した値	%	●●● (R4)	○○○ (R10)
目標4	共創事例の創出	貨客混載の導入に向けた実証実験の実施など新たに分野を超えて取り組まれた共創事例の累計件数 (同じ内容の取り組みを複数回行う場合は全体を1件としてカウント)	件	- (R4)	(R10)
目標5	広域公共交通 利用者数	JR 越美北線と広域路線バス(大野線、勝山大野線)の年間利用者数	件	●●● (R4)	○○○ (R10)

※市内公共交通の範囲は、まちなか循環バス、乗合タクシー、市営バスなどの市が委託を行う公共交通とする。

●評価指標の設定根拠 ※作成中※

目標		評価指標と設定根拠	
		指標	設定根拠
基本方針 安心して住み続けられる結のまちに	目標1 安心して移動できるまちに	指標1 市内公共交通利用者数	安心して移動ができているか否かは、利用者数の推移を比較し評価・検証します。その際、指標には含まれておりませんが、指標5の広域公共交通における市民利用の状況も併せて検証します。 目標値は、●●●の取り組みにより毎年●●●人…とし、●●●人に設定しました。
	目標2 ちょうど良い公共交通があるまちに	指標2 市内公共交通利用者一人当たり市費負担額	ちょうど良い公共交通であるか否かは、市費負担額の推移を比較し評価・検証します。例えば、利用者数が少なく、公的負担が多い路線は、サービスの提供過多と考えられます。 目標値は、●●●の取り組みにより毎年●●●人…とし、●●●人に設定しました。
	目標3 もっと移動にやさしいまちに	指標3 市内公共交通収支率	移動にやさしいまちとなっているか否かは、運賃収入を基にした収支率の推移を比較し評価・検証します。運賃収入は(運賃×利用者数)により求められ、利便性向上策などの展開により利用者数が増加することで、運賃収入も増加し収支率が改善します。 目標値は、●●●の取り組みにより毎年●●●人…とし、●●●人に設定しました。
	目標4 結の心と進取の気象で共創のまちに	指標4 共創事例の創出	共創のまちとなっているか否かは、新たに生まれた共創事例の数により評価・検証します。 目標値は、実証実験を含め計画期間内に毎年●件、計●件に設定しました。
	目標5 楽しく快適に周遊できるまちに	指標5 広域公共交通利用者数	観光客など本市への来訪者が周遊できているか否かは、JR越美北線や広域路線バスの利用者数の推移を比較し評価・検証します。市民の利用者数も含まれることから、総数による単純な比較は行わず、市民利用や観光利用など一歩踏み込んだ検証を行います。 目標値は、●●●の取り組みにより毎年●●●人…とし、●●●人に設定しました。

路線別の実績確認

評価指標のほか路線別の実績(以下の項目)を把握・確認し、評価を行います。

エリア・路線		確認項目
市内	まちなか循環バス、乗合タクシーなど	利用者数、運行費用、運賃収入、収支率、市費負担額、利用者一人当たり市費負担額、1日当たり利用者数、1便当たり利用者数、(区域運行の場合)区域人口一人当たり利用回数 など
広域	大野線、勝山大野線	利用者数、経常費用、経常収益、輸送量、平均乗車密度、市費負担額、利用者一人当たり市費負担額、1日当たり利用者数、1便あたり利用者数 など
	JR 越美北線	利用者数、主要駅の年間乗降者数

8.2 評価と進捗管理

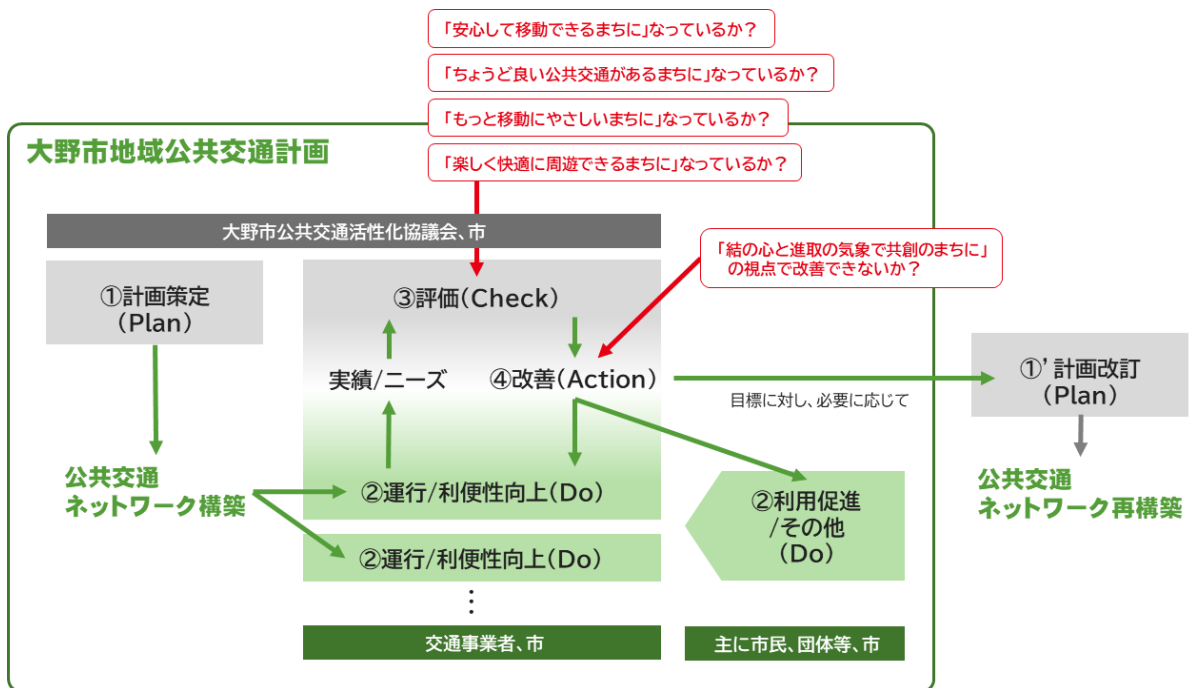
評価と進捗管理の進め方

大野市公共交通活性化協議会は、本計画が掲げる目標に対する交通サービスの状況、目標値に対する実績値などから、本計画に基づくさまざまな取り組みに対し評価を行います。

評価の結果、取組内容に改善が必要な場合は、提供する交通サービスの内容や利用促進策の改善を図ります。さらに、改善するためには公共交通ネットワークを変更する必要があると判断する場合は、計画の改訂と公共交通ネットワークの再構築を図ります。

計画策定(Plan)とさまざまな事業の実施(Do)、実績やニーズの把握、評価(Check)、改善(Action)という、一連の進捗管理の進め方は次の図のとおりです。

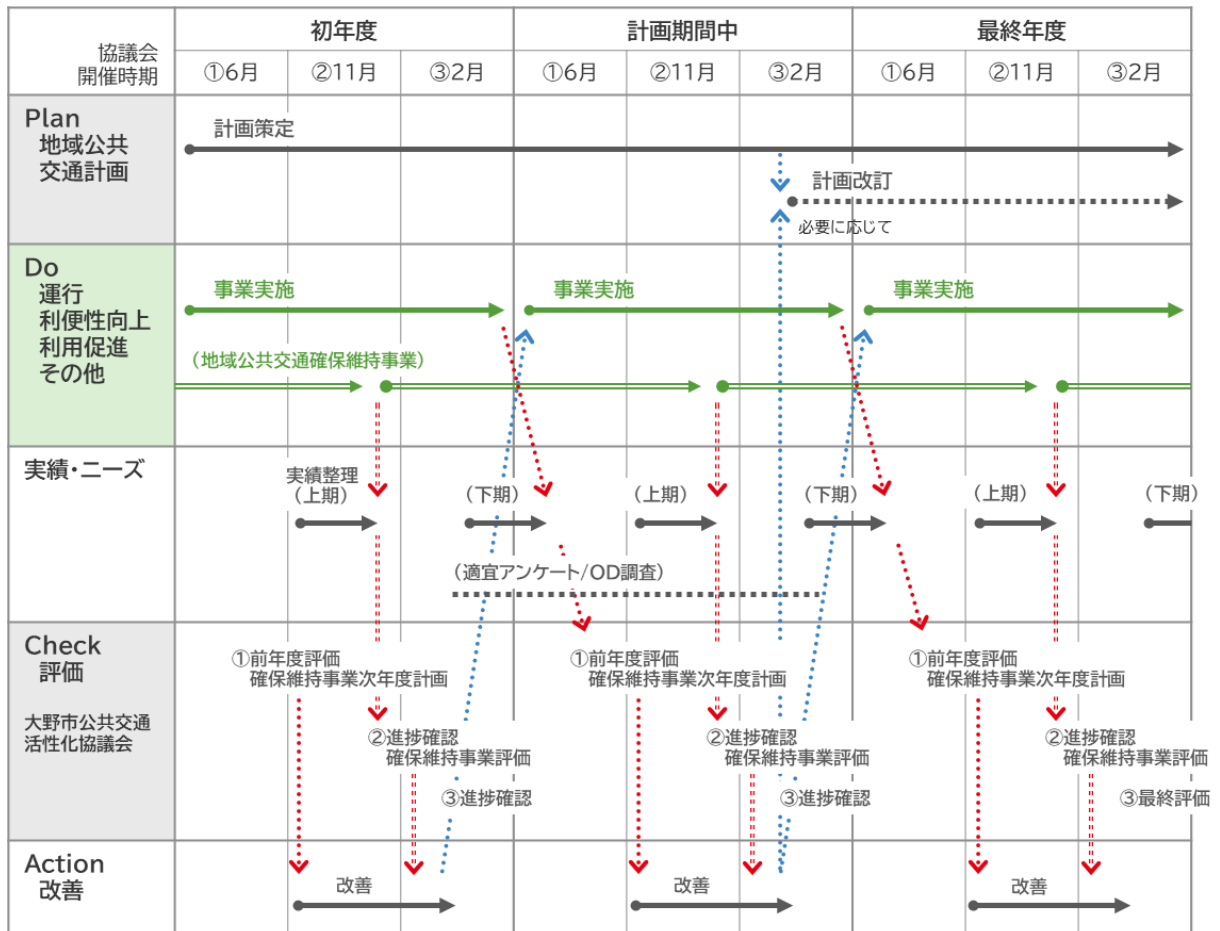
●進捗管理の進め方



進捗管理のスケジュール

本計画に基づく事業の実施や進捗管理等は、次の全体スケジュールのとおり進めます。

●進捗管理のスケジュール



●大野市公共交通活性化協議会の開催

上記スケジュールに基づき、大野市公共交通活性化協議会を年間3回程度開催します。

開催回数(時期)	主な議題
第1回(6月頃)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取組評価(評価指標の実績値、路線別の実績などから評価) 地域公共交通確保維持事業の次年度の計画
第2回(11月頃)	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持事業の評価
第3回(2月頃)	<ul style="list-style-type: none"> 翌年度の事業計画案(翌年度の取組内容、改善された取組内容を確認)

大野市地域公共交通計画

発行 令和●年●月

編集

〒912-8666 福井県大野市天神町1番1号

電話 0779-64-4800

FAX 0779-66-7708



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

大野市地域公共交通計画

資料編

案

ver 1.2

23/8/17 18時5分

福井県大野市

目次

1	大野市の現状	1
1.1	人口	1
1.1.1	人口.....	1
1.1.2	年齢別人口.....	1
1.1.4	通勤流動.....	2
1.1.5	通学流動.....	2
1.2	運転免許	3
1.2.1	運転免許保有者数.....	3
1.2.2	運転免許自主返納支援事業.....	3
1.2.2	運転免許自主返納支援事業 認定者数の推移.....	4
1.2.3	運転免許自主返納支援事業 申請時の年齢分布.....	4
1.3	観光客	5
1.3.1	観光入込客数の推移.....	5
1.3.2	観光客の来訪手段.....	5
1.3.3	観光客の公共交通に対する満足度.....	6
1.3.4	周遊観光.....	6
2	公共交通の現状	7
2.1	公共交通の利用状況	7
2.1.1	市内公共交通の利用者数.....	7
2.1.2	広域路線バス・JR 越美北線利用者数.....	7
2.2	公共交通の運行経費	8
2.2.1	市内公共交通の運行経費.....	8
2.2.2	市内公共交通の収支率.....	8
2.2.3	市内公共交通利用者一人当たりの運行経費.....	9
2.2.4	市内公共交通利用者一人当たりの市費負担額.....	9
2.2.5	広域路線バス 大野線に係る市費負担額.....	10
2.2.6	広域路線バス 勝山大野線 に係る市費負担額.....	10
3	市民意向の把握	11
3.1	公共交通に関する市民アンケート調査結果	11
3.1.1	調査概要.....	11
3.1.2	回答者の属性.....	12
3.1.3	主に利用する公共交通とは？.....	13
3.1.4	公共交通の満足度.....	14
3.1.5	今後めざすべき公共交通やまち.....	15
3.1.6	公共交通の必要性.....	15
3.1.7	公共交通の利用意向.....	16
3.2	介護予防・日常生活圏ニーズ調査	17
	調査概要.....	17
	調査結果の概要.....	17
3.3	在宅介護実態調査	20

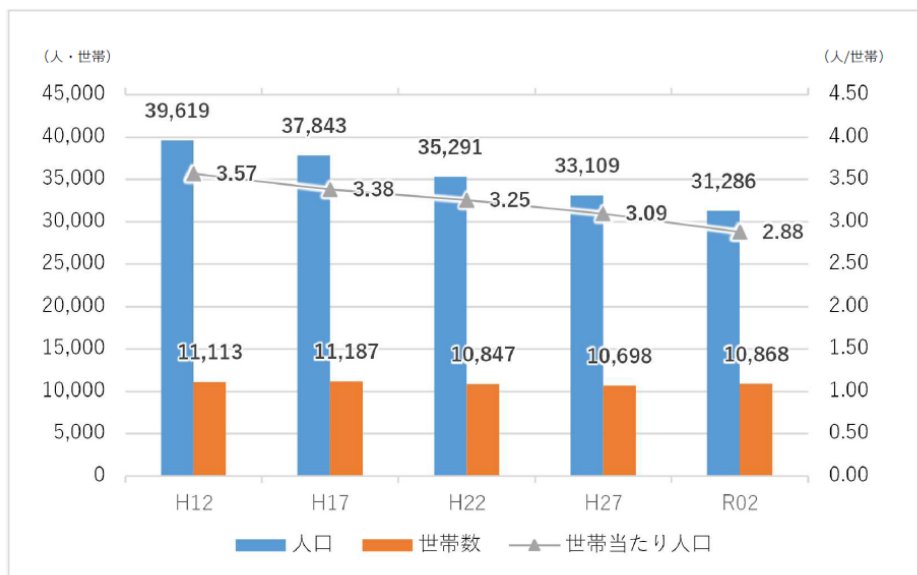
調査概要	20
調査結果の概要	20
4 人口・施設等の分布	21
4.1 人口分布.....	21
4.1.1 人口分布	21
4.1.2 高齢者の分布	22
4.1.3 公共交通空白地域.....	23
4.2 施設等の分布.....	24
4.2.1 医療機関の分布	24
4.2.2 福祉施設の分布	25
4.2.3 商業施設（延床面積 1,500 m ² 以上）の分布	26
4.2.4 商業施設（（延床面積 1,500 m ² 未満の中規模店舗、コンビニエンスストア）の分布	27
4.2.5 教育施設の分布	28
4.2.5 その他公共施設の分布.....	29

1 大野市の現状

1.1 人口

1.1.1 人口

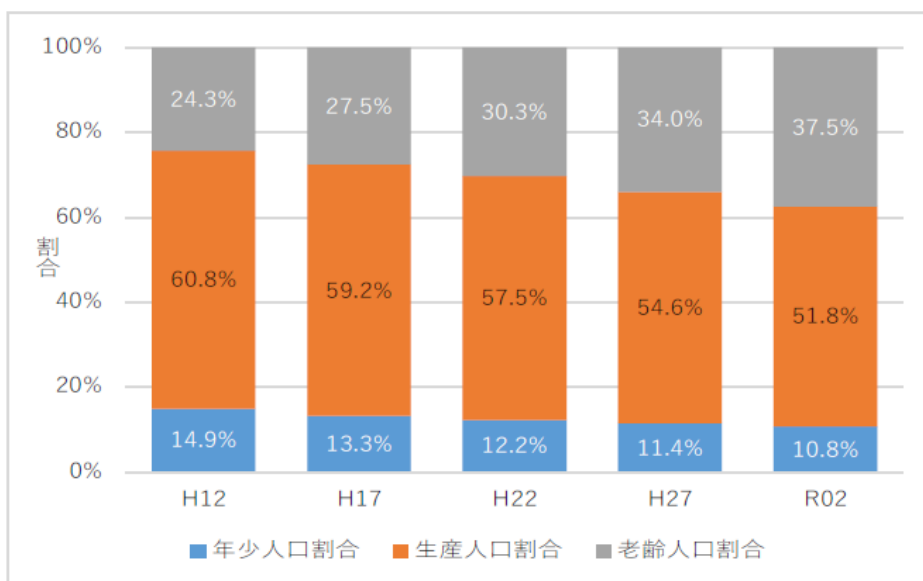
【国勢調査－人口・世帯数の推移】



(資料 R2 国勢調査)

1.1.2 年齢別人口

【国勢調査－年齢3区分割合の推移】

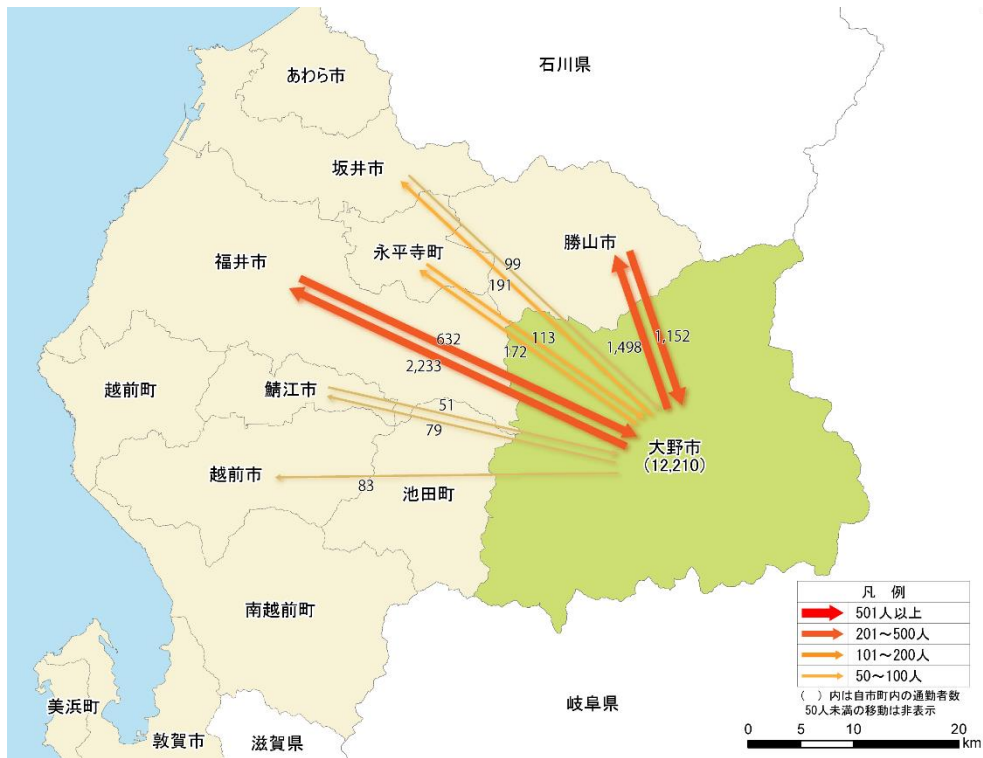


(注) 四捨五入の関係および年齢不詳者数の関係で必ずしも合計が100%にならない。

(資料 R2 国勢調査)

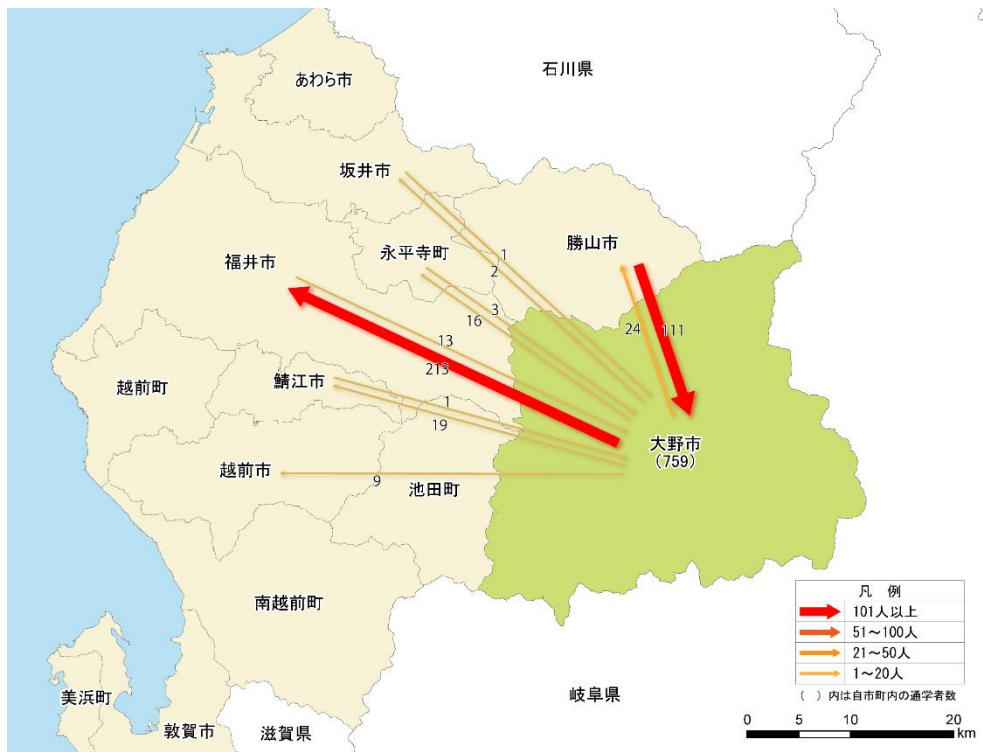
1 大野市の現状

1.1.4 通勤流動



(資料 R2 国勢調査)

1.1.5 通学流動



(資料 R2 国勢調査)

1.2 運転免許

1.2.1 運転免許保有者数

運転免許保有者数の比較（H24-R4）

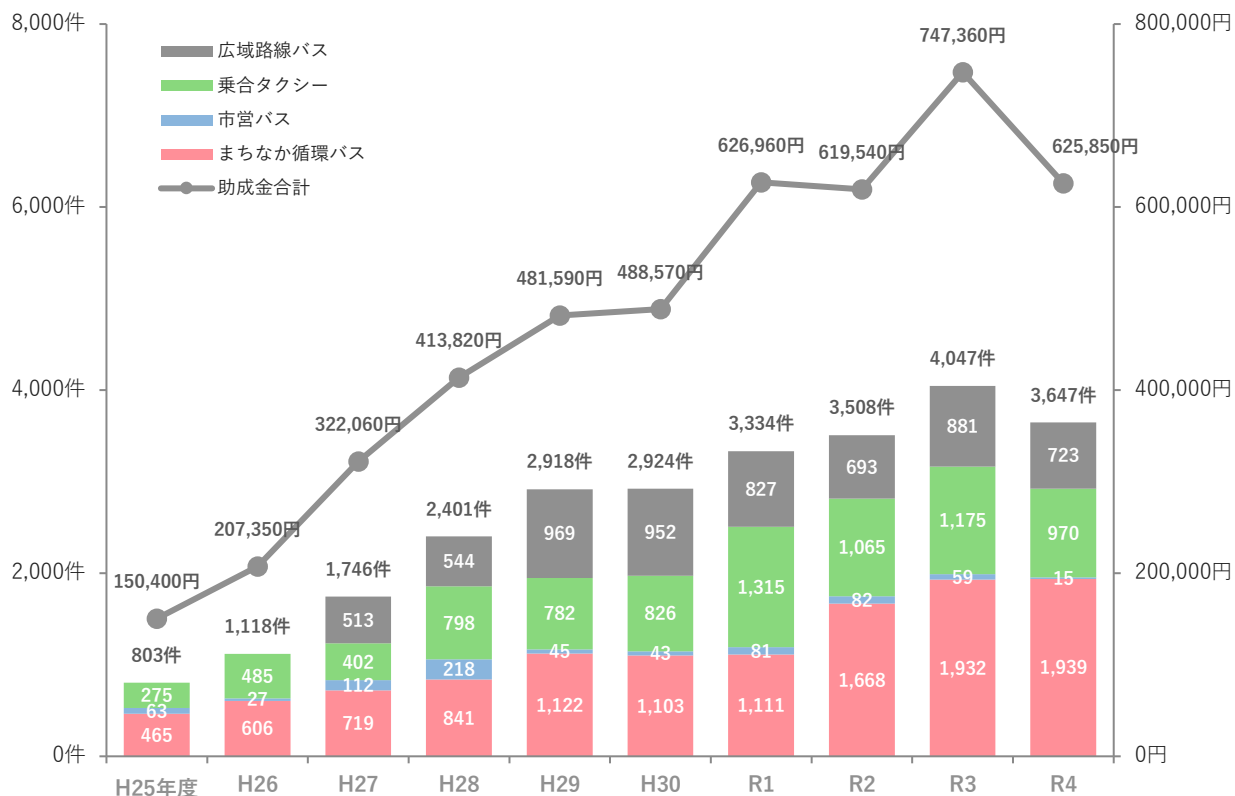
（単位 人）

	平成 24 年				令和 4 年			
	20 歳以上				20 歳以上			
		20～64 歳	65～74 歳	75 歳以上		20～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
総数	24,238 (79.8)	18,771 (95.5)	3,395 (74.5)	2,072 (33.6)	22,172 (82.8)	14,440 (95.9)	5,032 (89.6)	2,700 (44.2)
男性	13,128 (91.9)	9,603 (97.0)	1,951 (91.8)	1,574 (69.8)	11,557 (90.9)	7,346 (96.2)	2,605 (93.9)	1,606 (69.7)
女性	11,110 (69.0)	9,168 (93.9)	1,444 (59.4)	498 (12.7)	10,615 (75.5)	7,094 (95.5)	2,427 (85.4)	1,094 (28.8)

注記 () は住民基本台帳人口に占める割合 (%)。運転免許保有者数は 4 月末時点、住民基本台帳は 4 月 1 日時点 (外国人含む)

(資料 大野警察署提供資料を交通住宅まちづくり課が編集)

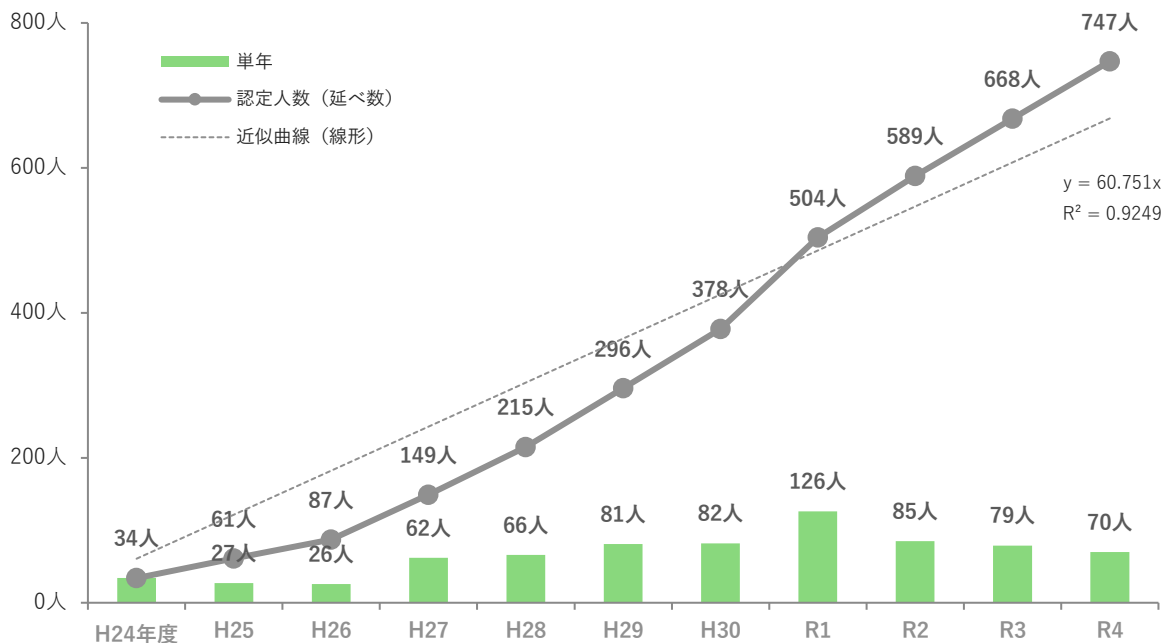
1.2.2 運転免許自主返納支援事業



(資料 市民生活・統計課資料を交通住宅まちづくり課が編集)

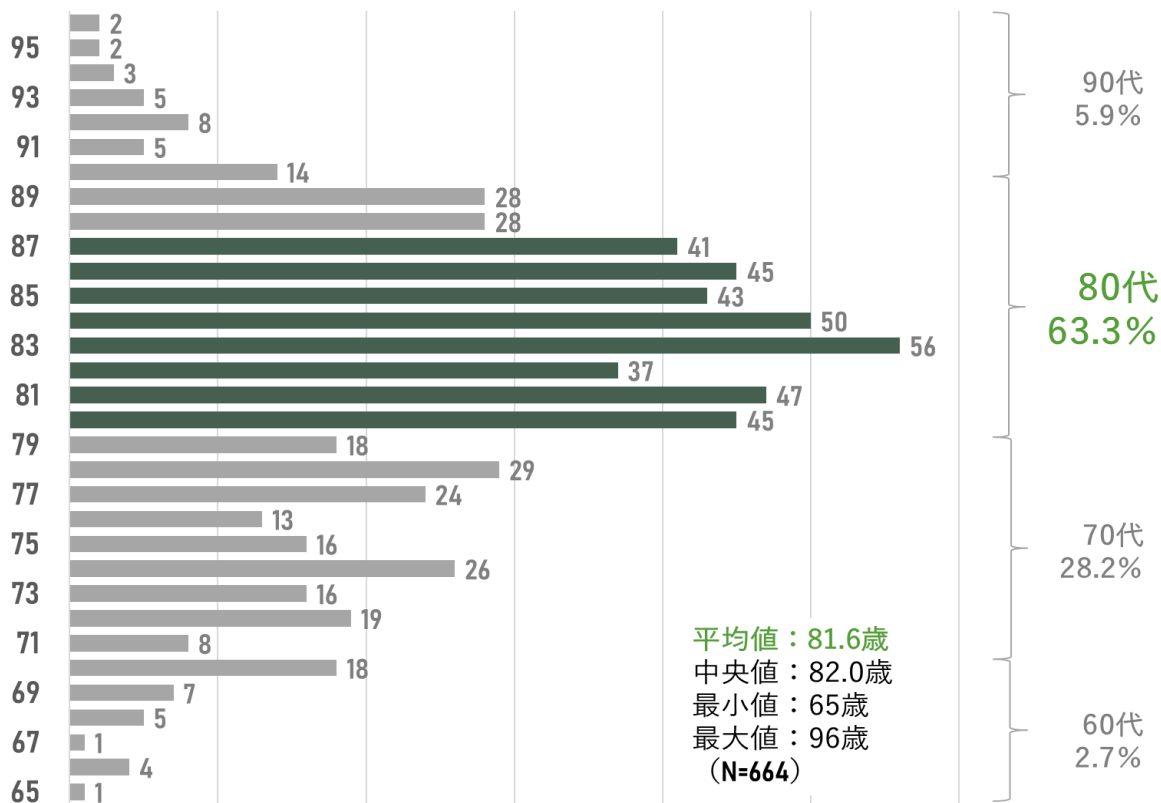
1 大野市の現状

1.2.2 運転免許自主返納支援事業 認定者数の推移



(資料 市民生活・統計課資料を交通住宅まちづくり課が編集)

1.2.3 運転免許自主返納支援事業 申請時の年齢分布

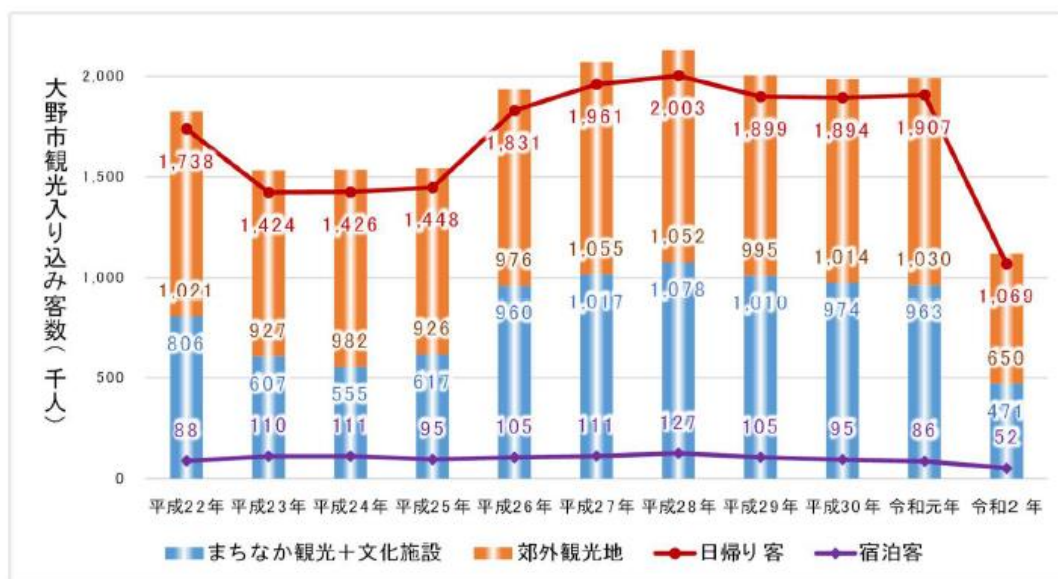


期間: 平成24年度～令和3年度

(資料 市民生活・統計課資料を交通住宅まちづくり課が編集)

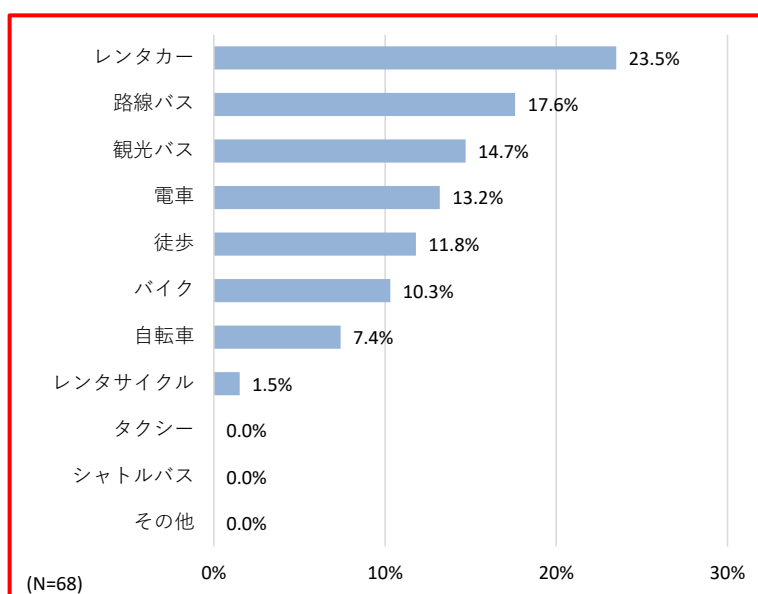
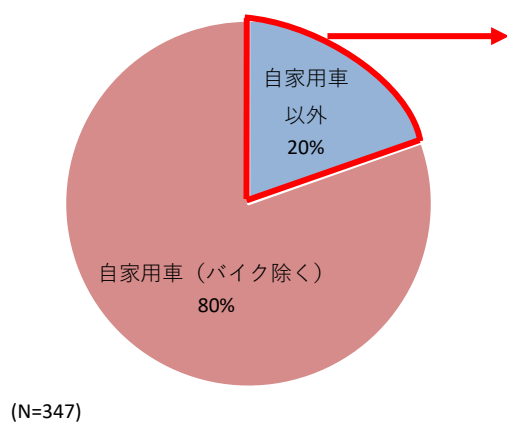
1.3 観光客

1.3.1 観光入込客数の推移



(資料 大野市都市マスタープランデータ抜粋)

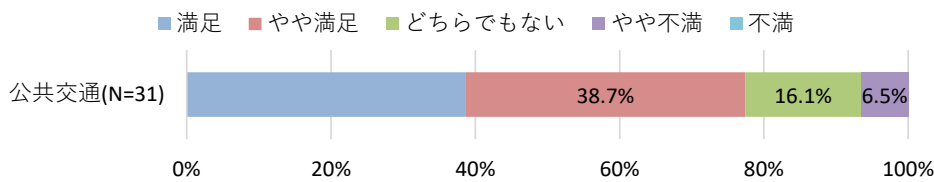
1.3.2 観光客の来訪手段



(資料 大野・勝山・永平寺観光動態調査事業に関する調査報告書抜粋)

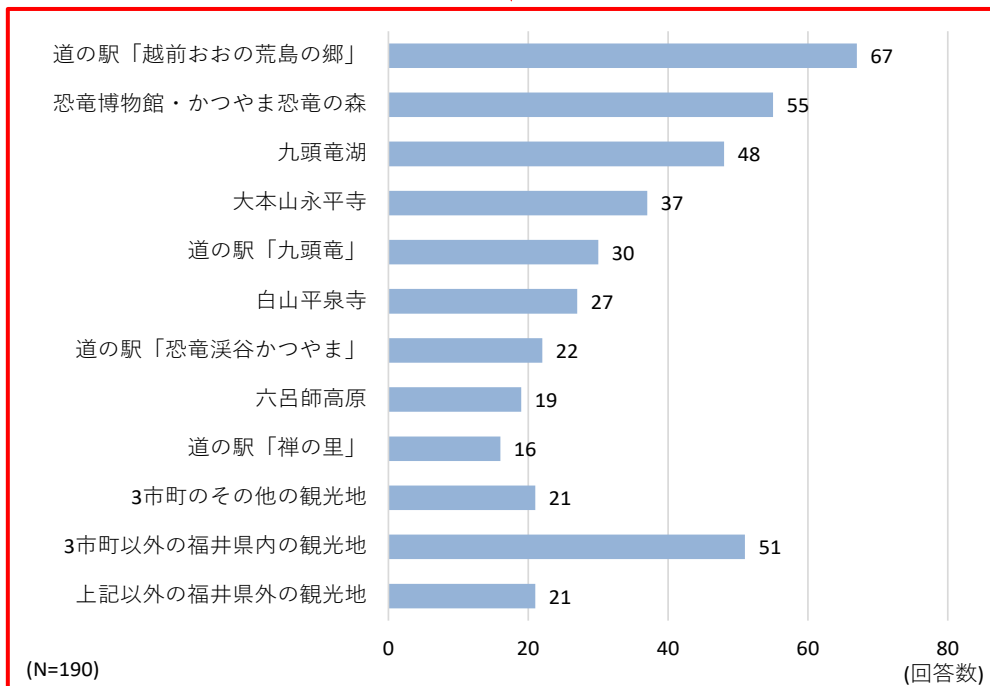
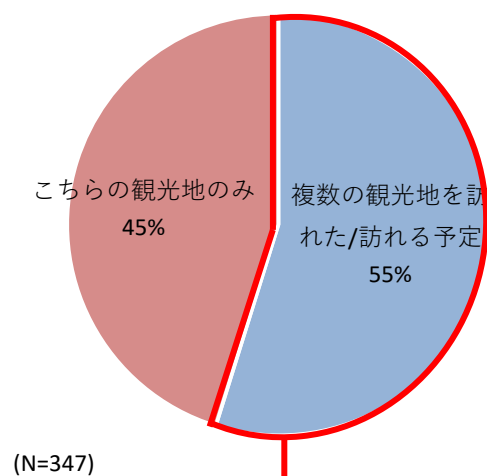
1 大野市の現状

1.3.3 観光客の公共交通に対する満足度



(資料 大野・勝山・永平寺観光動態調査事業に関する調査報告書抜粋)

1.3.4 周遊観光

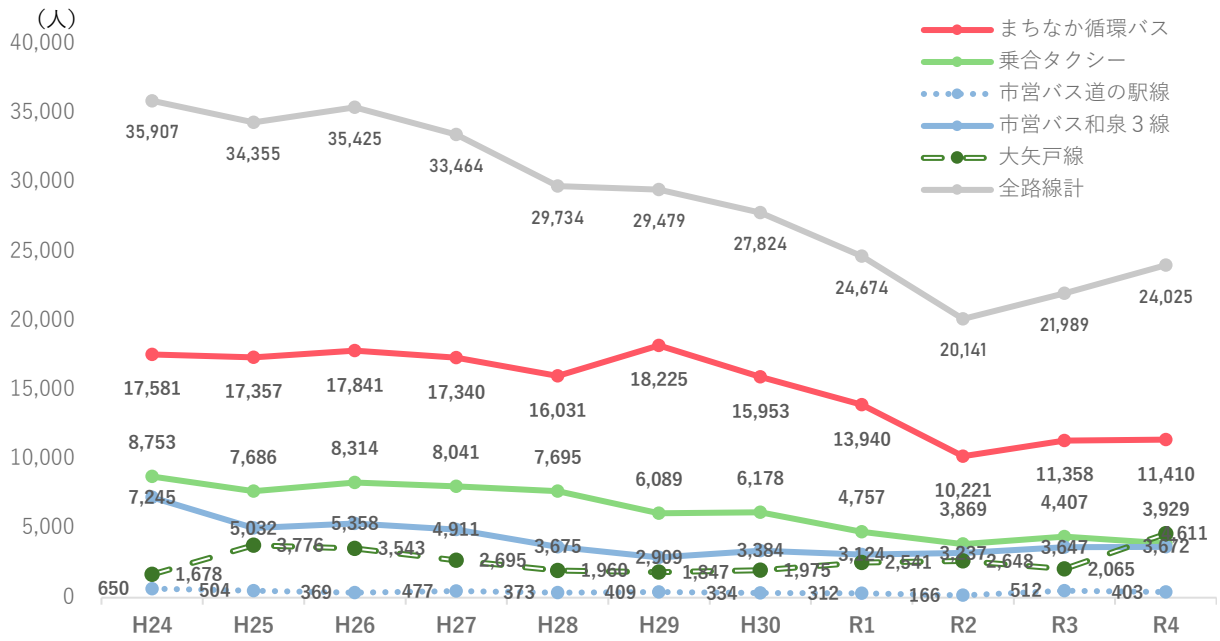


(資料 大野・勝山・永平寺観光動態調査事業に関する調査報告書抜粋)

2 公共交通の現状

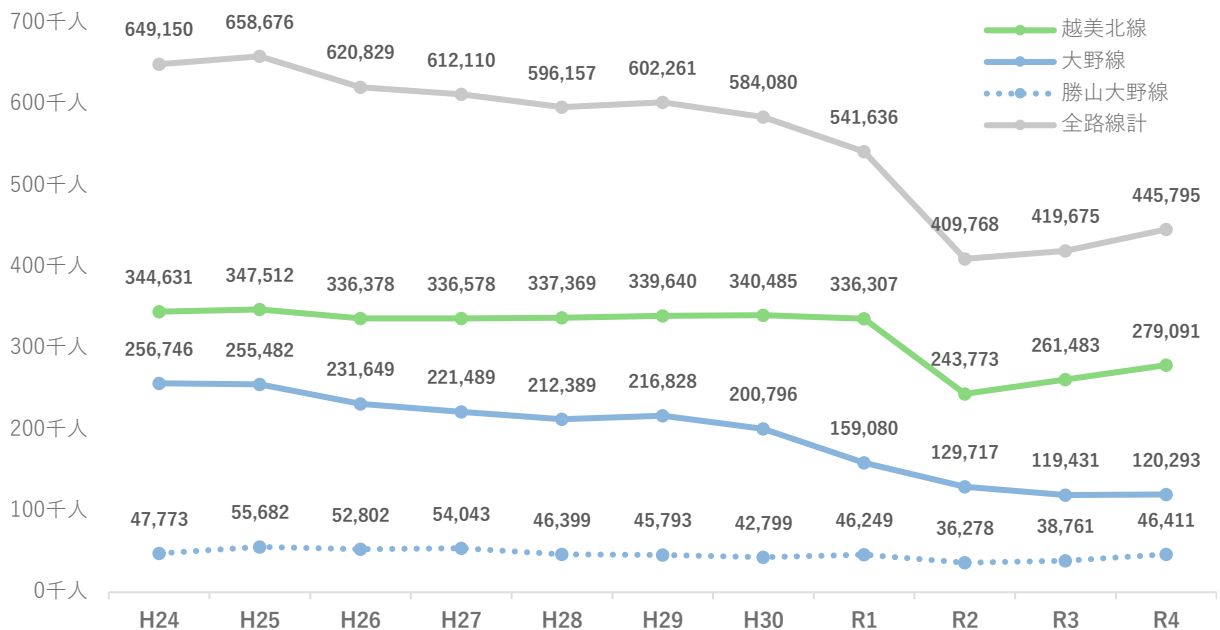
2.1 公共交通の利用状況

2.1.1 市内公共交通の利用者数



(資料 交通住宅まちづくり課)

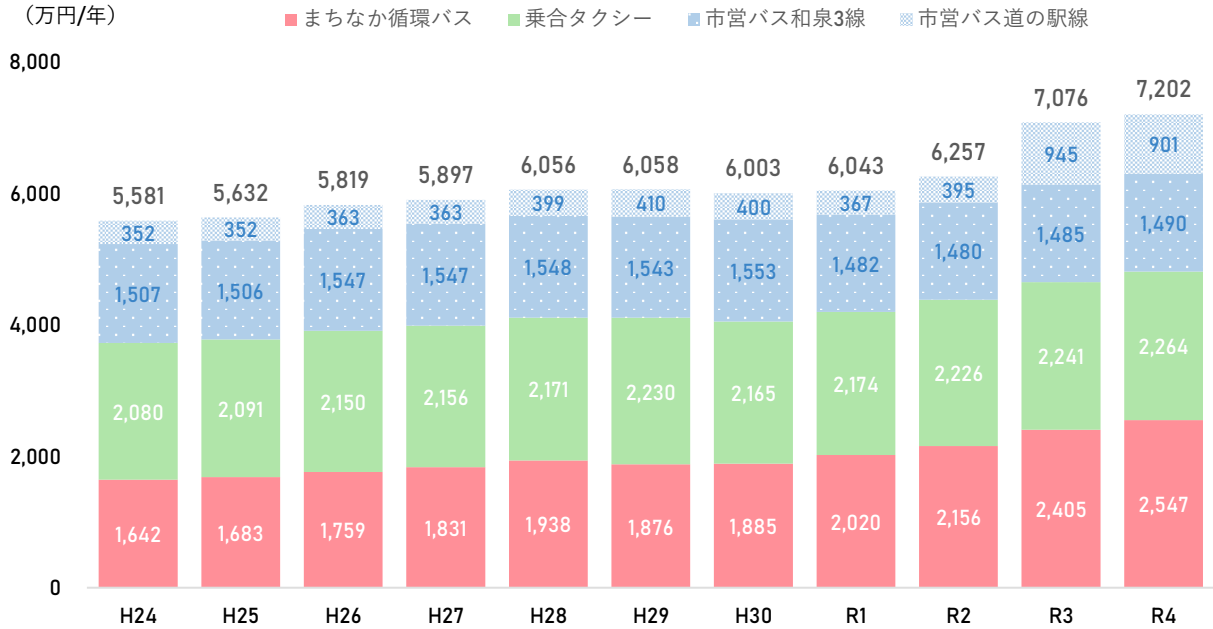
2.1.2 広域路線バス・JR 越美北線利用者数



(資料 交通住宅まちづくり課)

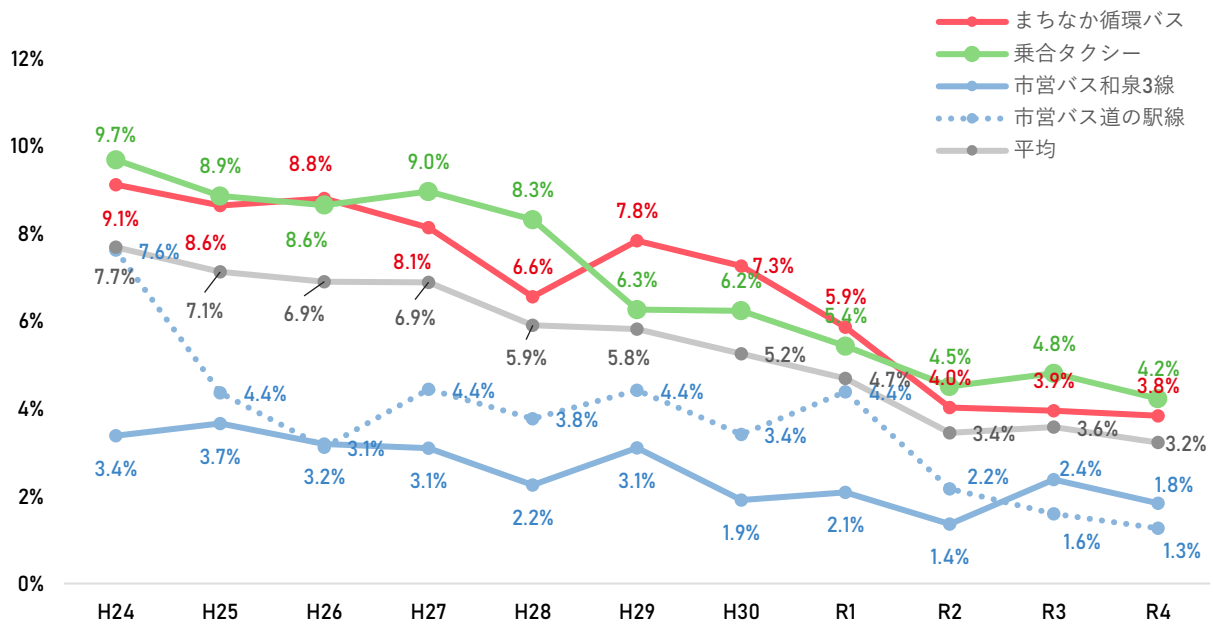
2.2 公共交通の運行経費

2.2.1 市内公共交通の運行経費



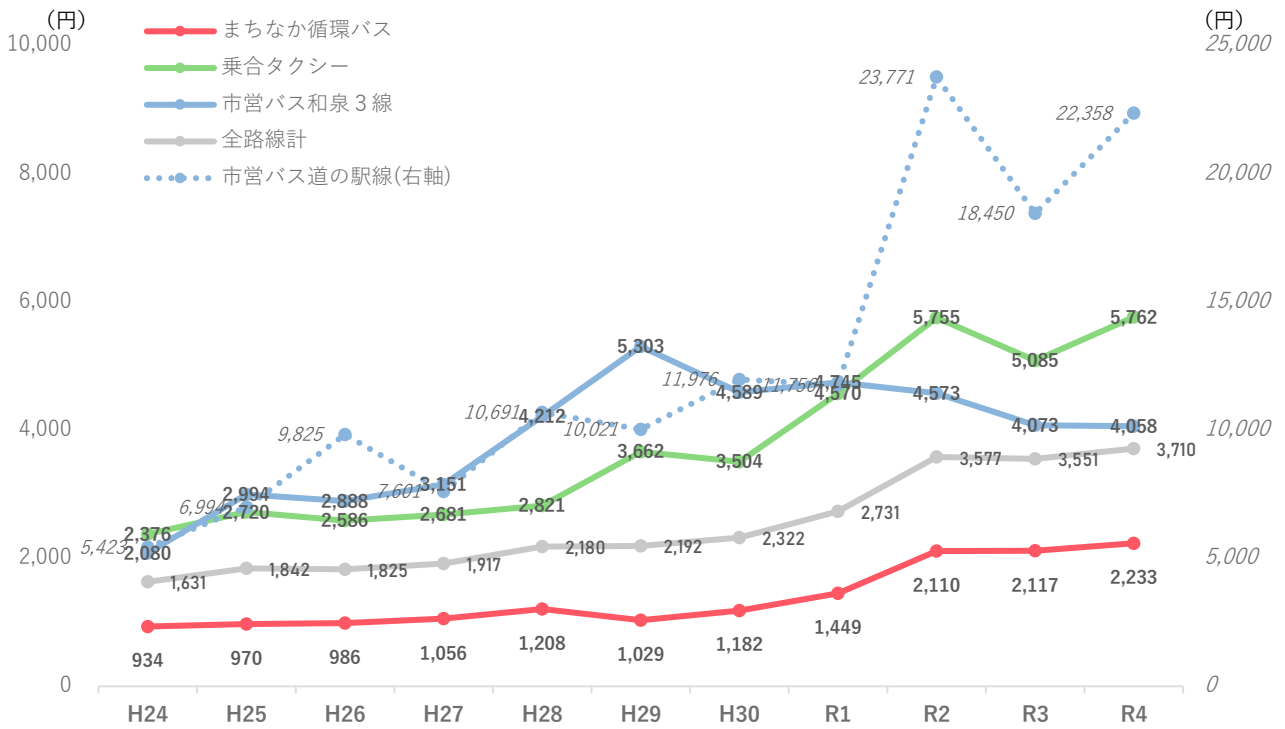
(資料 交通住宅まちづくり課)

2.2.2 市内公共交通の収支率



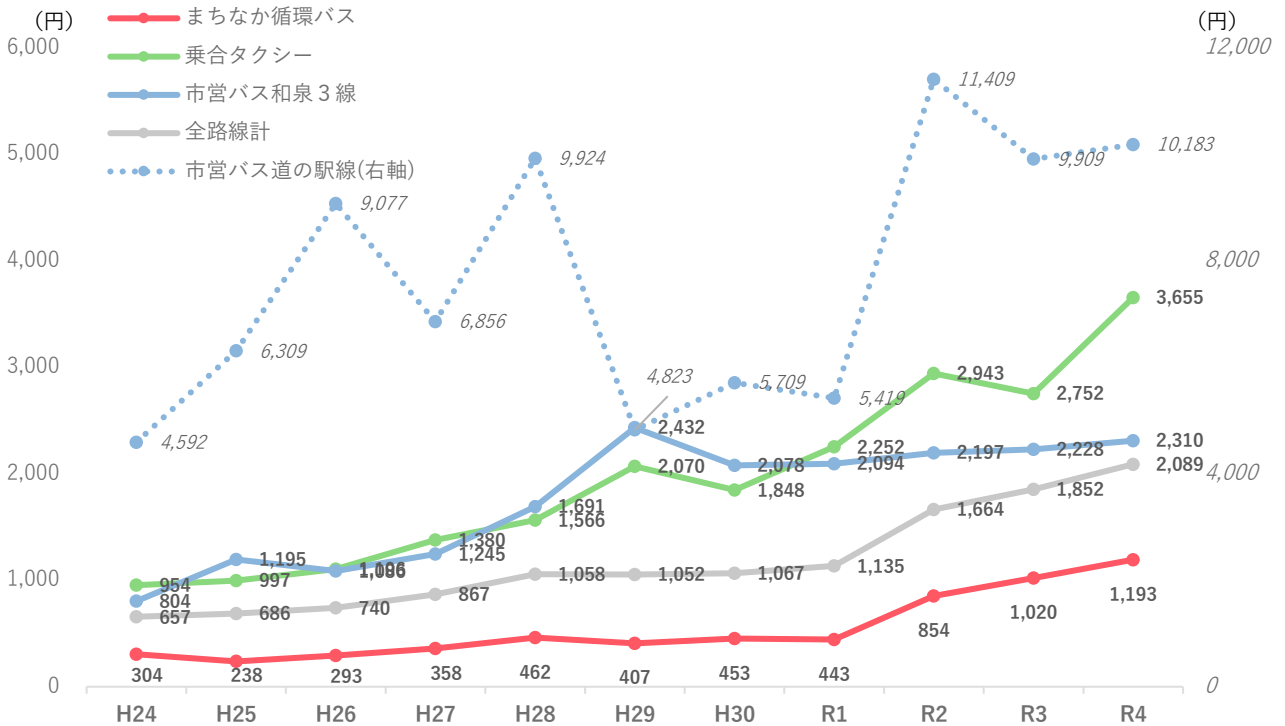
(資料 交通住宅まちづくり課)

2.2.3 市内公共交通利用者一人当たりの運行経費



(資料 交通住宅まちづくり課)

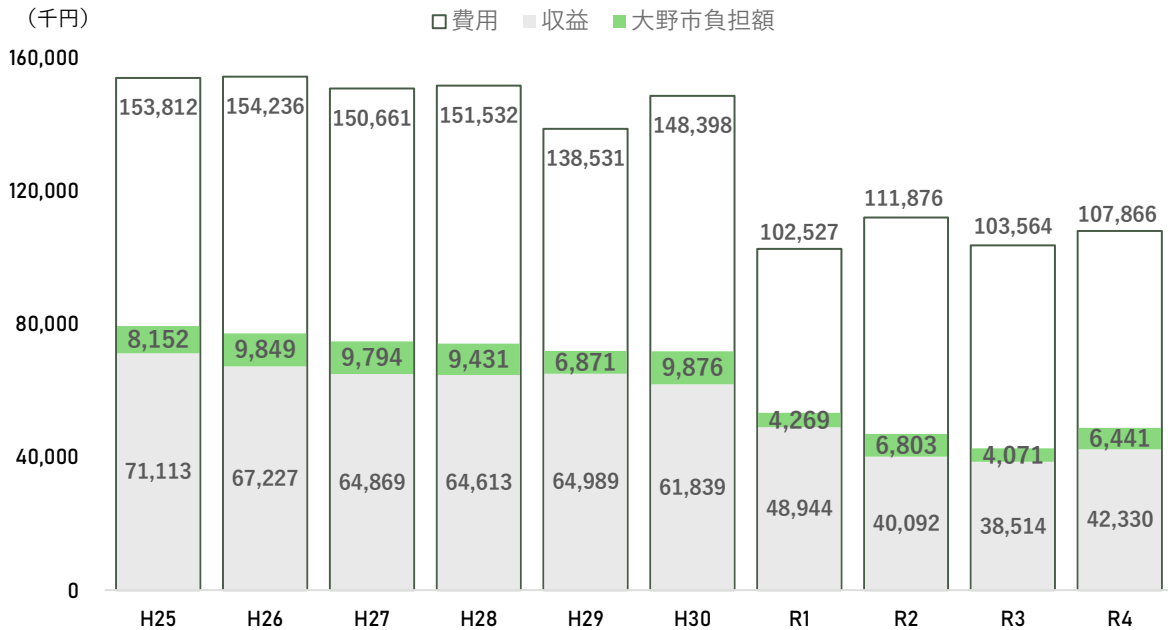
2.2.4 市内公共交通利用者一人当たりの市費負担額



(資料 交通住宅まちづくり課)

2 公共交通の現状

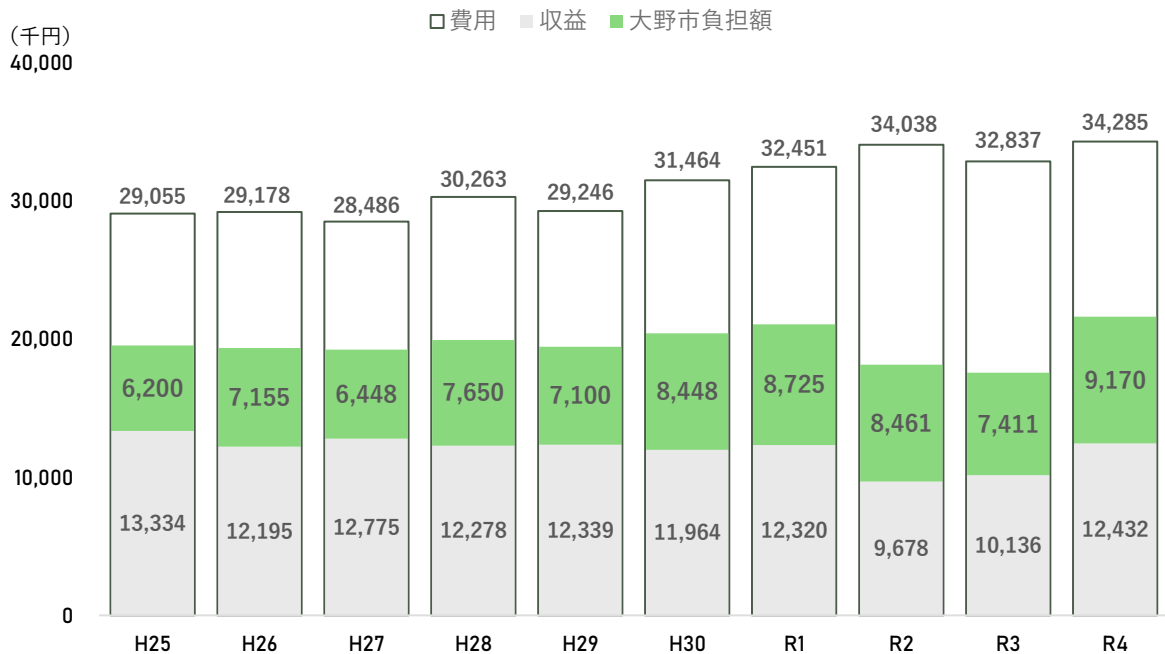
2.2.5 広域路線バス 大野線に係る市費負担額



注記 | 「収益」には、国・県・他市の補助額、負担額を含む。

(資料 交通住宅まちづくり課)

2.2.6 広域路線バス 勝山大野線 に係る市費負担額



注記 | 「収益」には、国・県・他市の補助額、負担額を含む。

(資料 交通住宅まちづくり課)

3 市民意向の把握

3.1 公共交通に関する市民アンケート調査結果

3.1.1 調査概要

(1) 調査の目的

- ✓ 本調査は、市民の日常生活の移動手段や公共交通に関する意見等を把握し、より良い公共交通を実現するための指針となる大野市地域公共交通計画の策定に向けた基礎資料とするために実施。

(2) 調査の概要

- ✓ 調査対象 大野市在住の2,000人
- ✓ 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ✓ 調査方法 郵送による配布、回収
- ✓ 調査期間 令和5年1月19日(木)～2月5日(日)

(3) 配布回収結果

- ✓ 配布数 2,000通、回収数 紙・746票、WEB・82票(回収率41.4%)

【公共交通運行路線】

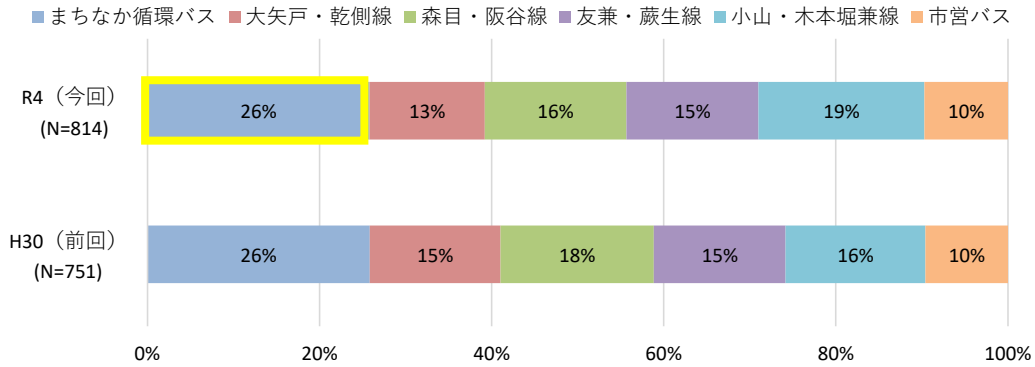


3 市民意向の把握

3.1.2 回答者の属性

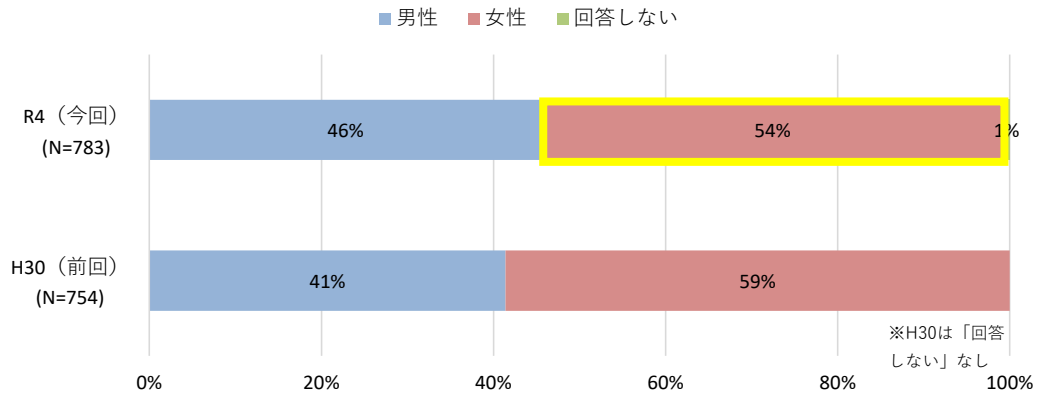
- ✓ 回答者の居住地は「まちなか循環バス」沿線、性別は「女性」、年齢は 60 歳以上の方が多くなっている。

【お住まい】

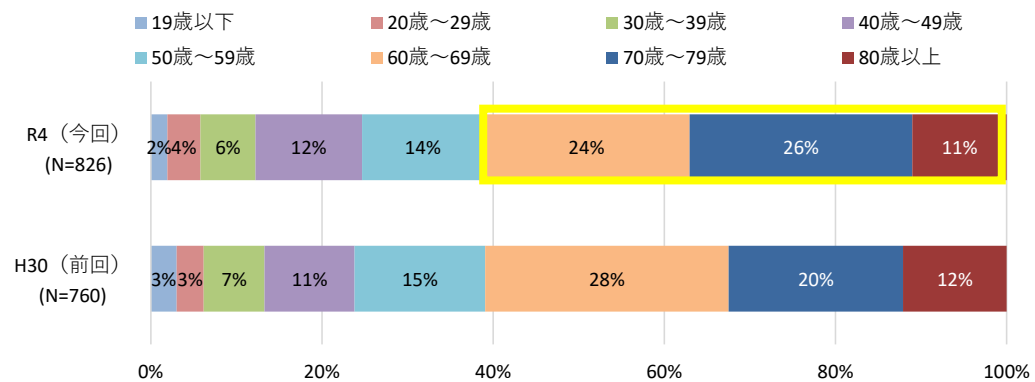


説明 まちなか循環バス 大野市まちなか、大矢戸・乾側線 大矢戸・乾側地区、森目・阪谷線 森目・阪谷地区、友兼・蕨生線 友兼・蕨生地区、小山西本堀兼線 小山・木本堀兼地区、市営バス 五箇・和泉地区 を意味しています。

【性別】



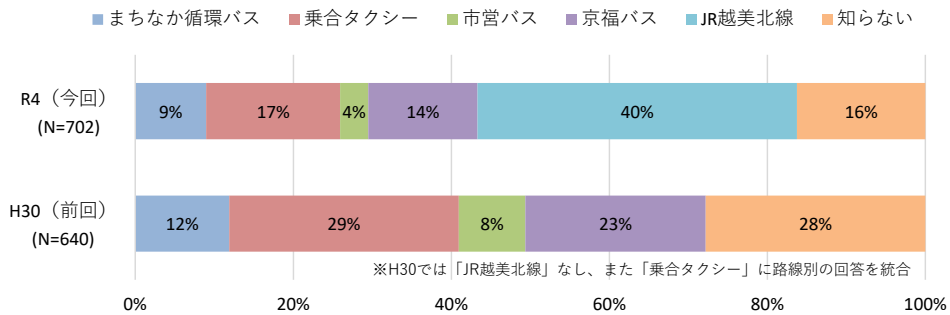
【年齢】



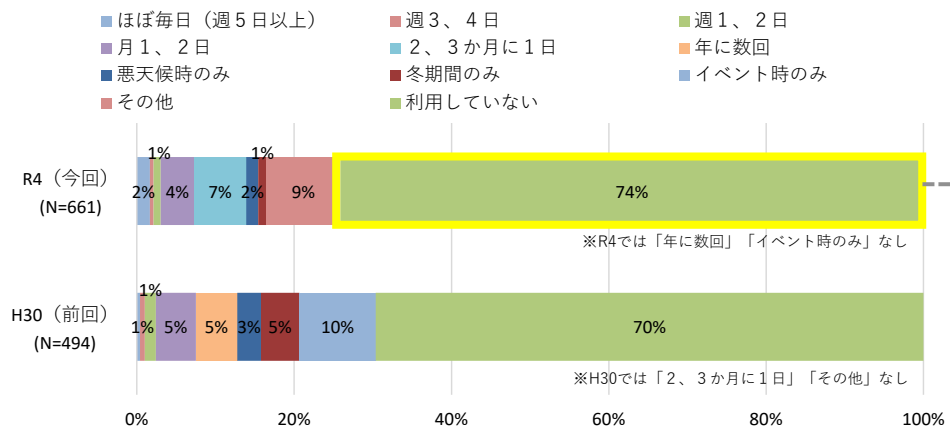
3.1.3 主に利用する公共交通とは？

- ✓ 主に利用する公共交通機関は「JR 越美北線」が 40%で最も多くなっており、福井市方面への移動に公共交通を使っていることが多いと想定される。
- ✓ 一方、利用頻度を見ると「利用していない」が 74%で最も多く、その理由として「利用する必要性がない(マイカー利用等)」が 91%で最も多くなっている。

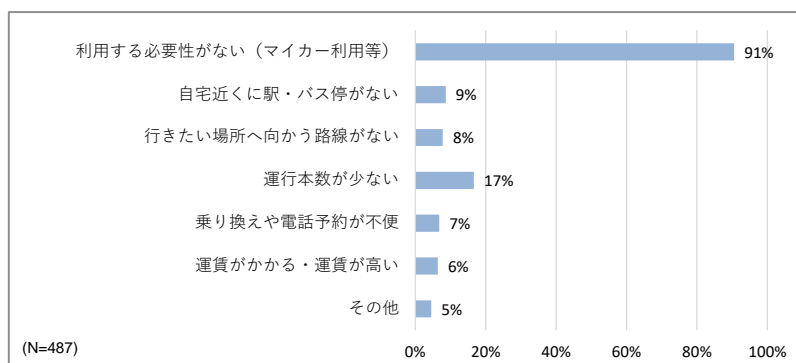
【主に利用する公共交通】



【主に利用する公共交通の利用頻度】



【公共交通を利用しない理由】



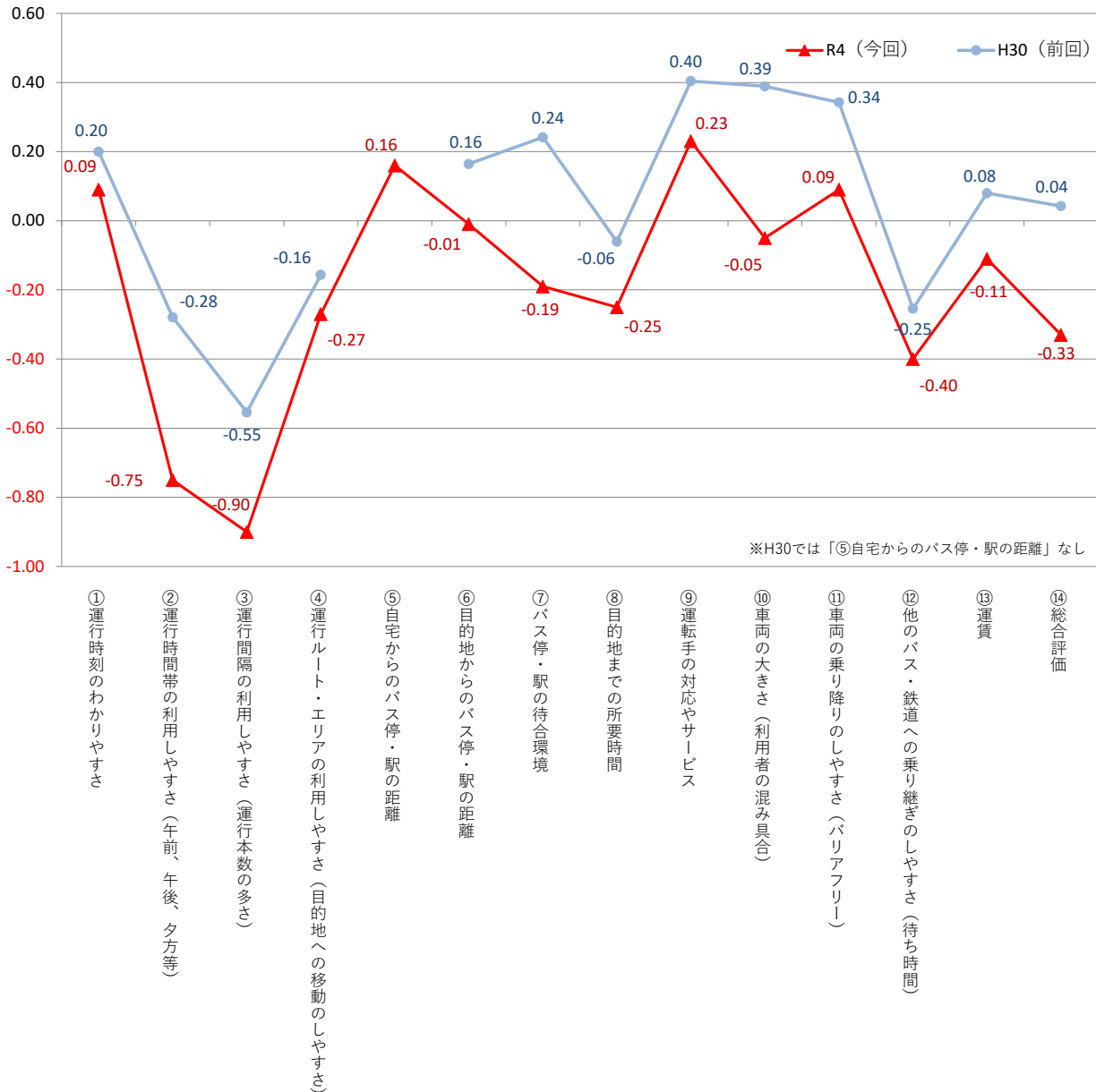
3 市民意向の把握

主に利用する公共交通の利用頻度で「利用していない」を選択した方のみを対象

3.1.4 公共交通の満足度

- ✓ 公共交通の満足度は全体的に低く、特に「運行時間帯」「運行便数」に対する満足度が低い。
- ✓ 前回調査と比べて全体的に公共交通の満足度が低くなっており、特に「③運行間隔の利用しやすさ(運行本数の多さ)」「②運行時間帯の利用しやすさ(午前、午後、夕方等)」の満足度が低くなっている。

【主に利用する公共交通の満足度】



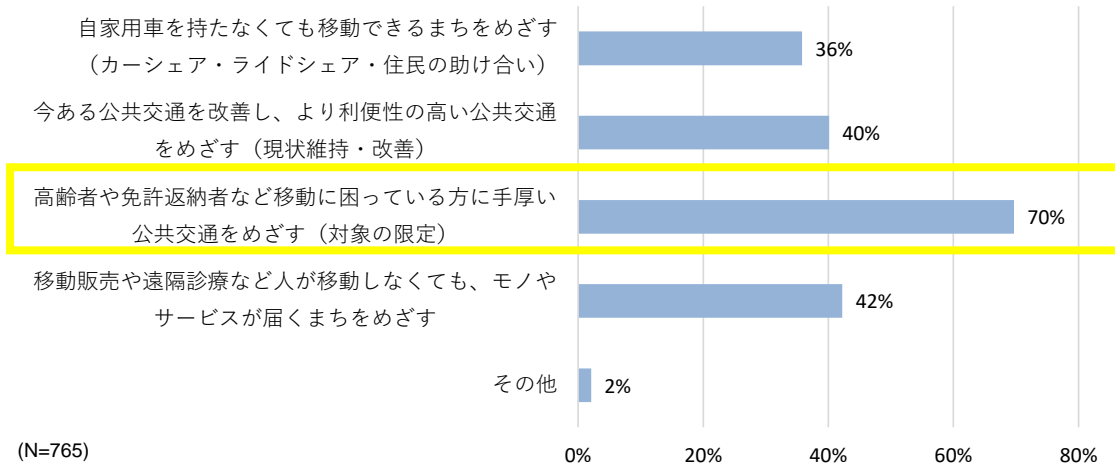
【評価点の算出式】

$$\{ \text{満足} \times (2 \text{点}) + \text{やや満足} \times (1 \text{点}) + \text{普通} \times (0 \text{点}) + \text{やや不満} (-1 \text{点}) + \text{不満} (-2 \text{点}) \} \div \text{各選択肢の回答者数}$$

3.1.5 今後めざすべき公共交通やまち

- ✓ 今後めざすべき方向性として「高齢者や免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす(対象の限定)」が70%で最も多くなっている。

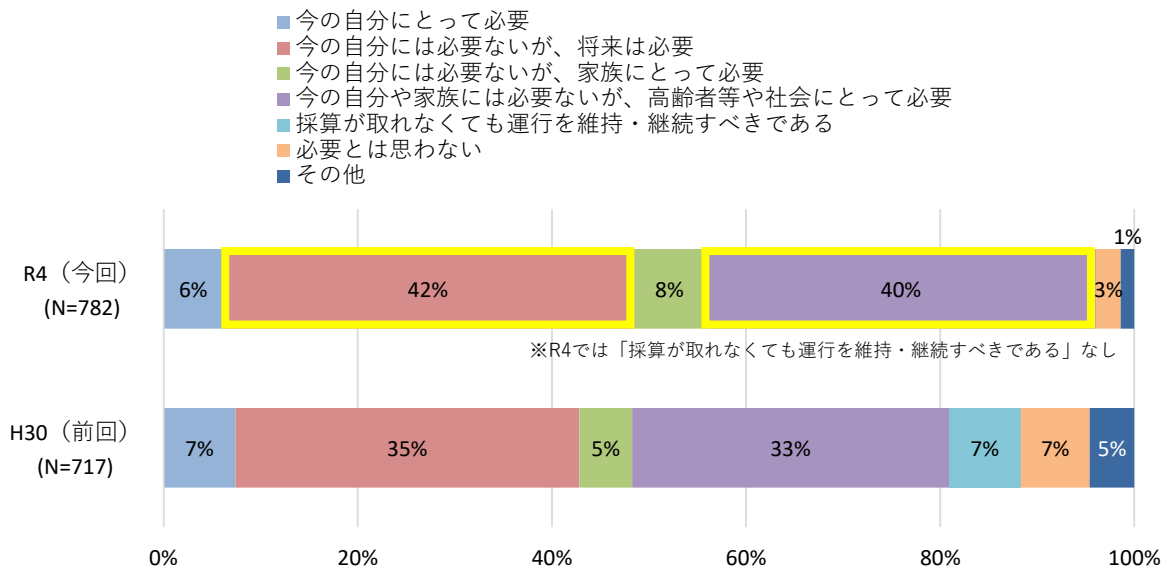
【市が今後めざすべき公共交通やまち】



3.1.6 公共交通の必要性

- ✓ 公共交通の必要性については「今の自分には必要ないが、将来は必要(42%)」や「今の自分や家族には必要ないが、高齢者等や社会にとって必要(40%)」が多くなっている。
- ✓ 「今の自分には必要がない、必要とは思わない」が、あわせて全体の93%を占めるものの、「必要とは思わない」が、前回の7%から3%へと減少している。

【市内公共交通機関の運行の必要性】

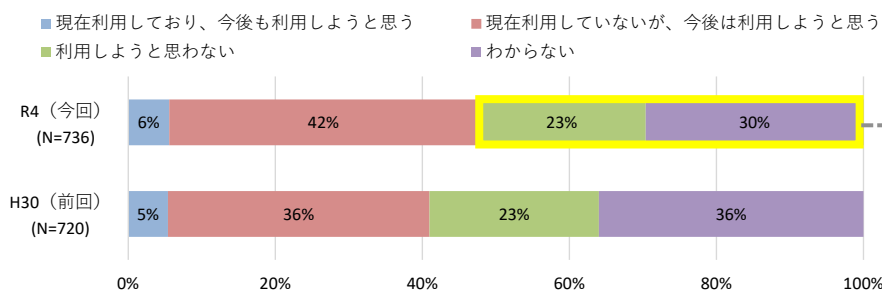


3 市民意向の把握

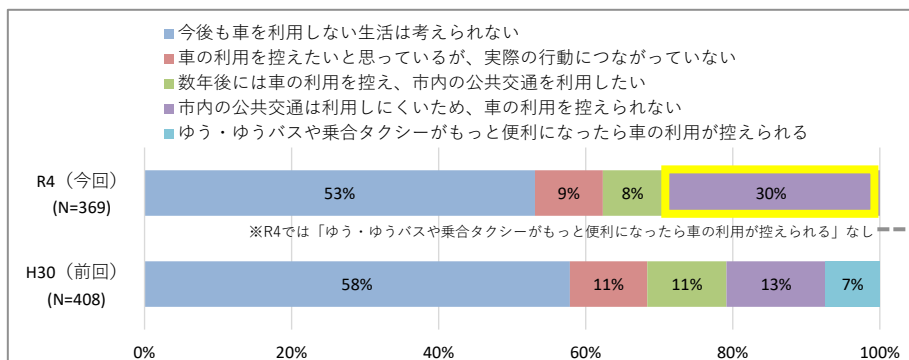
3.1.7 公共交通の利用意向

- ✓ 今後の利用意向は「現在利用していないが、今後は利用しようと思う」が 42%で最も多く、自家用車からの切り替えは「今後も車を利用しない生活は考えられない」が 53%で最も多くなっている。
- ✓ 公共交通を利用するための改善点としては「自宅や目的地近くへの停留所の設置(停留所の増)(37%)」や「利用しやすい時間帯の公共交通の運行(32%)」、「行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行(31%)」が多くなっている。

【今後の公共交通の利用意向】

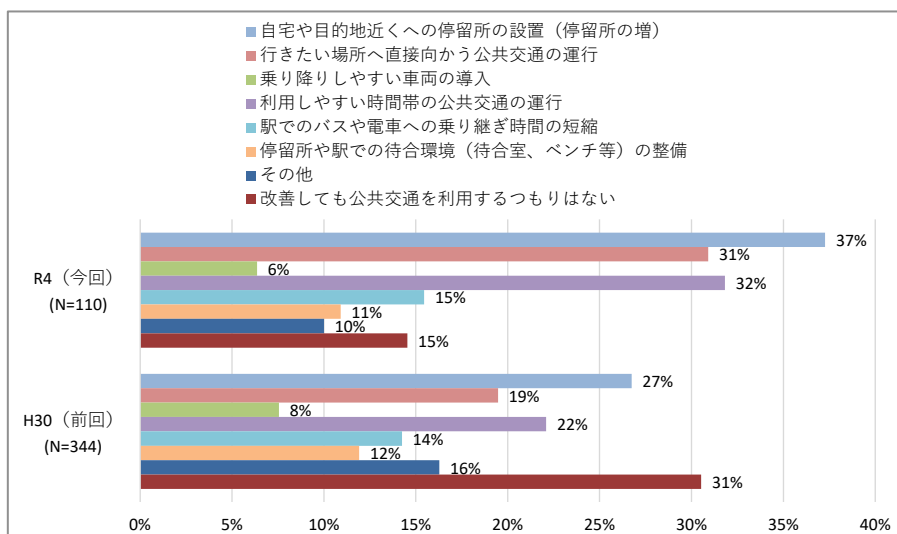


【自家用車から公共交通への切り替え】



※今後の公共交通の利用意向で「利用しようと思わない」「わからない」を選択した方のみ対象

【今後、公共交通を利用するための改善点】



※自家用車から公共交通への切り替えで「市内の公共交通は利用しにくいいため、車の利用を控えられない」を選択した方のみ対象

3.2 介護予防・日常生活圏二一ズ調査（健康長寿課実施の抜粋）

調査概要

（1）調査の目的

- ✓ 大野市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にあたって、高齢者の生活状況や支援ニーズ、地域課題等を把握する。

（2）調査の概要

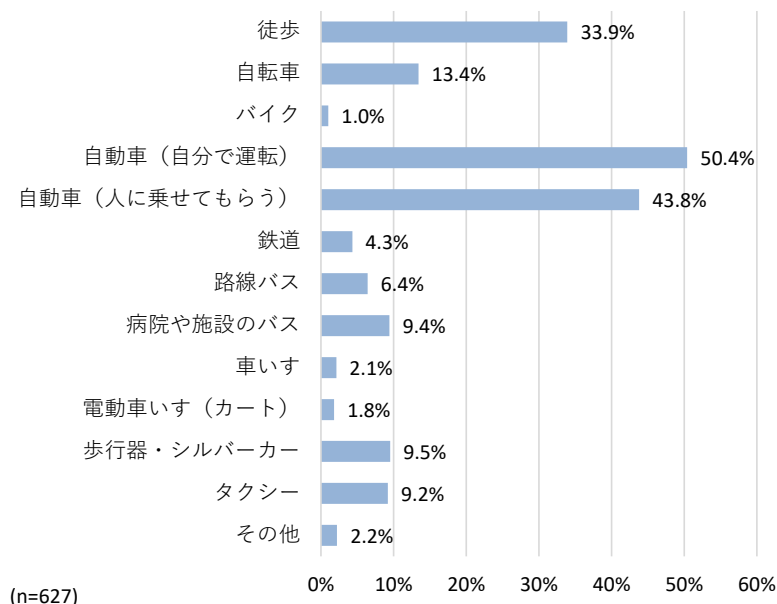
- ✓ 対象者 ①65歳以上の要介護認定を受けていない方(無作為抽出500人)及び②要支援認定者で市内にある事業所で居宅サービス及び地域密着型サービスを利用している方(300人)
- ✓ 調査方法 郵送による配布・回収
- ✓ 調査期間 令和4年(2022年)11月～12月

（3）配布回収結果

- ✓ 配布数・800通、有効回収数・672票(有効回収率 84.0%)

調査結果の概要

【外出する際の移動手段（全体）】



- ✓ 「自動車(自分で運転)」が 50.4%で最も多く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が 43.8%、「徒歩」が 33.9%となっている。

3 市民意向の把握

【移動に関する自由意見】

中学校区	年齢	問9 高齢者福祉に関する意見
陽明中学校区	65-69 歳	移動サービスの充実(介護タクシーなどへの助成)。介護人材の確保への対策(ヘルパーの高齢化、減少対策や介護福祉士への助成等)。要支援者への対策(市町村事業への移管反対)、介護予防は今後ますます重要。被保険者を 20 歳までにして、助成を拡大することにより介護充実を。
陽明中学校区	70-74 歳	返納などをして車に乗れなくなった時のサポート、マイクロバスなどの便利が本当にならないように思います。一応形はあるようですが、買い物や行きたい所へ、近くに乗り場や不便など困っていることをお聞きします。また町中に体を動かす所がありません。インストラクターが常駐してアドバイスしていただけるスポーツセンターがほしいと思います。年配の方も若い方も一緒にできる所があるとよいと思います。他の市を見学してほしいと思います。
陽明中学校区	75-79 歳	交通の便→タクシーの営業時間。
陽明中学校区	75-79 歳	年金生活です。物価高、医療費負担。免許返納した後の移動手段に心配有。大野市内のタクシーの台数が少ないと聞いている。高齢者にやさしい市政であってほしい。
陽明中学校区	80-84 歳	車の免許症も持っておりませんし、駅でバスを降りてもタクシーがないのがとても不便です。電話してもなかなか来ていただけません。少し前まではタクシーが待っていてくれましたのに、最近は全くいません。市役所の入り口に車いすの外にシルバーカーも用意しておいていただけるとありがたいです。
陽明中学校区	80-84 歳	越美北線が駅に着く時間は、タクシーがあるといい。タクシーの時間が早く終わって不便。
陽明中学校区	90-94 歳	外出が不便。乗り合いタクシーとか。
開成中学校区	75-79 歳	年金を減らしてほしくないです。印刷物はなるべく大文字にしてほしい。
開成中学校区	80-84 歳	交通の便が悪い。2社タクシーが動いていないので。

中学校区	年齢	問9 高齢者福祉に関する意見
上庄中学校区	70-74 歳	車の運転ができなくなった時に、街に行く手段が心配です。
上庄中学校区	70-74 歳	以前に比べて、最近は高齢者福祉も関心が高まってきており、少しずつですが高齢者への配慮もよくなっていると思います。今後、私が心配なのは車免許を返納後の交通の手段です。乗り合いタクシー等もありますが、突然の利用時も利用できる交通の便が必要です。(とても不安です)自宅が空き家になった場合、壊すことを考えていますが、他の手段があれば相談できる窓口があるとありがたいです。
上庄中学校区	75-79 歳	家が町からはなれていますが、買い物できる車が来てくれるとありがたいです。車乗れなくなった時に利用したいと思います。
上庄中学校区	75-79 歳	運転できなくなった時、もっと気軽に利用できる乗り物があるとよい。移動販売車が各村々に出向いて下さればありがたい。
上庄中学校区	80-84 歳	大野はタクシー会社の機能が十分でないため村部に付いては大変通合が悪い。
上庄中学校区	80-84 歳	半分公費で半分は自己負担があるとよい(サービスの車)。
尚徳中学校区	65-69 歳	車に乗れなくなった時に、病院、買い物等、どうしたらいいのか心配です。
尚徳中学校区	70-74 歳	公共交通機関が少なく、高齢者の移動手段に不安がある。現在もルートバス等走ってはいるが、時間的に不便な面もある。定額でタクシー等利用できる制度があるといいと思う。又は近隣の住民が協力して自家用車での送迎ができるシステムがいいのではないかと。運営に行政の支援は必要ではある。

3.3 在宅介護実態調査（健康長寿課実施の抜粋）

調査概要

（1）調査の目的

- ✓ 高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にあたって、高齢者等の適切な在宅生活の継続、家族等介護者の就労継続に向けた介護サービスのあり方を検討する基礎資料を得る。

（2）調査の概要

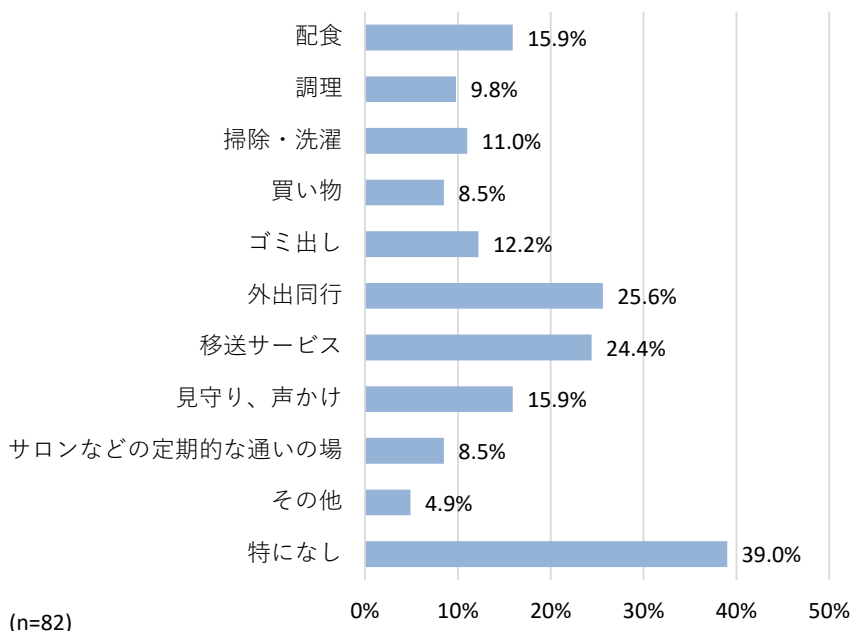
- ✓ 対象者 令和4年10月1日～12月28日の期間中に要介護認定調査を受ける者で更新申請・区分変更申請をする者（入院、施設入所者を除く）
- ✓ 調査方法 認定調査員に関する聞き取り調査
- ✓ 調査期間 令和4年（2022年）10月～12月

（3）配布回収結果

- ✓ 対象者 105人、有効回収数 82票（有効回収率 78.1%）

調査結果の概要

【在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス】

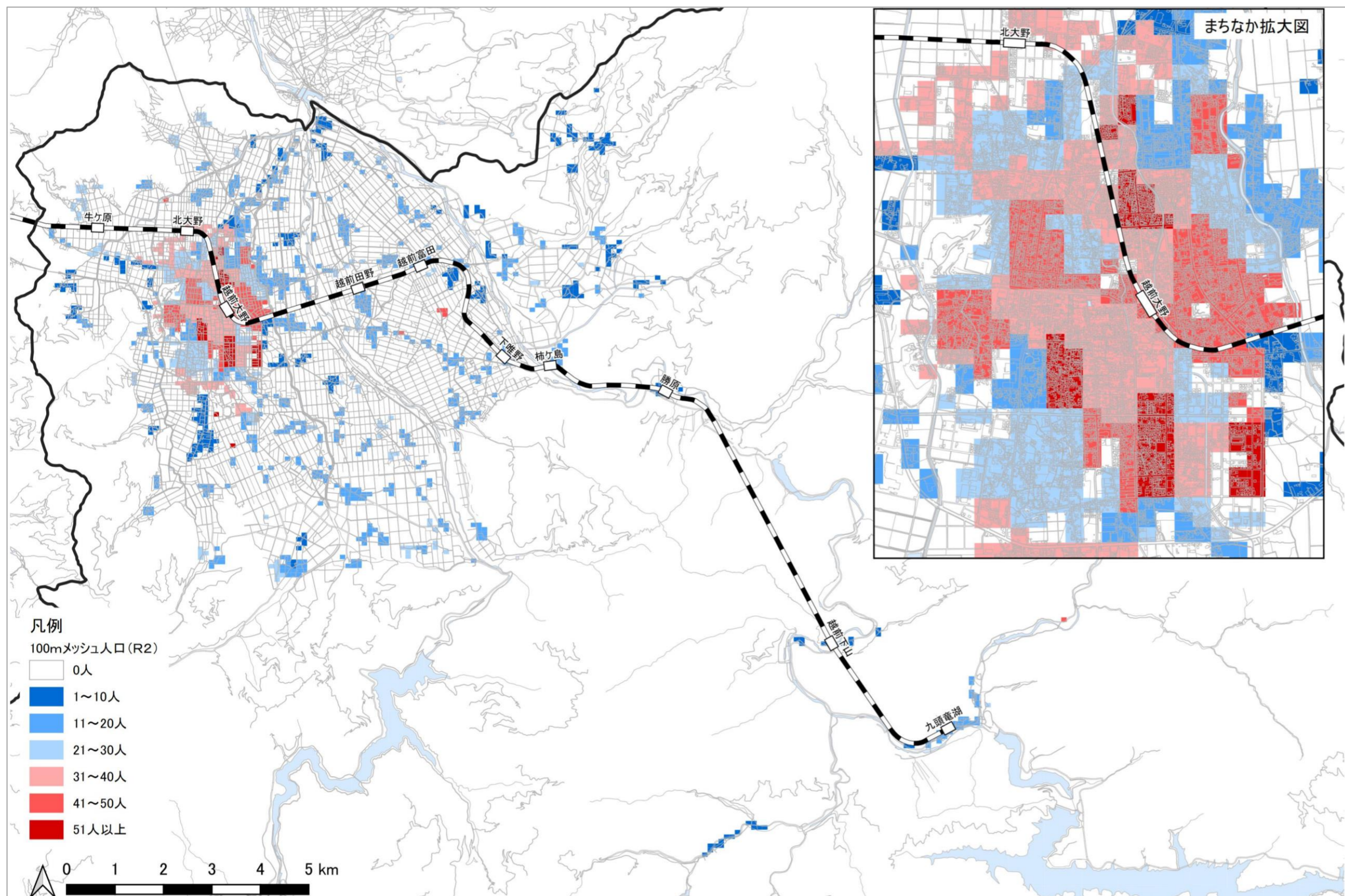


- ✓ 「外出同行」が 25.6% で最も多く、次いで「移送サービス」が 24.4%、「配食」が 15.9% となっている。

4 人口・施設等の分布

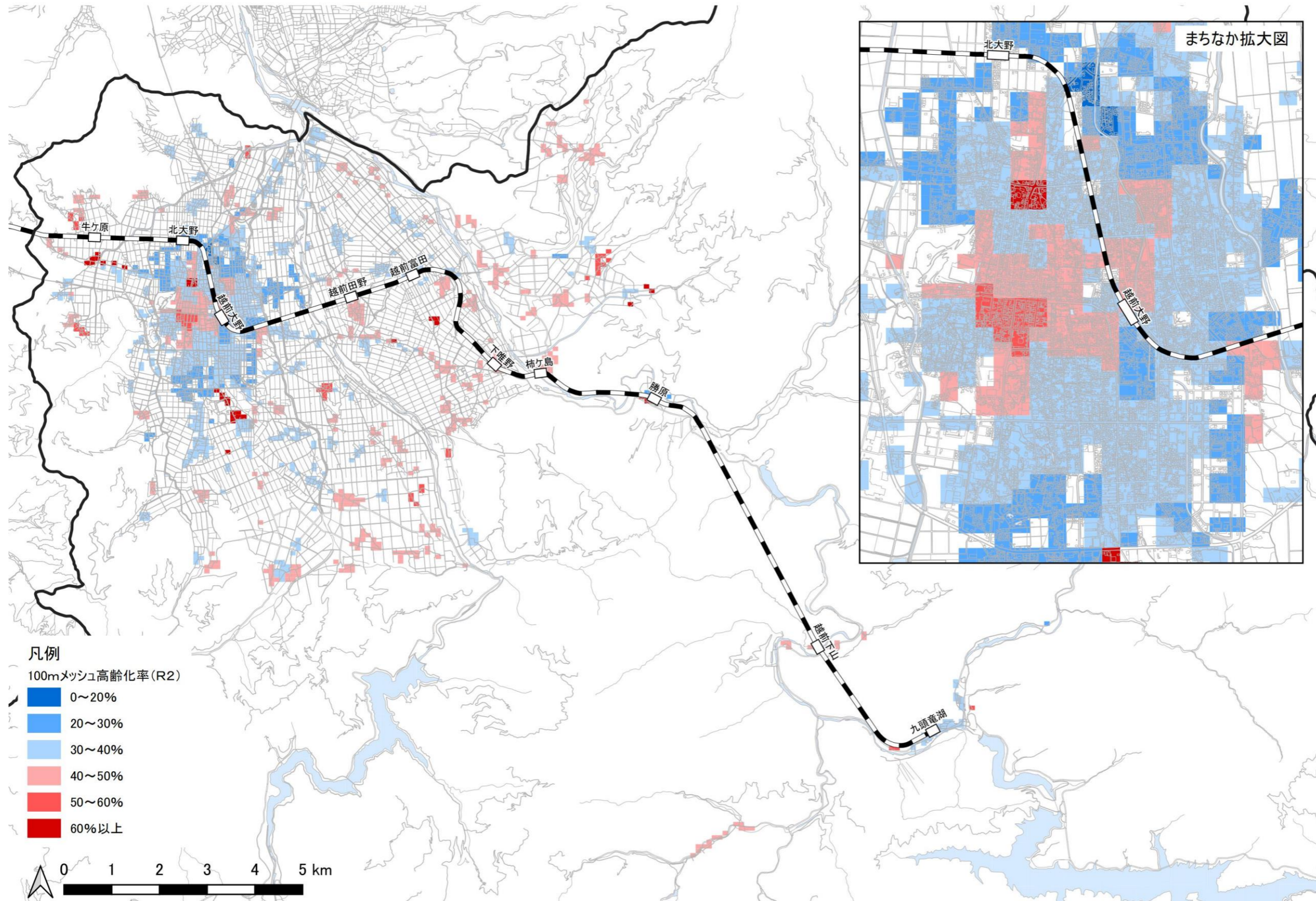
4.1 人口分布

4.1.1 人口分布

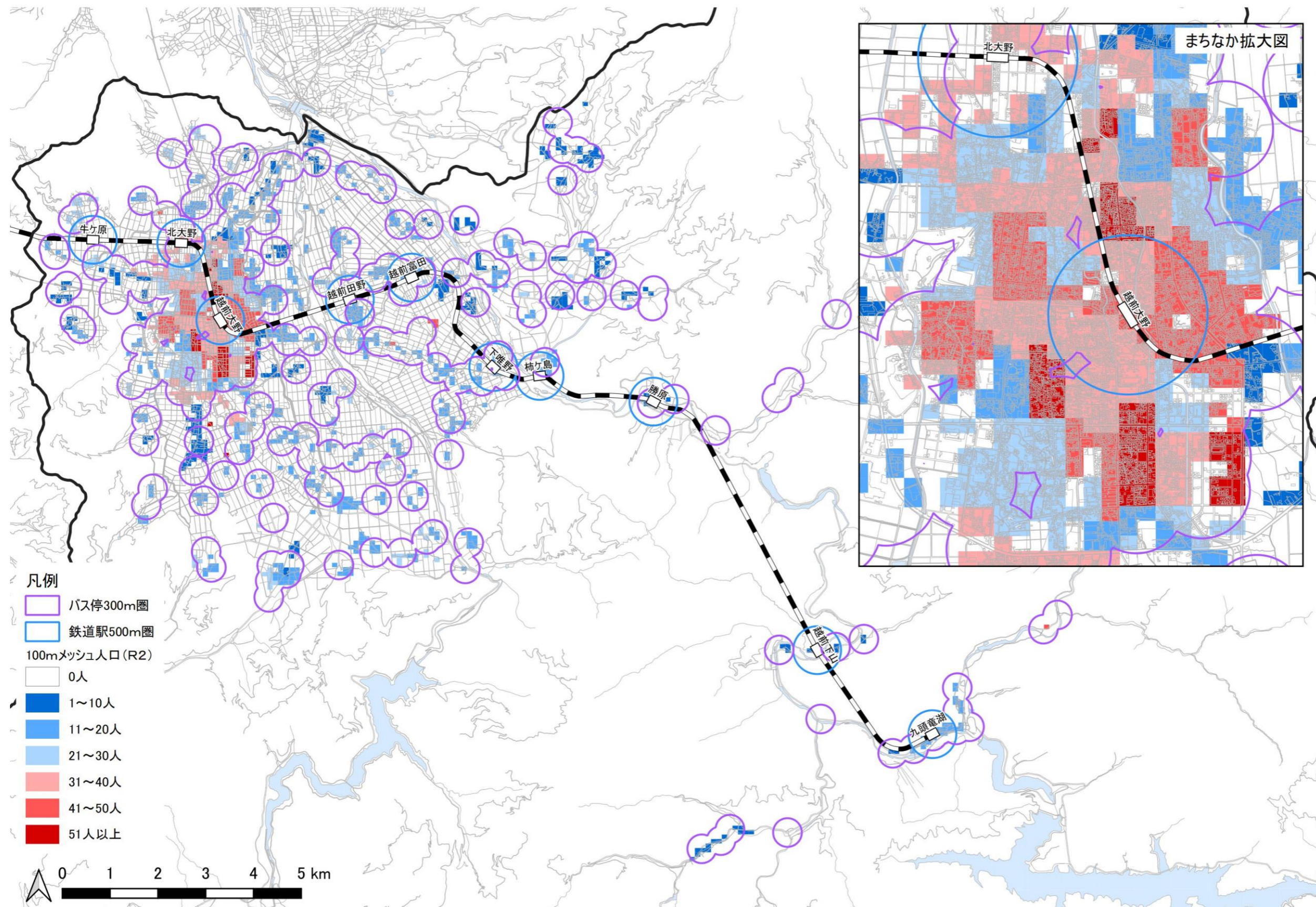


4 人口・施設等の分布

4.1.2 高齢者の分布

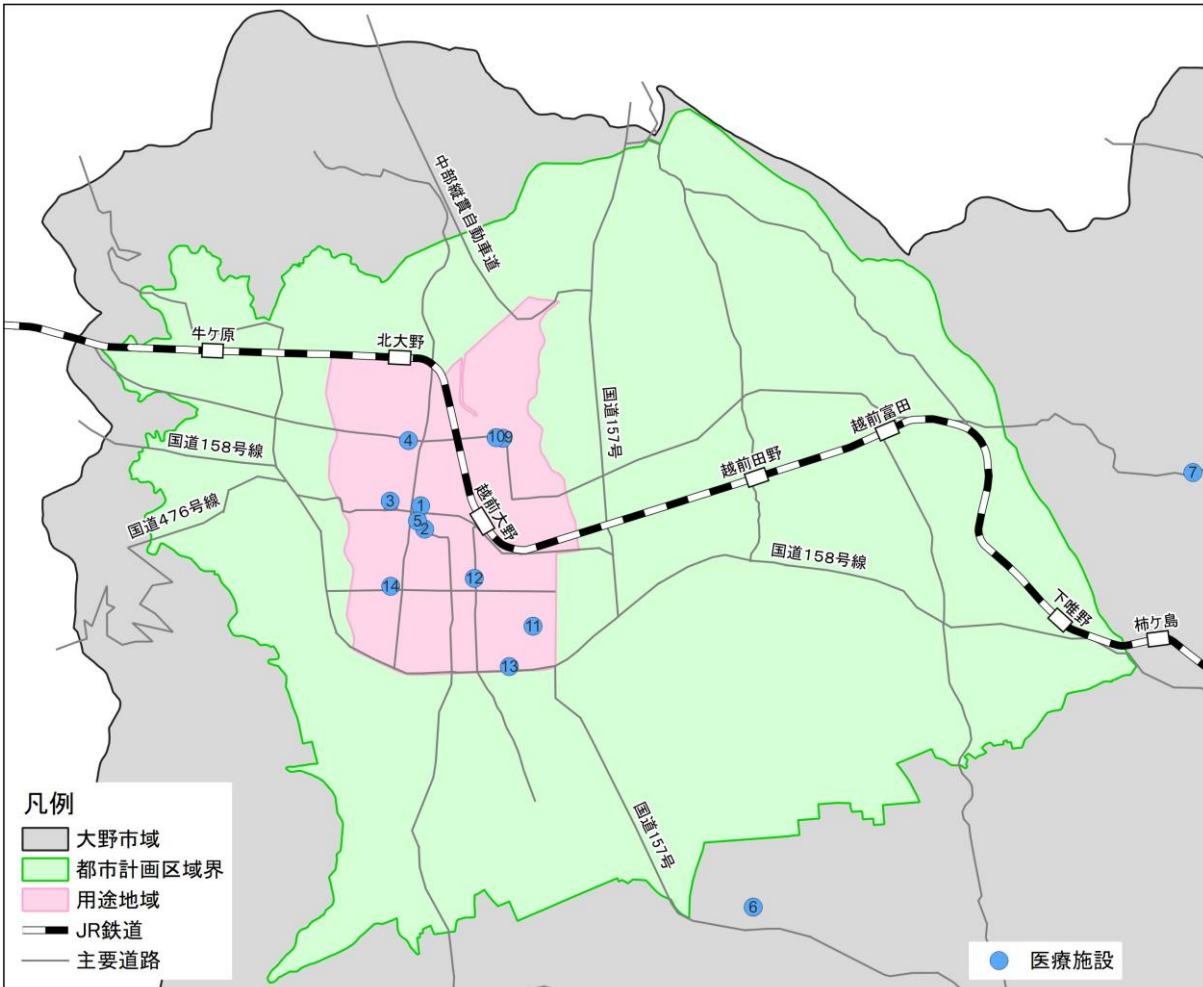


4.1.3 公共交通空白地域



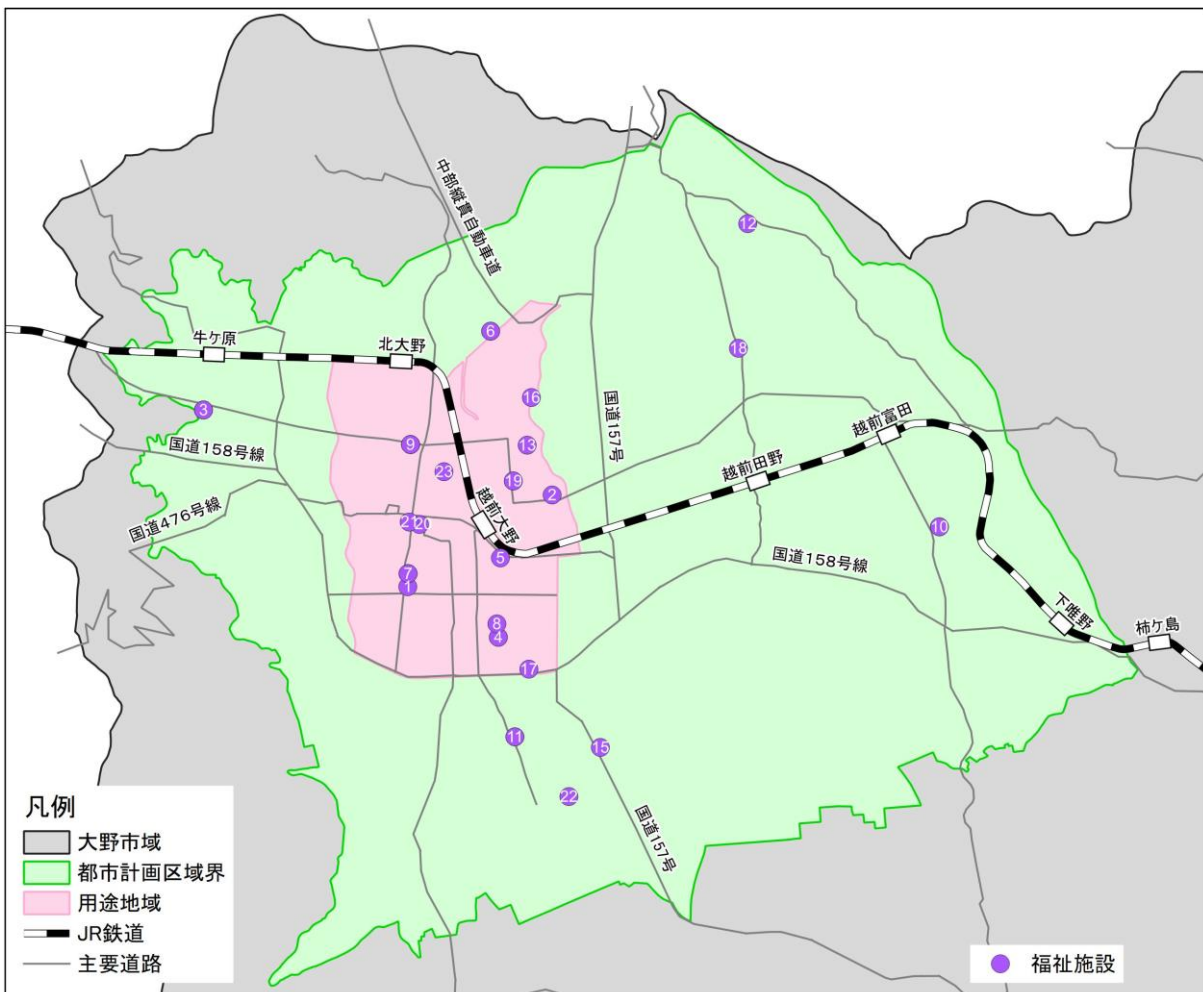
4.2 施設等の分布

4.2.1 医療機関の分布



NO	施設名	NO	施設名
1	阿部病院	8	大野市和泉診療所
2	尾崎病院	9	弘川医院
3	広瀬病院	10	広岡クリニック
4	キラキラ会松田病院	11	松田医院
5	尾崎整形外科	12	薬袋クリニック
6	高井医院	13	栃木産婦人科医院
7	山川医院	14	大野市休日急患診療所

4.2.2 福祉施設の分布

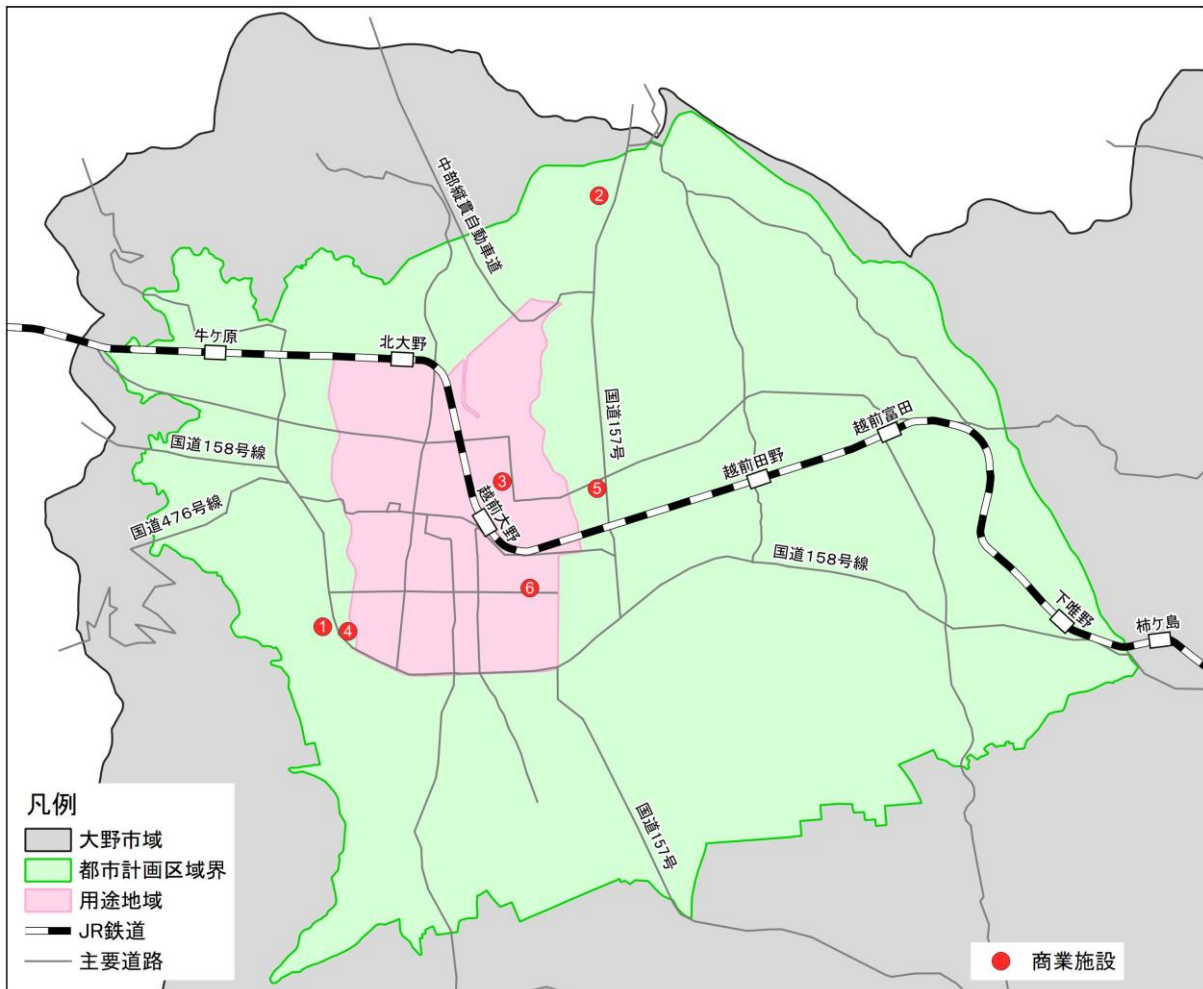


NO	施設名	NO	施設名
1	結の郷	13	デイホームめぐめぐ
2	テラルのほほえみ	14	和泉デイサービスセンター
3	一乗ハイツヘルパーステーション	15	グループホームくつろぎ
4	大野和光園ホームヘルプ事務所	16	あいデイサービスセンター
5	SOMPO ケア福井訪問介護大野サテライト	17	デイサービス施設「パワーリハビリふぁいと」
6	訪問看護さくらステーション	18	デイホームあそじま
7	県民せいきょうホームヘルプサービス	19	ほっと地域リハビリセンター大野
8	デイホームひだまりでい	20	尾崎整形外科介護保険部
9	キラキラのヘルパーさん	21	小規模多機能型居宅介護めいりん
10	聖和園デイサービスセンター	22	小規模多機能型居宅介護事業所和が家
11	大野和光園デイサービスセンター	23	リハプライド誓念寺デイサービス
12	森目ホームぶる～夢		

※通所系施設、訪問施設、小規模多機能施設

4 人口・施設等の分布

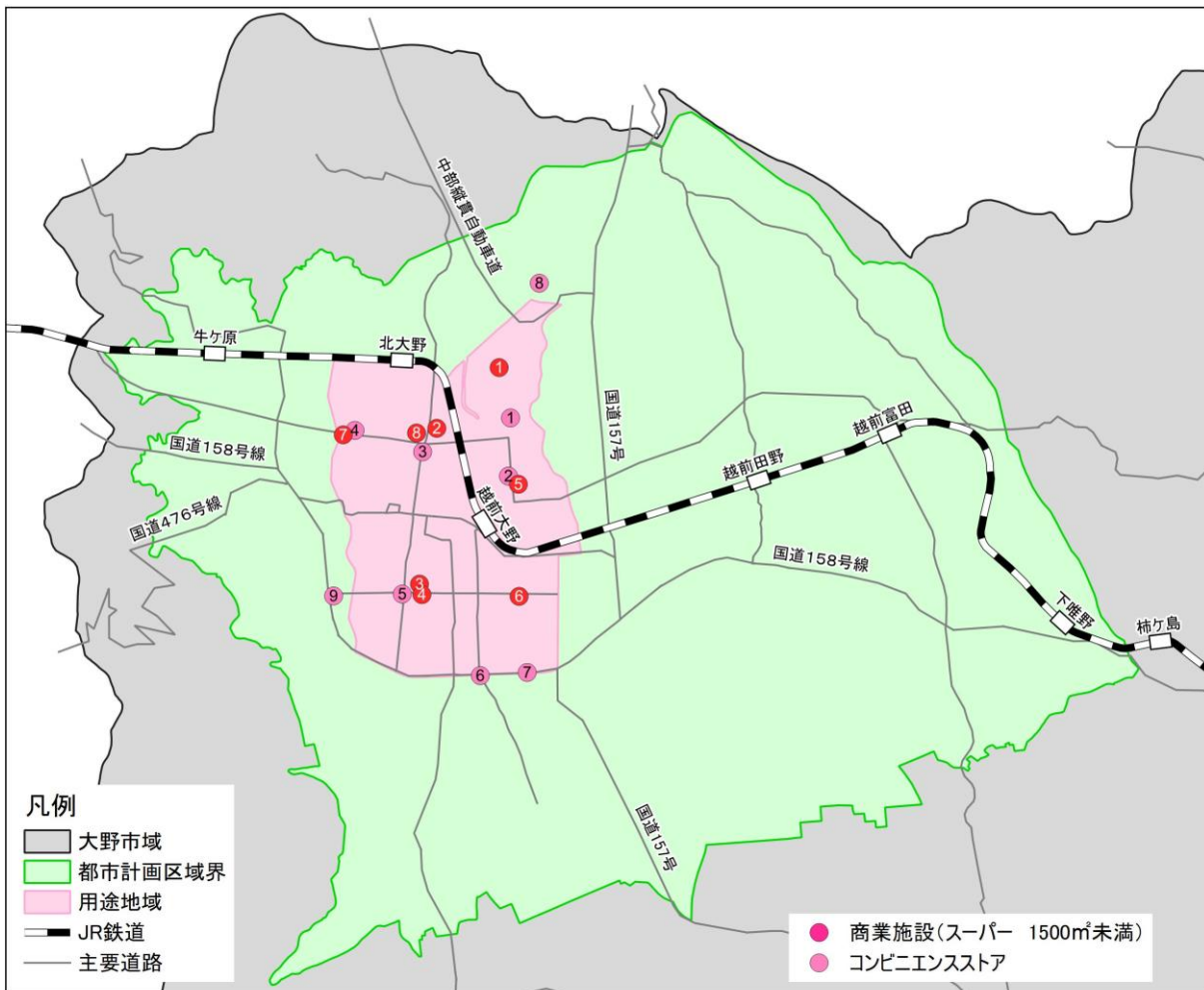
4.2.3 商業施設(延床面積 1,500㎡以上)の分布



NO	施設名	NO	施設名
1	ショッピングモールV10 (かじ惣ヴィオ店)	4	ゲンキー大野店
2	ホームセンターみつわ九頭龍店	5	ハニー新鮮館大野インター店
3	かじ惣リブレ店	6	ハニー新鮮館こぶし通り店

※商業施設・コンビニは届出等をもとに確認いただく必要があります

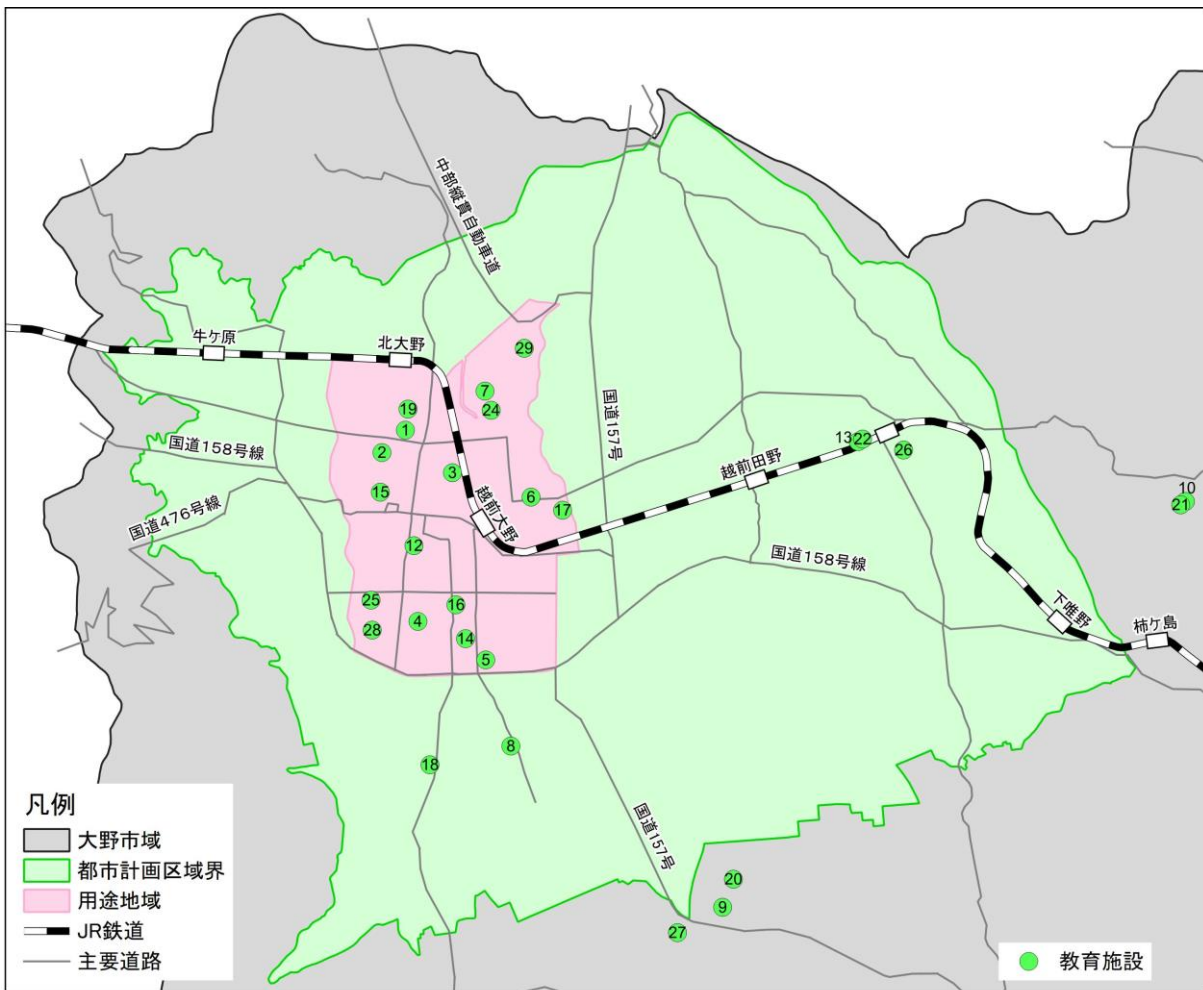
4.2.4 商業施設(延床面積 1,500㎡未満の中規模店舗、コンビニエンスストア)の分布



NO	商業施設名	NO	コンビニエンスストア
1	ゲンキー陽明店	1	ファミリーマート大野中挾店
2	ハニー新鮮館三番通り店	2	ローソン大野月美町店
3	スーパーマーケット バローこぶし通り店	3	ローソン大野三番店
4	クスリのアオキこぶし通り店	4	ローソン大野中野店
5	クスリのアオキ大野店	5	ローソン大野新庄店
6	ゲンキーこぶし通り店	6	ファミリーマート大野春日店
7	ゲンキー中野町店	7	ローソン大野春日店
8	クスリのアオキ大野新町店	8	ファミリーマート大野インター店
		9	ローソン大野鍬掛店
		10	ファミリーマート道の駅九頭竜店

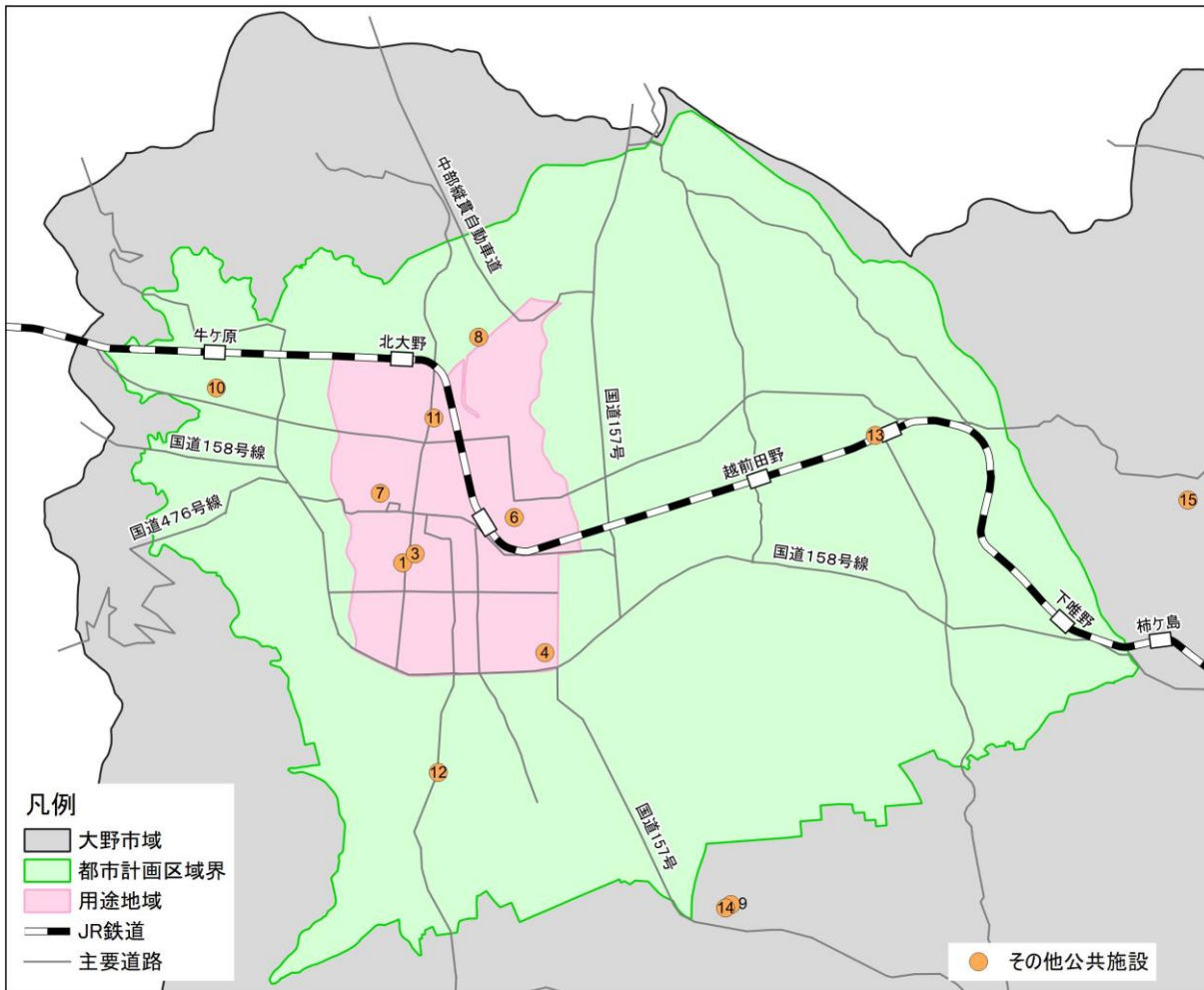
※商業施設・コンビニは届出等をもとに確認いただく必要があります

4.2.5 教育施設の分布



NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名
1	あかね保育園	13	荒島保育園	25	開成中学校
2	亀山こども園	14	いなほこども園	26	尚徳中学校
3	誓念寺こども園	15	有終西小学校	27	上庄中学校
4	開成こども園	16	有終南小学校	28	大野高等学校
5	いなやまこども園	17	有終東小学校	29	奥越明成高等学校
6	いとよ保育園	18	小山小学校		
7	誓念寺中野こども園	19	下庄小学校		
8	篠座こども園	20	上庄小学校		
9	上庄こども園	21	阪谷小学校		
10	阪谷保育園	22	富田小学校		
11	和泉保育園	23	和泉小学校・中学校		
12	大野幼稚園	24	陽明中学校		

4.2.5 その他公共施設の分布



NO	施設名	NO	施設名
1	大野市役所・結とぴあ	9	大野市 B&G 海洋センター
2	大野市和泉地域交流センター	10	乾側公民館
3	大野市図書館	11	下庄公民館
4	大野市エキサイト広場総合体育施設	12	小山公民館
5	大野市和泉体育館	13	富田公民館
6	大野市文化会館	14	上庄公民館
7	学びの里「めいりん	15	阪谷公民館
8	大野市青少年教育センター	16	五箇公民館

大野市地域公共交通計画 資料編

発行 令和●年●月

編集

〒912-8666 福井県大野市天神町1番1号

電話 0779-64-4800

FAX 0779-66-7708



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

大野市地域公共交通計画(案)と大野市公共交通ネットワーク再構築(案)の概要資料

計画策定の背景と目的

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年10月施行)」に基づく計画で、平成31年3月策定の「大野市地域公共交通網形成計画」が終期を迎えるため、新たに作成するもの。

本市の公共交通の基本方針や目標、目標達成に向けた取り組みを示し、「共創」の姿勢であらゆる移動を確保することにより、本市が安心して住み続けられるまちとなることを目的とする。

【計画区域：市全域 / 計画期間：令和6年度～10年度】

公共交通を取り巻く現状

1. 利用者が減少

人口減少や少子化、運転免許保有者の増加などにより、市内公共交通の利用者は10年間で4割減少

2. 移動ニーズと交通サービスのミスマッチが発生

時間帯や便によって低い運行率の路線が存在、収支率の悪化と公的負担が増加
市内公共交通利用者一人当たりの運行経費は10年間で2倍、運行経費は25%増加

3. 公共交通がわかりにくい

運転免許保有者の増加に伴い公共交通に触れる機会が減少
公共交通に関する情報が十分に伝わっていない可能性

4. さまざまな移動を支える担い手の不足

バスやタクシーの運転手が不足、労働環境の改善や働き方改革が課題に

5. 北陸新幹線県内延伸、中部縦貫自動車道県内全線開通の好機

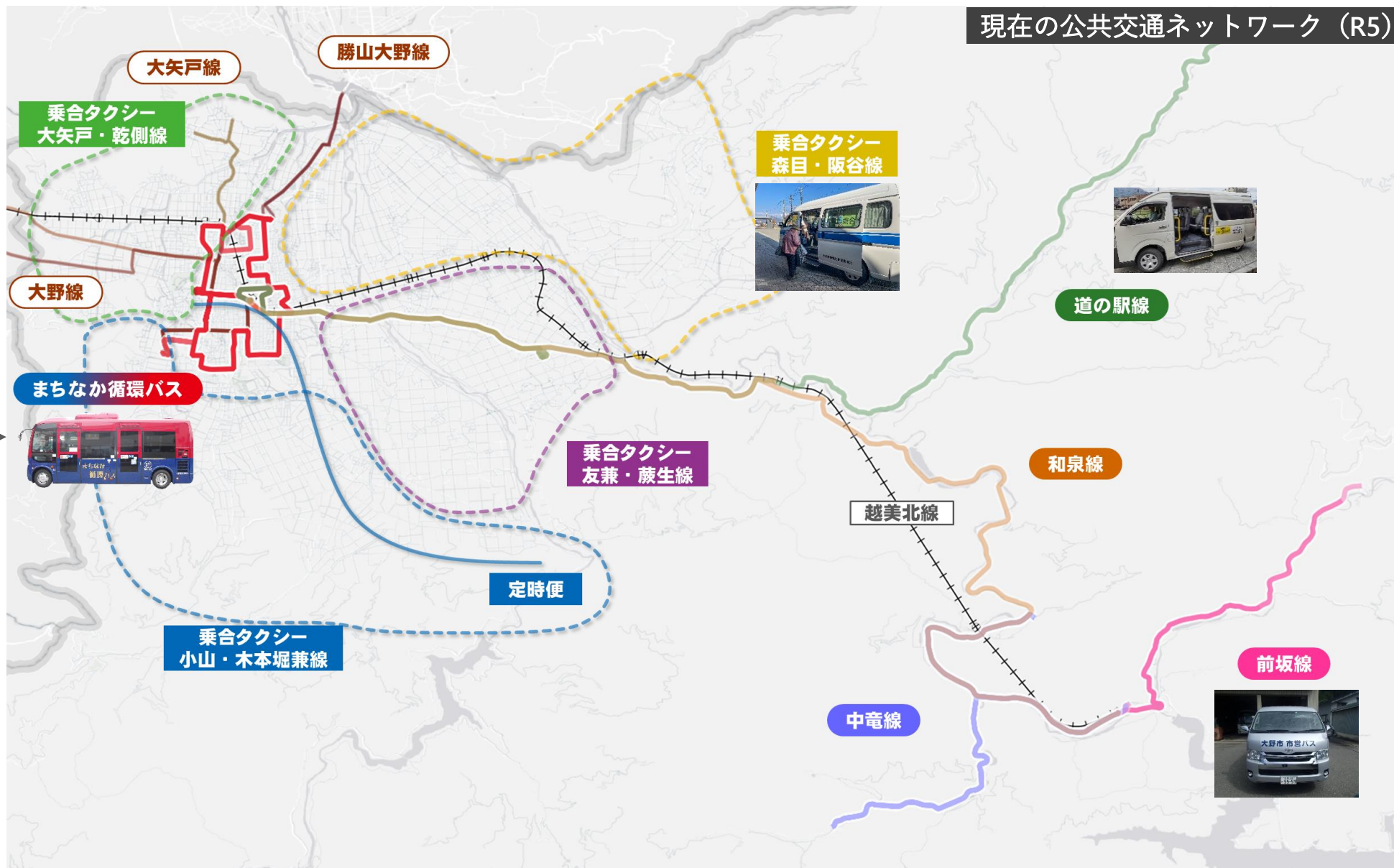
中部縦貫自動車道九頭竜IC開通により、和泉地区との往来がより便利に
現状、大野市内は夜間や早朝にタクシーが運行していない

計画の基本方針と目標

基本方針	目標	評価指標
安心して住み続けられる結のまちに あらゆる移動の確保・共創で定住を推進	目標1 安心して移動できるまちに (定住を支える公共交通の確保)	指標1 市内公共交通利用者数 (人)
	目標2 ちょうど良い公共交通があるまちに (公共交通ネットワークの再構築と改良)	指標2 市内公共交通利用者 一人当たり市費負担額 (円)
	目標3 もっと移動にやさしいまちに (交通サービスの利便性向上)	指標3 市内公共交通収支率 (%)
	目標4 結の心と進取の気象で共創のまちに (さまざまな連携と新技術で移動を確保)	指標4 共創事例の創出 (件)
	目標5 楽しく快適に周遊できるまちに (楽しく快適な二次交通の充実と周遊性の向上)	指標5 広域公共交通利用者数 (人)

※評価指標の値は検討中

公共交通ネットワーク再構築



■主な変更内容

市営バス

- 道の駅線と和泉線を統合し、「和泉大野線」を新設
中部縦貫自動車道を走行し、和泉地区から陽明中学校へのスクールバスを兼ねる
- 前坂線と中電線を廃止し、和泉地区内のデマンド交通「和泉乗合バス」を新設

乗合タクシー

- 運賃の改定 一律300円 (現行は距離に応じて300円~500円)
- 相乗り時100円割引廃止
- 会員制導入 (会員は自宅まで送迎可)
- 時刻表の改定
- 停留所の追加
- 土曜日の運休
⇨タクシー運賃助成制度の創設を検討
- 小山・木本堀兼線
定時便の廃止
⇨通学利用児童は中学校スクールバスに乗車

まちなか循環バス

- 運行内容継続 (R5車両入れ替え)

■その他取組例

- リアルタイムの運行情報の提供(バスロケーションシステムの導入検討)
- わかりやすい情報提供と経路検索の充実
- 貨客混載の導入検討 (和泉大野線での物流)
- スクールバスと市営バスの連携を検討(混乗化)
- JR越美北線の魅力向上
- 広域的なMaaSの推進 など

大野市地域公共交通計画 評価指標の考え方と目標値

目標	評価指標	対象路線等	基準値 (R4)	目標値 (R10)	差引 (目標-基準)	補足
目標1 安心して移動できるまちに	市内公共交通利用者数	計	14,337 人	22,200 人	7,863 人	
		まちなか循環バス	11,410 人	13,600 人	2,190 人	目標値 一便当たり4.5人乗車
		乗合タクシー	2,927 人	4,300 人	1,373 人	目標値 一便当たり1.7人乗車、運行率40% ※基準値には定時便の利用者数を除く
		和泉大野線	—	3,100 人	3,100 人	2,264便×1.4人/便=3,170人 ÷ 3,100人 ※小中学生の通学利用者を除く(高校生は一般扱い)
		和泉乗合バス	—	1,200 人	1,200 人	244日×5人/日=1,220人 ÷ 1,200人 ※小中学生の通学利用者を除く(高校生は一般扱い)
目標2 ちょうど良い公共交通があるまちに	市内公共交通利用者一人当たり市費負担額	平均	2,089 円	1,500 円	-589 円	
		まちなか循環バス	1,193 円	800 円	-393 円	
		乗合タクシー	3,655 円	2,200 円	-1,455 円	
		和泉大野線	—	1,500 円	1,500 円	参考 和泉3線のR4市費負担額は2,310円
		和泉乗合バス	—	1,500 円	1,500 円	参考 和泉3線のR4市費負担額は2,310円
	市内公共交通収支率	平均	3.2%	4.8%	1.6	
		まちなか循環バス	3.8%	4.5%	0.7	基準値 976千円÷25,470千円×100=3.8% 目標値 1,156千円÷25,470千円×100=4.5% ※目標値の運行経費は基準値と同様として計算
		乗合タクシー	4.2%	4.8%	0.6	基準値 956千円÷22,640千円×100=4.2% 目標値 1,096千円÷22,640千円×100=4.8% ※目標値の運行経費は基準値と同様として計算
		和泉大野線	—	5.0%		参考 和泉3線のR4収支率は1.8%
		和泉乗合バス	—	5.0%		参考 和泉3線のR4収支率は1.8%
目標3 もっと移動しやすいまちに	公共交通機関の満足度(総合評価)	※住民に最寄りの路線が対象 (JR越美北線除く)	-0.37 ポイント	+0.20 ポイント	0.57	市民アンケート調査により5年毎に把握 評価点の算出は5段階評価で、 [満足×(2点)+やや満足×(1点)+普通×(0点) +やや不満(-1点)+不満(-2点)]÷各選択肢の回答者数 基準値は、資料1「大野市公共交通に関するアンケート調査」のP33に記載
目標4 結の心と進取の気象で共創のまちに	共創事例の創出	路線等不問	0	3件		意図 貨客混載、スクールバス混乗化、その他1件
目標5 楽しく快適に周遊できるまちに	広域公共交通利用者数	計	445,795 人			
		越美北線	279,091 人			
		大野線	120,293 人			
		勝山大野線	46,411 人			

◎ 新規路線については、R6以降の運行実績を踏まえて目標値の変更(見直し)を前提としたい。新幹線の開業効果も同様。

利用者数

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
赤バス	8,142人	8,299人	8,831人	8,934人	8,416人	9,177人	8,285人	7,161人	4,978人	5,935人	5,624人
青バス	9,439人	9,058人	9,010人	8,406人	7,615人	9,048人	7,668人	6,779人	5,243人	5,423人	5,786人
まちなか循環バス 小計	17,581人	17,357人	17,841人	17,340人	16,031人	18,225人	15,953人	13,940人	10,221人	11,358人	11,410人
大矢戸・乾側線	270人	456人	695人	329人	275人	318人	310人	375人	368人	228人	544人
森目・阪谷線	3,711人	3,521人	3,099人	3,008人	3,003人	2,142人	2,197人	1,488人	1,115人	1,459人	1,281人
友兼・蕨生線	1,372人	1,183人	998人	897人	1,051人	1,211人	1,140人	1,244人	822人	666人	449人
小山・木本堀兼線	1,955人	1,726人	2,233人	1,755人	1,337人	1,025人	1,133人	1,051人	719人	658人	653人
乗合タクシー 小計	7,308人	6,886人	7,025人	5,989人	5,666人	4,696人	4,780人	4,158人	3,024人	3,011人	2,927人
小山・木本堀兼線 定時便	1,445人	800人	1,289人	2,052人	2,029人	1,393人	1,398人	599人	845人	1,396人	1,002人
乗合タクシー全体 小計	8,753人	7,686人	8,314人	8,041人	7,695人	6,089人	6,178人	4,757人	3,869人	4,407人	3,929人
道の駅線 R2年度以前は白山線	650人	504人	369人	477人	373人	409人	334人	312人	166人	512人	403人
道の駅線 合計	650人	504人	369人	477人	373人	409人	334人	312人	166人	512人	403人
前坂線	2,414人	1,215人	1,211人	548人	1,057人	589人	1,024人	1,220人	1,478人	1,402人	1,802人
中竜線	3,340人	2,685人	2,655人	2,767人	1,807人	1,559人	1,516人	1,186人	1,120人	1,188人	971人
和泉線	1,491人	1,132人	1,492人	1,596人	811人	761人	844人	718人	639人	1,057人	899人
和泉3線 合計	7,245人	5,032人	5,358人	4,911人	3,675人	2,909人	3,384人	3,124人	3,237人	3,647人	3,672人
京福バス大矢戸線	1,678人	3,776人	3,543人	2,695人	1,960人	1,847人	1,975人	2,541人	2,648人	2,065人	4,611人
京福バス 小計	1,678人	3,776人	3,543人	2,695人	1,960人	1,847人	1,975人	2,541人	2,648人	2,065人	4,611人
合計	35,907人	34,355人	35,425人	33,464人	29,734人	29,479人	27,824人	24,674人	20,141人	21,989人	24,025人

運賃収入

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
まちなか循環バス	1,496,250	1,453,400	1,547,800	1,488,900	1,269,800	1,468,600	1,367,600	1,183,550	867,150	948,500	976,300
大矢戸・乾側線	65,800	70,000	120,750	88,950	74,050	78,650	76,050	97,900	97,850	63,000	116,350
森目・阪谷線	1,052,050	951,400	833,600	816,890	801,600	577,600	538,850	380,150	306,600	385,850	347,650
友兼・蕨生線	332,600	293,100	242,650	221,000	236,900	259,000	246,950	280,400	206,150	198,500	117,550
小山・木本堀兼線	490,000	399,400	456,200	427,550	334,150	258,200	262,150	247,050	191,300	175,700	170,100
乗合タクシー 小計	1,940,450	1,713,900	1,653,200	1,554,390	1,446,700	1,173,450	1,124,000	1,005,500	801,900	823,050	751,650
小山・木本堀兼線 定時便	72,800	57,900	69,850	376,400	357,500	221,300	225,300	173,000	200,200	252,500	204,250
乗合タクシー全体 計	2,013,250	1,771,800	1,723,050	1,930,790	1,804,200	1,394,750	1,349,300	1,178,500	1,002,100	1,075,550	955,900
道の駅線 R2年度以前は白山線	268,100	153,300	113,100	150,700	150,100	181,000	136,300	160,700	85,300	150,350	113,700
前坂線	34,650	38,050	46,450	28,100	59,300	24,300	17,250	17,000	8,050	13,250	12,950
中竜線	116,000	201,100	91,800	86,300	82,800	93,450	60,600	42,150	22,350	69,250	46,400
和泉線	358,750	311,600	355,300	363,900	206,000	201,400	218,100	249,800	170,650	270,550	213,600
和泉3線 合計	509,400	550,750	493,550	478,300	348,100	319,150	295,950	308,950	201,050	353,050	272,950

1便（回）当たりの利用者数

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	補足
赤バス	5.59人	5.70人	6.09人	6.07人	5.53人	6.37人	5.60人	4.68人	3.36人	3.92人	3.67人	1周で1便（回）
青バス	5.54人	5.33人	5.31人	4.93人	4.31人	5.39人	4.45人	4.27人	3.51人	3.59人	3.77人	1周で1便（回）
まちなか循環バス 平均	5.57人	5.52人	5.70人	5.50人	4.92人	5.88人	5.03人	4.48人	3.44人	3.76人	3.72人	4.86人
大矢戸・乾側線	1.27人	1.18人	1.33人	1.13人	1.13人	1.22人	1.23人	1.16人	1.17人	1.12人	1.44人	片道で1便（回）
森目・阪谷線	2.32人	2.27人	2.17人	2.18人	2.35人	2.02人	2.08人	1.86人	1.59人	1.56人	1.45人	片道で1便（回）
友兼・蕨生線	1.77人	1.59人	1.52人	1.62人	1.77人	1.83人	1.73人	1.75人	1.43人	1.22人	1.12人	片道で1便（回）
小山・木本堀兼線	1.97人	1.89人	2.17人	2.01人	1.94人	1.61人	1.78人	1.65人	1.33人	1.27人	1.38人	片道で1便（回）
乗合タクシー 平均	1.83人	1.73人	1.80人	1.74人	1.80人	1.67人	1.71人	1.61人	1.38人	1.29人	1.35人	1.63人
小山・木本堀兼線 定時便	1.80人	1.00人	1.59人	2.54人	2.51人	1.74人	1.72人	1.07人	2.32人	3.49人	2.48人	片道で1便（回）
道の駅線 R2年度以前は白山線	0.38人	0.30人	0.22人	0.28人	0.20人	0.21人	0.18人	0.38人	0.21人	0.18人	0.16人	片道で1便（回）
前坂線	1.12人	0.60人	0.59人	0.29人	0.52人	0.33人	0.58人	0.71人	0.89人	0.84人	0.96人	片道で1便（回）
中竜線	1.22人	1.03人	0.97人	1.05人	0.68人	0.61人	0.60人	0.47人	0.45人	0.45人	0.38人	片道で1便（回）
和泉線	3.03人	2.30人	3.02人	3.24人	1.66人	1.68人	1.80人	1.49人	1.32人	2.17人	1.83人	片道で1便（回）
和泉3線 平均	1.79人	1.31人	1.53人	1.53人	0.95人	0.87人	0.99人	0.89人	0.89人	1.15人	1.06人	1.18人

利用者一人当たりの運賃単価

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	
まちなか循環バス	85.1円	83.7円	86.8円	85.9円	79.2円	80.6円	85.7円	84.9円	84.8円	83.5円	85.6円	84.2円
大矢戸・乾側線	243.7円	153.5円	173.7円	270.4円	269.3円	247.3円	245.3円	261.1円	265.9円	276.3円	213.9円	
森目・阪谷線	283.5円	270.2円	269.0円	271.6円	266.9円	269.7円	245.3円	255.5円	275.0円	264.5円	271.4円	
友兼・蕨生線	242.4円	247.8円	243.1円	246.4円	225.4円	213.9円	216.6円	225.4円	250.8円	298.0円	261.8円	
小山・木本堀兼線	250.6円	231.4円	204.3円	243.6円	249.9円	251.9円	231.4円	235.1円	266.1円	267.0円	260.5円	
乗合タクシー 平均	255.1円	225.7円	222.5円	258.0円	252.9円	245.7円	234.6円	244.3円	264.4円	276.5円	251.9円	248.3円
小山・木本堀兼線 定時便	50.4円	72.4円	54.2円	183.4円	176.2円	158.9円	161.2円	288.8円	236.9円	180.9円	203.8円	
道の駅線 R2年度以前は白山線	412.5円	304.2円	306.5円	315.9円	402.4円	442.5円	408.1円	515.1円	513.9円	293.7円	282.1円	
前坂線	14.4円	31.3円	38.4円	51.3円	56.1円	41.3円	16.8円	13.9円	5.4円	9.5円	7.2円	
中竜線	34.7円	74.9円	34.6円	31.2円	45.8円	59.9円	40.0円	35.5円	20.0円	58.3円	47.8円	
和泉線	240.6円	275.3円	238.1円	228.0円	254.0円	264.7円	258.4円	347.9円	267.1円	256.0円	237.6円	
和泉3線 合計	289.7円	381.5円	311.1円	310.5円	355.9円	365.9円	315.2円	397.4円	292.5円	323.7円	292.6円	330.5円

運行率（実便数／計画便数）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	補足
大矢戸・乾側線	10.3%	18.8%	25.3%	14.0%	11.8%	12.7%	15.7%	18.5%	17.8%	11.5%	21.3%	片道で1便（回） 1日6便
森目・阪谷線	67.9%	66.0%	60.6%	58.0%	54.1%	45.3%	49.4%	34.4%	29.8%	39.7%	37.3%	片道で1便（回） 1日8便
友兼・蕨生線	32.9%	32.1%	27.8%	23.4%	25.2%	28.3%	41.1%	40.7%	32.5%	30.8%	22.6%	片道で1便（回） 1日6便
小山・木本堀兼線	48.6%	44.6%	50.0%	42.3%	33.4%	31.1%	41.3%	36.5%	30.5%	29.3%	26.7%	片道で1便（回） 1日6便
乗合タクシー 平均	39.9%	40.4%	40.9%	34.4%	31.1%	29.4%	36.9%	32.5%	27.7%	27.8%	27.0%	33.5%
前坂線	48.4%	43.6%	45.9%	41.7%	43.5%	39.0%	38.1%	39.7%	38.7%	38.6%	43.4%	片道で1便（回） 定時定路線達
平日1日当たり利用者数											7.25人	1,777人／245人 （平日）
平日デマンドのみ											6.6%	デマンドのみ
平日1日当たり デマンド利用者数											0.66人	162人／245日 （平日）
中竜線	59.1%	55.7%	58.4%	57.2%	57.7%	55.6%	55.1%	58.7%	57.2%	60.6%	59.7%	片道で1便（回） 定時定路線達
平日1日当たり利用者数											3.86人	947人／245人 （平日）
平日デマンドのみ											14.9%	デマンドのみ
平日1日当たり デマンド利用者数											1.63人	400人／245日 （平日）

令和4年度 和泉3線 便・上下別/平日・土日祝日別運行実績

				平日					土曜日				
				245日 = 計画便数					50日 = 計画便数				
				利用者数	人/計画便	運行便数	運行率	人/運行便	利用者数	人/計画便	運行便数	運行率	人/運行便
中竜線	定時便	1便	下り	0人	0.00	245便	100%	0.00	-	-	-	-	-
			上り	358人	1.46	245便	100%	1.46	-	-	-	-	-
		2便	下り	0人	0.00	245便	100%	0.00	-	-	-	-	-
			上り	82人	0.33	245便	100%	0.33	-	-	-	-	-
		6便	下り	61人	0.25	245便	100%	0.25	-	-	-	-	-
			上り	8人	0.03	245便	100%	0.03	-	-	-	-	-
		7便	下り	36人	0.15	245便	100%	0.15	-	-	-	-	-
	上り		2人	0.01	245便	100%	0.01	-	-	-	-	-	
		計		547人									
	予約便	3便	下り	32人	0.13	30便	12%	1.07	0人	0.00	0便	0%	-
			上り	32人	0.13	29便	12%	1.10	2人	0.04	2便	4%	1.00
		4便	下り	23人	0.09	21便	9%	1.10	1人	0.02	1便	2%	1.00
			上り	12人	0.05	7便	3%	1.71	0人	0.00	0便	0%	-
		5便	下り	20人	0.08	18便	7%	1.11	7人	0.14	6便	12%	1.17
上り			4人	0.02	4便	2%	1.00	0人	0.00	0便	0%	-	
8便		下り	277人	1.13	183便	75%	1.51	14人	0.28	13便	26%	1.08	
		上り	0人	0.00	0便	0%	-	0人	0.00	0便	0%	-	
		計		400人		14.9%		24人		5.5%			
				292便					22便				
				13.3%									

				平日					土・日・祝日				
				245日 = 計画便数					91日 = 計画便数				
				利用者数	人/計画便	運行便数	運行率	人/運行便	利用者数	人/計画便	運行便数	運行率	人/運行便
前坂線	定時便	1便	下り	1人	0.00	245便	100%	0.00	-	-	-	-	-
			上り	1,151人	4.70	245便	100%	4.70	-	-	-	-	-
		冬季増便 60日・便	下り	0人	0.00	60便	100%	0.00	-	-	-	-	-
			上り	295人	4.92	60便	100%	4.92	-	-	-	-	-
		5便	下り	68人	0.28	245便	100%	0.28	-	-	-	-	-
			上り	38人	0.16	245便	100%	0.16	-	-	-	-	-
		6便	下り	35人	0.14	245便	100%	0.14	-	-	-	-	-
	上り		27人	0.11	245便	100%	0.11	-	-	-	-	-	
		計		1,615人									
	予約便	2便	下り	4人	0.23	4便	2%	1.00	2人	0.02	2便	2%	1.00
			上り	8人	0.03	8便	3%	1.00	3人	0.03	3便	3%	1.00
		3便	下り	8人	0.03	7便	3%	1.14	3人	0.03	2便	2%	1.50
			上り	0人	0.00	0便	0%	-	4人	0.04	2便	2%	2.00
		4便	下り	5人	0.02	5便	2%	1.00	2人	0.02	2便	2%	1.00
上り			4人	0.02	3便	1%	1.33	10人	0.11	4便	4%	2.50	
7便		下り	133人	0.54	103便	42%	1.29	0人	0.00	0便	0%	-	
		上り	0人	0.00	0便	0%	-	1人	0.01	1便	1%	1.00	
		計		162人		6.6%		25人		2.2%			
				130便					16便				
				5.4%									

			平日					
			245日 = 計画便数					
			利用者数	人/計画便	運行便数	運行率	人/運行便	
和泉線	定時便	1便	上り	811人	3.31	245便	100%	3.31
			下り	88人	0.36	245便	100%	0.36
		計	899人					